

エックス・ワイ・ゼット (X.Y.Z.) アルファベットの最後の三字母であるところから本論の意に用ひられてゐる(エー・ビー・シー参照)。

エックスレー (X-ray) レントゲンのことである、真空の硝子管中で放電せしめるとき、その陰極の方から出る放射線(これを陰極線と云ふ)が白金板に衝突して出るのがレントゲン線である。これを何故X光線と名付けたかと云へば、レントゲンは金属や石以外動植物質のものなら何でも透して了ふ、例へば衣服を着た人体でもレントゲンを掛けるに繪に描いた骸骨そのまゝの姿に見える、それが若し銃丸の体内に止まつてゐる

エツグ——エツキ

エツキ エナ

負傷者の場合ならば銃丸の部分丈黒い影になるからその位置がよく判つて手術するのに便利である、このやうにまことに不思議な力を持つた得体の知れぬ光線だと思へたところからXとしたんださうである(レントゲン参照)。

エックス・エックス・エックス (X.X.X) これをキス・キス・キス (Kiss, kiss, kiss) と讀むところがモダン青年男女の常識とされてゐる、ラブレターの終りによく書くのであつて意味は「妾は貴方へ心からの接吻を送ります、幾度も幾度も」である、だから熱度が高ければ高いほどXの数を多くすればよい譯けである。もごとく手紙にキスした箇所を示すためにX印を附したのが轉じてエックスと云ふ文字になつたのださうだ。

エッセー (Essay) ① 主として文藝上の論文、論説のことを云ふ。② 隨筆。漫筆。小篇。エッセーイスト (Essayist) 隨筆家。エッセーを書く人のことを云ふ。

エッセン (Essen) ① 獨逸ライン河下流の都會。クルッパ製鐵所あり。② 食事。食物。

エッセン (Esene) 基督時代のユダヤの一教派。教徒の多くは獨身主義を採り肉食を禁じ俗界と親交するを厭ふ一種の世捨人の集團。エシオンとも云ふ。

エッセンツ (獨語 Essenz) ① 本体。本質。② 精

エッセンシャル (Essential) ① 本質の。本体の。② 根本的の。③ 緊要な。【例】これは

エッセンシャルな問題です。④ 要點。骨子。⑤ 本質。

エッセンシャル・パート (Essential part) 主要部分。緊要點。論點。

エッセンシャル・ハーモニー (Essential harmony) 基本和音(音楽用語)。

エッセンシャル・オイル (Essential oil) 精油。揮發油。芳香ある果實の肉質、花、葉、莖等を細かく碎いて水蒸氣蒸溜をやつて得たもので清涼飲料等の香料に用ふ。

エッセンシャル・プロポジション (Essential proposition) 本質的命題(論理學語)。

エッセンス (Essence) ① 精。粹。「本書は近代文學のエッセンスを一巻に收めたものである」等の如く用ふる。② 本質。骨子。③ 香水。香油。④ 揮發油。

エネルギー (獨語 Energie) 英語のエナジーに同じ(同項参照)。

エネミー (Enemy) ① 敵。敵軍。尙パブリック・エネミーは公敵。② 危險物。

エナジー (Energy) 精力。活氣。元氣。活動力。仕事をなす能力。通常エネルギーと

云つてゐる。「エネルギーが強い」とは「精力絶倫だ」の意、体力、精神力に就いて云ふよりも性慾方面の旺盛なところによく用ひられる。又労働運動語としては革命的精力や闘争力の意味である。尙エナージエチックは元氣旺盛の意。

エナージエチックス (Energetics) エネルギー論。勢力學 (理學語)。

エナージズム (Energism) 精力主義。活動主義。精力説 (倫理學語)。

エナフ (Enough) ① 十分な。② 十分。ワエル・エナフ (Well enough) 可成り上手に。

エナメリング (Enameling) ① 光澤法。印畫に永久の光澤を與ふる確實なる方法は光澤

コロデオンを用ふるを最良法とする。② 珐瑯細工法。

エナメル (Enamel) ① 珐瑯。釉藥。② 上等ペンキ。塗料。③ エナメルカーフの略。

エナメルペイント (Enamel-paint) 光澤ペンキ。樹脂と顔料から製した乾燥の早い塗料

エナメルカーフ (Enamelled-calf の訛) 鞣してエナメルペンキを塗つた靴革。

エナメルウェア (Enamel-ware) 珐瑯細工。珐瑯鐵器。

エナメルキッド (Enamel-kid) 先にエナメルのついたキッド靴。

エラー (Error) ① 誤り。過失。② 野球で試合中競技者が失策したことを云ふ、中學級の試合は云はずもがな大學級のマッチでも兩軍ノーエラー (無失策) の勝負ナント減多にあるものではない、思はぬ失策から得點されて形勢が逆轉したりする所に觀衆を惹きつける魅力が潜んでゐるとはエラーが各選手の守備率に關係するだけに皮肉な存在ではある。尙テニスその他に於てもよく用ひられる。

エラポレート (Elaborate) ① 念を入れた。丹誠込めた。精巧の。【例】彼女は今日は特別エラポレートな化粧をして外出した。② 丹誠して作る。推敲する。

エラボレーション (Elaboration) ① 丹誠。推敲。② 精巧な製品。力作。

エラスチック (Elastic) ① 弾力ある。尙エラスチック・ガムは弾力護謨。② ゴム紐。

エラスチシティ (Elasticity) ① 弾性。屈伸性。② 弾力。回復力。

エラント (Errant) ① 諸國を遊歴する。徘徊する。② 諸國遊歴者。

エラント (Errand) 走り使ひ。用事。傳言。尙エラントボーイは走り使ひをする少年。

エナ——エラ

エラ——エク

エラン・ビタール (佛語 Elan vital) 生命の飛躍。フランスの哲學者ベルグソンは生物

の進化を内部よりの創造的發展なりとした、しかもその進化は飛躍的である、これが生命の飛躍乃ち創造的進化である。尙京都の新劇團にこの名のあるものがある。

エラボレート (Elaborate) ①念を入れた。丹誠込めた。精巧の。【例】彼女は今日は特別エラボレートな化粧をして外出した。②丹誠して作る。推敲する。
エラボレーション (Elaboration) ①丹誠。推敲。②精巧な製品。力作。
エラスチック (Elastic) ①弾力ある。尙エラスチック・ガムは弾力護謨。②ゴム紐。
エラスチシティ (Elasticity) ①弾性。屈伸性。②弾力。回復力。
エラント (Errant) ①諸國を遊歴する。徘徊する。②諸國遊歴者。
エラント (Errand) 走り使ひ。用事。傳言。尙エラントボーイは走り使ひをする少年。

エナ——エラ

エラ——エク

エラン・ビタール (佛語 Elan vital) 生命の飛躍。フランスの哲學者ベルグソンは生物の進化を内部よりの創造的發展なりとした、しかもその進化は飛躍的である、これが生命の飛躍乃ち創造的進化である。尙京都の新劇團にこの名のものがある。

エム (Em) 全角 (活字面積計量名目)。エン参照。

エム (M) ① Money (マネー) の頭字のみを取つて云つた言葉で金錢の意。② Membrum virile (メンブラム・ビライル) より男子の陰莖。Menses (メンセス) より女子の月經の意。主に學生間に用ひらる陰語。

エムロード (佛語 Emeraude) 碧玉。綠玉 (エメラルド参照)。

エム・シー (獨語 Maschinen Gewehr の略) 機關銃隊 (マシネン・ゲウエール)。

エム・シー・エム (Metro-Goldwin-Meyar の略) 米國の映畫會社メトロゴールドウィン・メーヤー社。同社製作映畫をエム・シー・エム・フィルム等と云ふ。

エム・シー・シー (M.C.C.) エジプトのカラサナシス製紙卷煙草の名。廣く知られてゐる外國製紙卷煙草の一である。これにはエム・シー・シー・エキストラ (金口のごコルク口のごがある) とエム・シー・シー・デライト (金口) 及びエム・シー・シー・モン・レポ (コルク口) がある。

エム・ビー・ケー (Mitsui Bussan Kaisha の略) 三井物産株式會社 (略稱)。

エム・ゼー・ビー (M.J.B.) 米國エム・ゼー・ビー會社製コーヒーのこと。これは (Mocha Java, Brazil 産) コーヒーの混合製品なりとの意である。

エヴァ、エヴィ、エヴォ、エヴェ (Eva, Evi, Evo, Eve) を冠せる語は夫々エバ、エビ、エボ、エマの項を見よ。

エノーマス (Enormous) 巨大な。【例】奈良の大佛はさてもエノーマスなものだ。

エクイバレンシー (Equivalency) ①原子價 (化學用語)。例へば塩素は一價、酸素は二價と云ふが如し。②同價。等量。エクイバレンス (Equivalence) も云ふ。

エクイペーヂ (Equipage) ①艦装。用意。②鹵簿。

エクイテーション (Equitation) ①騎行。②馬術。尙馬術家はイクエストリアンと云ふ。

エクログ (Eclogue) 短詩。田園詩。牧歌。

エ

エグリズ (佛語 Eglise) 教會。聖堂。英語のチャーチ (Church) に當る。

エクリップス (Eclipse) 蝕。ソーラーエクリップスは日蝕、ルーナーエクリップスは月蝕。

エクワプレーン (Aquaplane) 水上滑走艇。モーターボートに曳航させて水上を滑るが如く進むもので夏季の海上スポーツとして新らしい、青年男女間に斷然歡迎されてゐる、波上に躍るエクワプレーンの壯快味は蓋し近代趣味の尤なるものであらう。

エクワビリティ (Equability) 均一。一樣。平等。

エクレクチズム (Ecclecticism) 折衷主義。折衷説。佛語ではエクレクチスムと云ふ。

エクレクチスム (佛語 Eclectisme) 折衷主義。繪畫で各種のエコール (流派) の特色を取つて独自の作風をなすもの。英語のエクレクチズムに當る。

エグゾート (Exhort) ① 勸告する。② 説諭する。【例】僕がエグゾートして見よう。

エグゾールテーション (Exaltation) ① 意氣揚々。② 興奮 (醫學用語)。③ 賞揚。讚美。

エグゾースト (Exhaust) ① 排出。廢氣。② 取り盡す。排出する。③ 盡きた。疲れた。

エグゾーストパイプ (Exhaust-pipe) 排氣管。エグゾーストマニフォルドと同じ。

エグゾーストバルブ (Exhaust-valve) 排氣弁。

エグゾーストマニフォルド (Exhaust-manifold) 排氣管。飛行機發動機の燃燒瓦斯排出管。輪狀 (Ring) をなしてゐるところからエグゾーストリングとも云ふ。

エグゾースション (Exhaustion) ① 消費。② 蕩盡。③ 疲勞。

エグゾースチブ (Exhaustive) 盡さる。十分なる。

エグゾースチング・ファン (Exhausting fan) 排出煽風機。

エクソドス (Exodus) ① 出埃及記 (舊約聖書の)。② 退去。エクソダスとも云ふ。

エクゾチック (Exotic) 普通にはエキゾチックと云はる、本來「外來の」「外國産の」の意であるが一般に用ひられてゐる意味では「異國情調的」「外國情趣ある」の意である、例へば横濱、神戸のやうに外人の多い港町は異國臭が到る所に漂つてゐて、まるで外國にでも居るやうな感じがする、それがつまりエクゾチックなのである。尙外來語、外來物の意もある。

エクゾチシズム (Exoticism) 異國情調。異國情趣。佛語ではエグツチスム (Exotisme)

エグ——エグ

エグ——エグ

エクラ (佛語 Ecclat) ① 名譽。輝き。② 喝采。③ 噂。④ 大景氣。

エクラン (佛語 Ecran) ① 映寫幕。スクリーンに同じ。② 火氣除けに爐邊に置く對立

エクエーション (Equation) ① 平均。平等にすること。② 方程式。

エクソダス (Exodus) ① 出埃及記 (舊約聖書の)。② 退去。エクソダスとも云ふ。
エクゾチック (Exotic) 普通にはエキゾチックと云はる、本来「外來の」「外國産の」の意であるが一般に用ひられてゐる意味では「異國情調的」「外國情趣ある」の意である。例へば横濱、神戸のやうに外人の多い港町は異國臭が到る所に漂つてゐて、まるで外國にでも居るやうな感じがする、それがつまりエクゾチックなんである。尙外來語、外來物の意もある。

エクゾチシズム (Exoticism) 異國情調。異國情趣。佛語ではエグゾチスム (Exotisme)

エグ——エク

エグ——エグ

エクラ (佛語 Eclair) ① 名譽。輝き。② 喝采。③ 噂。④ 大景氣。

エクラン (佛語 Ecran) ① 映寫幕。スクリーンに同じ。② 火氣除けに爐邊に置く對立

エクエーション (Equation) ① 平均。平等にすること。② 方程式。

エクエストリアン (Equestrian) ① 馬の。② 馬術家。馬術の名人。

エクアドル (Ecuador) 南アメリカ洲北西部の共和國。首府はキト、産物はコーヒー、キナ、ゴム等でバナマ帽はこゝで製造されてゐる。

エクサープシオン (Excerption) ① 抜萃。抄録。轉載。② 同上の書物。

エグゼーション (Exertion) 努力。盡力。【例】君のエグゼーションに俟つところが多い

エクサイト (Excite) 刺戟する。興奮さす。挑發さす。【例】赤いものは牛の如き鈍重な動物をもエクサイトさせる。

エクサイトメント (Excitement) ① 刺戟。興奮。② 刺戟物。

エクサイティング (Exciting) ① 刺戟的。興奮的。擾情的。カフェーやバーの赤い灯青い灯は餘りにエクサイティングださあつて全部日色又は淡色に定められたものだ。② 勵磁する (電氣用語)。

エクサイティング・ゲーム (Exciting game) 「早慶戦は近來まれな白熱戦であつた」と新聞が書立てる、この白熱戦がエクサイティング・ゲームなんである。「早大六點、慶大五點で慶大最後の攻撃二死にして走者三、二壘を占む」といつた大白熱戦のことである、しかも早慶の優勝戦、観衆はたゞもう感激だ、中には興奮の餘り涙さへ流してゐる者がある。こうなれば字義通りに「興奮させる試合」と云ふ方が一番早判りがするだらう野球のみに限らず、庭球、ラグビー、水泳、競走凡そ何のスポーツでも観衆をエクサイトさせるもの、又交渉や談判事でもその成行を見まもつてゐる人々に多大の緊張感を起させるものは皆エクサイティングなゲームと云つてよい。

エクサイル (Exile) ① 追放。退去。② 亡命者。放浪者。

エグザルト (Exult) 欣喜雀躍する。歡喜する。【例】思ひがけの吉報にすつかりエグザルトしちやつた。

エグザルタント (Exultant) 欣喜雀躍せる。歡喜せる。

エ

- エグザルテーション (Exultation) 欣喜雀躍。歡喜。
- エグザグジャレート (Exaggerate) 誇張す。大袈裟に云ふ。
- エグザグジャレーション (Exaggeration) ① 大言壯語。誇張。② 美術上の誇張表現。
- エグザクト (Exact) 正確な。嚴密な。【例】エグザクトな時間を知らして下さい。
- エグザクション (Exaction) 否應なく取立てること。強要。不法の要求。
- エクササイズ (Exercise) ① 練習。實習。運動。② 教課。練習問題。③ 練習する。体操する。【例】もつと熱心にエクササイズせねばならぬ。
- エグザミニ (Examinee) 試験を受ける人。受験者。
- エグザミネーション (Examination) 試験。審査。吟味。檢閲。尙エントランス・エグザミネーション (Entrance examination) は入學試験。
- エグザミナー (Examiner) 検査役。審査員。試験官。檢察官。
- エグザンプル (Example) ① 手本。例。② 見本。【例】エグザンプルを見せて下さい
- エクシドラ (Exedra) 休息場。戶外又は戸内で長腰掛等を置き多人數の休息に便する所
- エクシット (Exit) ① 出口。門口。百貨店等では外人に出口を知らず爲 EXIT と認め
た札を掲げてある所がある。② 劇で俳優の退場を云ふ。
- エクシアント (Exeunt) 退場。脚本の卜書に用ひる語である。
- エグジビット (Exhibit) ① 出品陳列品。② 證據書類。③ 展覽。公示。
- エクシビション (Exhibition) ① 博覽會。展覽會。共進會。② 展覽。公示。③ 演技。
興行。エグジビション又はエキシビションと云ふ人もあるがエクシビションが正しい。
- エクシビション・ルーム (Exhibition room) 展覽室。陳列室。
- エクシビション・ダンス (Exhibition dance) 公開舞踊 (觀客に見せるもの)。
- エクシビション・ゲーム (Exhibition game) 公開試合。模範試合。勝敗よりも技術を示す
方に重きを置く試合。單にエクシビションとも云ふ。
- エクシビション・フライト (Exhibition flight) 興行的飛行。この飛行家をエクシビション
・フライヤーと云ふ。
- エグジステンツ (Existence) 存在。存續。生存。

エグ

エグ — エグ

エグセ・ホモ (羅語 Face Homo) 荊冠を戴き紫の上衣を着したキリスト畫像。原意は
「見よ此人なり」でヨハネ傳第十九章第五節中の語句である。轉じて荊棘の道を行く
人の意に用ひられる。

エクシビション・ルーム (Exhibition room) 展覧室。陳列室。
エクシビション・ダンス (Exhibition dance) 公開舞踊 (観客に見せるもの)。
エクシビション・ゲーム (Exhibition game) 公開試合。模範試合。勝敗よりも技術を示す方に重きを置く試合。単にエクシビションとも云ふ。
エクシビション・フライト (Exhibition flight) 興行的飛行。この飛行家をエクシビション・フライヤーと云ふ。
エグジステンツ (Existence) 存在。存続。生存。

エグ

エク — エグ

エクセ・ホモ (羅語 Face Homo) 荊冠を戴き紫の上衣を着したキリスト畫像。原意は「見よ此人なり」でヨハネ傳第十九章第五節中の語句である。轉じて荊棘の道を行く人の意に用ひられる。

エクセレント (Excellent) ① 優等なる。卓越せる。上等の。【例】この品物は評判以上にエクセレントです。② (感動的に用ひて) 素敵だ！。

エクセレンシー (Excellency) ① 閣下。政府高官、外國使臣及びその夫人に對する敬稱でユーア・エクセレンシー或はヒズ・エクセレンシー(男)、ハー・エクセレンシー(女)と云ふ風に用ひる。② 次項に同じ。

エクセレンス (Excellence) ① 卓越。優秀。拔群。傑出。② 美點。長所。

エクセシブ (Excessive) 過度の。極端の。【例】エクセシブな運動は健康を害す。

エクゼクートル (露語 Ekzekutor) 行政官。

エクセプショナル (Exceptional) 例外の。異常の。【例】實にエクセプショナルな事件だ。エクセプション (Exception) ① 例外。除外。② 異議。抗辯。忌避。

エクセキューチブ (Executive) ① 執行の。實行の。② 行政上の。

エクセキューチブ・コミッティー (Executive committee) 執行委員。實行委員。

エクセキューチブ・エヂター (Executive editor) 主幹。

エクセキューター (Executor) ① 實行者。② 死刑執行人。③ 遺言管財人。

エクセキューション (Execution) ① 實行。執行。② 演奏。③ 死刑執行。

エクセス (Excess) ① 過剰。超過。② 過度。【例】何事でもエクセスは禁物だよ。

エクセスプロフィット (Excess-profit) 戦時利得。不當利得。

エクセスフェア (Excess-fare) ① 乗越賃金。② 直り金。三等より二等又は一等へ場席を變更する際の追加金を云ふ。

エクセントリック (Eccentric) ① 中心外れの。② 目的の同じからざる。③ 風變りの。

【例】藝術家にはエクセントリックな人物が多い。④ 變り者。常軌を逸した人。

エクセントリシティー (Eccentricity) ① 偏心。② 風變り。奇癖。

エグゼンプリファイ (Exemplify) 實例を擧ぐ。例示す。【例】その事實をエグゼンプリ

エ

ファイして下ろす。

エグゼンプション (Exemption) ① 免除。免役。② 解除。

エクス (Ex, Extract) ① 越幾斯。煎じ汁。エクストラクトは「搾取す」、「引出す」の意であつて肉、卵、蔬菜等の滋養分のみを絞り出してこしらへた食料品や強壯劑のこゝを云ふのである。② 精。素。拔萃。普通にはエキスで通つてゐる。

エキスパート (Expert) 技師。専門家。玄人。老練家。

エクสบージョン (Exversion) 全發聲映畫の外國版 (フォーレン、バージョン参照)。

エクスパンド (Expand) 擴大する。擴張する。【例】勢力をエクスパンドする。

エクспанションニスト (Expansionist) ① 領土擴張主義の人。特に大戰前米國の領土擴張主義者に與へられた名。② 膨脹論者 (通貨等の)。

エクспанションニスム (Expansionism) 領土や通貨等の膨脹論。

エクスパンション (Expansion) ① 擴張。伸長。【例】事業のエクスパンションを計る。

エクスポート (Export) ④ 輸出。尙輸出品。尙エクスポートは輸出額。

エクスポートター (Exporter) 輸出業者。輸出商。

エクスポートーション (Exportation) ① 輸出。② 輸出品。

エクスポージャー (Exposure) ① 露出 (寫眞用語)。映畫撮影法にダブル・エクスポージャー (二重露出) を云ふのがある (同項参照)。② 曝露。③ 展覽。

エクスポージャー・メーター (Exposure meter) 露出計 (寫眞用語)。

エクスポーズ (Expose) ① 暴露する。【例】この要求を容れなければ君のシークレットをエクスポーズするよ。② 露出する。③ 陳列する。

エクスポジション (Exposition) ① 暴露。② 解説。説明。註釋。③ 博覽會。【例】××百貨店で乗物に關するエクスポジションが開かれてゐる。

エクスペイション (Expatiation) ① 自由行動。漫然と徘徊すること。② 敷衍。

エクスペリメント (Experiment) ① 實驗。試験。試み。② 實驗物。

エクスペリメンタル (Experimental) ① 實驗の。② 經驗上の。

エクスペリメンタル・サイエンス (Experimental science) 實驗科學。

エグ——エク

エク

エクスペクト (Expect) 期待する。豫期する。當てにする。【例】こんな大事件にならうとは夢にもエクスペクトしなかつた。

エクスペクテーション (Expectation) 期待。豫期。見込。【例】僕のエクスペクテーション

をエクスポーズするよ。② 露出する。③ 陳列する。
エクスポジション (Exposition) ① 暴露。② 解説。説明。註釋。③ 博覽會。【例】××
百貨店で乗物に關するエクスポジションが開かれてゐる。
エクスペイシエーション (Expectation) ① 自由行動。漫然と徘徊すること。② 敷衍。
エクスペリメント (Experiment) ① 實驗。試験。試み。② 實驗物。
エクスペリメンタル (Experimental) ① 實驗の。② 經驗上の。
エクスペリメンタル・サイエンス (Experimental science) 實驗科學。

エグ——エク

エク

エクスペクト (Expect) 期待する。豫期する。當てにする。【例】こんな大事件になら
うとは夢にもエクスペクトしなかつた。

エクスペクテーション (Expectation) 期待。豫期。見込。【例】僕のエクスペクテーショ
ンはすつかり裏切られてしまつた。

エクスペディション (Expedition) ① 探檢。遠征。② 探檢隊。遠征隊。

エクスペンド (Expend) 費やす。【例】例の事でエネルギーをエクスペンドした。

エクスペンディチュア (Expenditure) ① 入費。經費。【例】新規事業に對するエクスペ
ンディチュアは今のところ出せない。② 支出。出費。消費。

エクスペンシブ (Expensive) 贅澤な。費用のかゝる。高價な。【例】餘りエクスペンシ
ブな品物は買ふな。

エクスペンス (Expense) ① 費用。出費。犠牲。② 消費。浪費。散財。③ 豫算。

エクストート (Extort) ① 強制する。強奪する。ゆする。② 牽強附會する。

エクストーション (Extortion) ① 強制。強奪。② 牽強附會。

エクストローダイナリー (Extraordinary) ① 非常な。異常な。課外の。特別の。臨時
の。特派の。② 臨時費。臨時の收入。エクストラオーダイナリーともいふ。

エクストローダイナリー・エクスペンディチュア (Extraordinary expenditure) 臨時費。

エクストローダイナリー・セッション (Extraordinary session) 臨時開會 (議會等の)。

エクストリーム (Extreme) ① 極端の。過激の。② 最後の。果ての。③ 極端。末端。

エクストリーム・パーツ (Extreme parts) 外聲部 (音樂の)。

エクストレーモリヤン (Extreme-Orient) 極東。ファー・イーストとも云ふ。

エクストレミテ (Extreme) ① 先端。② 手足。③ 極點。極度。④ 最後の手段。

エクストラ (Extra) ① 特別の。臨時の。② 映畫の臨時雇。大衆撮影の際に、例へば捕
手や市民、軍卒等を大勢使ふ時に臨時に多數の人間を雇入れるのである。本場の米國
では一人一日七弗五十仙の日常になるそれで、我國の映畫會社などのやうに入場券を
辨當位で追拂ひはしない。これらのエクストラはすぶの素人で出来るのだが、時には
極端な大男とか小男が自分の持つてゐる特異性に依つて何處の撮影所にも出演契約

エ

をするエクストラ専門の俳優も居るのである、米國ではエクストラから立派なスターに成つた男女優が多い。③ 特別號（雑誌の）。新聞の號外。④ 番外料理。

エクストライニング (Extra- inning) 補回。野球試合で九回で勝敗決せぬ場合更に試合を延長する。この延長された回をエクストライニングと云ふ。而して補回戦に入つた試合をエクストライニング・ゲームと云ふ。今迄に最長の補回試合は二十六回戦である。

エクストラバガント (Extravagant) ① 放縱な人。② 無法の。放縱な。

エクストラバガンザ (Extravaganza) ① 狂文。狂畫。② 妄想。

エクストラバガンス (Extravagance) ① 無法。② 放蕩。奢侈。③ 無茶な言動。

エクストラハンド (Extra-hand) 臨時雇。臨時職工。

エクストラペイ (Extra-pay) 特別手當。臨時報酬。

エクストラガール (Extra-girl) ① 映畫の臨時雇女優。端役女優。エクストラレディーとも云ふ。② 時間外に特別のサービスをする女給や女優のこと。サービス料は現金でない迄も流行衣裳なり何等かの形で要求すること勿論である、その代りホテル、アパート、何處へ連れて行かうと勝手である。しかし芝居や映畫の觀覽になら無報酬でOKと来るかも知れない。

エクストラレディー (Extra-lady) 端役女優。米國では端役女優が監督にその技倆を認められて一躍スターに出世するものが多い。エクストラガールとも云ふ。

エクストラクト (Extract) 略してエキス又はエクストとも云ふ（エキス参照）。

エクストラプレイヤー (Extra-player) 映畫の臨時雇。單にエクストラとも云ふ。

エクストラファイン (Extra-fine) ① 特上の。飛切上等の。② エジプトのマトシアン製紙巻煙草の名。

エクストラエディション (Extra-edition) 臨時増刊。特別號。

エクストラテリトリアリチー (Extraterritoriality) エクステリトリアリチーとも云ふ。治外法權のことであつて、例へば我國が支那の領土内に於て或制限の下に自國の法律を施行し得る特權の如きを云ふ。

エク

エク

エクスチエーンヂ (Exchange) ① 兩替。爲替相場。② 取引所。③ 電話交換局。④ 映畫フィルムの（）配給、又配給を行ふ會社。

エクストラプレイヤー (Extra-player) 映畫の臨時雇。單にエクストラとも云ふ。
エクストラファイン (Extra-fine) ① 特上の。飛切上等の。② エジプトのマトシアン
製紙卷煙草の名。

エクストラエディション (Extra-edition) 臨時増刊。特別號。

エクストラテリトリアリチー (Extraterritoriality) エクステリトリアリチーとも云
ふ。治外法權のことであつて、例へば我國が支那の領土内に於て或制限の下に自國の
法律を施行し得る特權の如きを云ふ。

エケ

エク

エクステーションヂ (Exchange) ① 兩替。爲替相場。② 取引所。③ 電話交換局。④ (映
畫フィルム)の配給、又配給を行ふ會社。

エクステーションヂ・ブロードキャスト (Exchange broadcast) ラヂオの交換放送。日米間
のエクステーションヂ・ブロードキャストは好成绩を示してゐる。

エクステーションヂ・エヂター (Exchange editor) 切抜専門の記者(交換新聞の)。

エクステェカー (Exchequer) 大藏省。國庫。チャンセラー・オブ・ジ・エクステェカー
(Chancellor of the —) は大藏大臣の官。

エクステェカー・ボンツ (Exchequer bonds) 國庫債券。

エクステェカー・ビル (Exchequer bill) 大藏省證券。

エクスカーションニスト (Excursionist) 遠足者。回遊者。

エクスカーション (Excursion) ① 遠足。遊覽。② 回遊團體。

エクスカーション・トレイン (Excursion train) 回遊列車とか名所遊覽列車等をいふ。

エクスカーション・チケツト (Excursion ticket) 回遊切符。遊覽券。

エクスカーションライター (Excursive writer) 隨筆家。漫文家。

エクスターナル・マネー (External money) 在外正貨。例へば我國の場合は外國に保有
されてゐる我國の正貨を云ふのであつて、外國との貸借を決済する時に便利であるた
めにロンドンとニューヨークに置いてある。但し正貨と云つても金貨のみでなく、
外國銀行の預金や有價證券等になつてゐる。スピーシー・アブロードとも云ふ。

エクスタシー (Ecstasy) 有頂天。狂喜。夢中。大歡喜。感極まること。【例】夢のやう
な吉報で彼はすっかりエクスタシーにひたつてゐる。

エクスライブリス (Exlibris) 藏書票。書籍の表紙に貼つて藏書に便するもので美
術的に意匠を凝らしたものが多し。

エクスクルージョン (Exclusion) 拒絶。排外。エクスクルージョン・ポリシーは排外主義

エクスクラメーション (Exclamation) ① 感嘆。② 感動詞。例へばオー (Oh) や、ア
ラス (Alas) 嗚呼、等を云ふ。③ 次項に同じ。

エクスクラメーション・マーク (Exclamation mark) 感嘆符「!」。驚き、感激等を表す。

エ

エクスプロード (Explode) 爆発する。(感情等を) 激発する。(謬見等を) 打破する。

エクスプロードー (Explooder) 爆発物。雷管。

エクスプロローラー (Exploorer) ① 探検者。踏査者。② 吟味者。

エクスプロア (Explore) ① 探検する。② 踏査する。

エクスプロージョン (Explosion) ① 爆発。② 感情の激発。人の怒に觸れたりした場合「ちつても凄いエクスプロージョンだつたぜ」等と云ふ。

エクスプロイテーション (Exploitation) ① 開拓。開墾。② 利用。自己の私利に共するこゝ。搾取。③ 映畫の宣傳を組織的に行ふこと。

エクスプリシット (Explicit) 明らかな。腹藏なき。【例】エクスプリシットな意見。

エクスプレーン (Explain) ① 説明する。明細に知らす。【例】その間の事情をエクスプレーンして呉れたまへ。② 辯明する。釋明する。

エクスプレッショニズム (Expressionism) 表現主義。表現派。文藝上に於て形式主義に對し形式に重きを置かず表現に重きを置く主義。從つて奔放に過ぎて甚しいものになる形式を破壊するやうなものもあり極端に偏奇的である。

エクスプレッション (Expression) ① 言ひ表し。表白。語法。② 表情。聲色。【例】あの女優はエクスプレッションが巧い。③ 表現。發想。

エクスプレッシブ (Expressive) ① 意味深長な。意味ありげな。「二人はエクスプレッシブな微笑を交はした」等と用ひる。② 表情的。

エクスプレス (Express) ① 表白する。表示する。言葉なり身振りなりで自分の考、や感じを表すこと。【例】彼は衷心より感謝の意をエクスプレスした。② 急行列車。

エクスプレス・チケット (Express ticket) 急行券。急行列車券。料金は距離と等級に依つて違ふが例へば八百軒迄一等は三圓、二等は二圓、三等は一圓である。特急ならば夫々の倍額となる。

エクスプレス・カー (Express car) 急行車。單にエクスプレスともいふ。

エクスプレス・メール (Express mail) 速達郵便。東京、大阪の市内で取扱つてゐる。尙東京市—横濱市。大阪市—京都市又は神戸市の相互間でも實施されてゐる。

エ

エ — エマ

エクスプレス・メッセンジャー (Express messenger) 特使。急使。

エクスプラネーション (Explanation) ① 説明。辯明。② 解説。【例】もう少し詳細なエ

エクスプレス・チケット (Express ticket) 急行券。急行列車券。料金は距離と等級に依つて違ふが例へば八百軒迄一等は三圓、二等は二圓、三等は一圓である。特急ならば夫々の倍額となる。

エクスプレス・カー (Express car) 急行車。單にエクスプレスともいふ。

エクスプレス・メール (Express mail) 速達郵便。東京、大阪の市内で取扱つてゐる。尙東京市—横濱市。大阪市—京都市又は神戸市の相互間でも實施されてゐる。

エ

エク——エマ

エクスプレス・メッセンジャー (Express messenger) 特使。急使。

エクスプラネーション (Explanation) ① 説明。辯明。② 解説。【例】もう少し詳細なエクスプラネーションを希望します。

クスプラネーションを希望します。

エクスプラネーション・タイトル (Explanation title) 事件の顛末や心裡を解説する字幕

エクスコン (Excon) 文書を綴込むに便利なるやうその一端に穴を打抜く機具。

エクスコンファイル (Excon-file) 紙片の一端を打抜いた文書を綴込む整理簿。

エクスコンビクト (Exconvict) 前科者。嘗て刑の執行を受けたものをいふ。

エクステリトリアリチー (Exterritoriality) エクストラテリトリアリチーと同じ。

エクステリアー (Exterior) ① 表面の。外の。② 外部。外面。③ 映畫の屋外撮影。

エクステンポラリー (Extemporary) 即興の。即席の。應急的。

エクステント (Extent) ① 範圍。限界。限度。② 廣さ。廣々した所。

エクステンド (Extend) ① 延長する。延期する。② 擴大する。③ 伸びる。

エクステンション (Extension) 本來擴張、延長の意であるが新しい意味では「租界延長

道路」である。即ち上海北四川路等の如く租界より支那街に通ずる道路である。この

道路及びそれに沿ふ家屋は租界並の行政に服するのである。

エクスサービスマン (Exservice-man) 在郷軍人。尙エクスサービスマンズ・アソシエー

ションは在郷軍人會のことである。

エクスキューズ (Excuse) ① 勘辨。詫。斷り。② 斷る。プリーズ・エクスキューズ・ミー

(Please excuse me) は「何卒御免下さい」の意。

エクスपीリエンス (Experience) ① 經驗。經驗的知識。② 經歷。

エクスपीディエント (Expedient) ① 便宜の。好都合の。② 工夫。便法。

エクスपीディエンス (Expedience) 便宜。方便。得策。好都合。

エヤ (Air) を冠せる諸語はつゞれもエアの項を見よ。

エマーヂェント (Emergent) ① 突發の。【例】エマーヂェントな事件だ。② 緊急の。

エマーヂェンシー (Emergency) 不意の出來事。急場。事變。

エマーヂェンシー・ドア (Emergency door) 非常口。ドアの代りにエクシットともいふ。

エマーチェンシーワーク (Emergency work) 應急工事。
 エマーチェンシーマン (Emergency man) フットボール等の補缺選手。
 エマーチェンシーケース (Emergency case) ① 旅行用内用危救器。② 危急患者。
 エマーチェンシーファンド (Emergency fund) 豫備金 (非常時の)。
 エマーチェンシーメジャラス (Emergency measures) 應急策。
 エマーソン (Emerson) 米國の詩文家且哲學者 (西紀一八三〇年生。一八八二年歿)。牧師の子に生れ、ハーバート大學卒業後教育者牧師となつたが後宗教界を退いて「超絶派」一派の思想運動に投じてその中心人物となつた。その思想は反唯物論的で精神を以て物の本源とせる唯心論的哲學を説いた。著書に「偉人論」「論文集」その他がある。その崇拜者をエマーソニアン (Emersonian) と云ふ。

エマイユ (佛語 Email) ① 七寶燒。② ちまぐのの色。

エマヌエル (Emanuel) 一八六一年創建せるイタリー國に君臨し、イタリー全土統一の偉業を成し遂げたエマヌエル皇帝。現イタリー王朝は同帝の後裔である。

エマルション (Emulsion) 乳劑。寫真用乾板に塗る感光銀塩を含むコロチオン液。

エマナチオン (獨語 Emanation) 放出、流出の意でラヂウム又は其化合物が分解の際放出される元素の一に附した名で後ニトンと改められ一九二五年ラドンと命名された
 エマスキュレーション (Emasculation) ① 去勢。女々しくならせること。② 勢力を奪ふこと。尙エマスキュレーターは去勢する。

エマンシペート (Emancipate) 解放する。【例】斯る羈絆からエマンシペートされたい
 エマンシペーション (Emanicipation) 解放。釋放。救濟。尙アメリカの奴隷解放論者をエマンシペーションリスト (Emanicipationist) と云ふ。

エフ (F) フェミニン (Feminine) の首字であるが、特にイットのある女を意味する。

エプーゼ (佛語 Epouse) 花嫁。新婦。英語のブライド (Bride) に當る。

エプーズ (佛語 Epouse) 妻。英語のワイフに當る。

エフィシエント (Efficient) 有用な。効力ある。【例】この方法は實にエフィシエントだ。

エフィシエンシー (Efficiency) 能率。効果ある事。靈驗。き、目。由來官廳でも工場、

エマ——エフ

エフ

商店でも「能率々々」と八釜しいが能率を上げれば剩員が出来るに極つて居り、剩員が目立つて来るをクビつてことになる、能率問題の六ヶ敷い所以である。

エフェクトレス (Effectless) 利目のない。無効な。【例】凡ゆる努力もエフェクトレスだ
 エフェクティブ (Effective) ① 有効の。効力ある。② 實の。尙エフェクティブ・マネーは硬
 貨。正貨。③ 精兵。實兵員。

エフ・エス (F.S.) 映畫用語のフルセット (Full-set) の略稱。全景のことである。

エフ・アイ (F.I.) 映畫用語のフェードイン (Fade-in) の略稱。溶明のことである。

エコー (Echo) ① 反響。山彦。② 即答。③ ギリシヤ神話中の山姫で少年ナーシサス
 に戀して焦れ死にし聲だけを殘すに至つたと傳へられてゐる。

エコー (佛語 Ecot) ① 料理屋の勘定書。② 割前。

エゴ (Ego) 自我。自我に對してノンエゴ (Non-ego) を「非我」と云ふ。

エゴイスト (Egoist) 利己主義者。自分だけの幸福を目的として行動する人。つまり
 我利々々亡者のことであるが人間は多少の差あれエゴイストでないものはない。

エゴイストチック (Egoistic) 利己主義の。自己本位の。金持には極端にエゴイストチッ
 クな人間が多い。

エゴイズム (Egoism) ① 利己主義。② 唯我論。自利説。③ 自己本位。

エゴチスト (Egotist) 自愛者。自尊心家。

エゴチズム (Egotism) ① 自我中心主義。② 自分勝手。自分のことを餘りに語り過
 ぎること。③ 自尊。自惚。【例】エゴチズムの強い人間は嫌いだ。

エコール (佛語 Ecole) ① 學校。學派。② 繪等の流派。英語のスクールに當る。

エコソ (露語 Ecoso) エコノミチエスカ・ソウエート (經濟評議會) の略稱。地方經濟機
 關の連絡と統一をはかる機關。尙ストーを見よ。

エコノマイザー (Economizer) ① 儉約者。節約者。② 收熱器。

エコノマイズ (Econimize) 節約す。儉約す。經濟的に用ふ。

エコノミー (Economy) ① 經濟。生産、交換、分配、消費に關すること。ポリチカル・エ
 コノミー (Portical economy) は經濟學。尙フィナンスは財政の意である。

エコノミカル (Economic) ① 經濟的。徳用の。② 經濟學の。③ 儉約の。

エコノミック (Economic) ① 經濟學の。② 經濟上の。實用的な。

エフ——エコ

エコ

エコノミック・ポイント・オブ・ビュー (Economic point of view) 經濟的見地。

エコノミック・ポリシー (Economic policy) 經濟政策。

關の連絡と統一をはかる機關。尙ストーを見よ。

エコノマイザー (Economizer) ① 儉約者。節約者。② 收熱器。

エコノマイズ (Economize) 節約す。儉約す。經濟的に用ふ。

エコノミー (Economy) ① 經濟。生産、交換、分配、消費に關すること。ポリチカル・エコノミー (Political economy) は經濟學。尙フィナンスは財政の意である。

エコノミカル (Economical) ① 經濟的。徳用の。② 經濟學の。③ 儉約の。

エコノミック (Economic) ① 經濟學の。② 經濟上の。實用的な。

エフ——エコ

エコ

エコノミック・ポイント・オブ・ビュー (Economic point of view) 經濟的見地。

エコノミック・ポリシー (Economic policy) 經濟政策。

エコノミック・リレーションズ (Economic relations) 經濟關係。これは商品の交換關係や資本と労働の關係その他あらゆる經濟的關係を云ふのである。

エコノミック・ワールド (Economic world) 經濟界。フィナンシャル・サークルズとも云ふ。實業界、金融界の總稱。

エコノミック・カウンスル (Economic Council) 財政委員會。

エコノミック・ライフ (Economic life) 經濟生活。

エコノミック・ウオー (Economic war) 經濟戰。經濟鬭争。

エコノミック・クエスチョン (Economic question) 經濟問題。日常生活と緊密な關係を有する問題丈に小にしては一家の台所の安危に關係し、大にしては一國の存續に拘はるやうな大問題と化す。

エコノミック・プリンシプル (Economic principle) 經濟主義。最小の勞力にて最大の効果を收めることを原則とする主義。

エコノミック・コンヂションズ (Economic conditions) 經濟事情。

エコノミック・サークルズ (Economic circles) エコノミック・ワールドと同じ(同項参照)。

エコノミック・ユニオン (Economic union) 經濟同盟。エコノミック・リーグとも云ふ。

エコノミック・シチュエーション (Economic situation) 經濟狀態。

エコノミクス (Economics) ① 理財學。經濟學。エコノミーに關する事項を研究する學問。ポリチカル・エコノミーとも云ふ。② 家政學。

エコノミスト (Economist) 經濟學者。理財學者。經濟雜誌にこの名をとりたるものがある。例へば大阪毎日新聞社で月二回發行の「エコノミスト」等。② 節儉家。

エコノミズム (Economism) 經濟主義。一八九〇年代ロシア労働者運動に於て一派の改良主義者が唱へた主義で政治鬭争を排撃して經濟鬭争のみを主張せんとしたものの。この主義はマルクスによつて克服されるに至つた。

エコッセー (Ecosais) 蘇格蘭人。蘇格蘭語。蘇格蘭舞曲。

エ

エディ、エデュ (Edi, Edu) を冠せる語はすべてエヂ、エヂュの項を見よ。

エデン (Eden) 人類の始祖アダムと其妻イブが住んだ天上の樂園(アダム参照)。

エア (Air) エア、エアー、エーヤ、エヤと様々に云はれてゐる。① 空気。空中。以上の外飛行に關する合成語が多く出来てゐる(夫々の項参照)。② 歌。小曲。ナシヨナル・エアは國歌。③ 態度。風采。④ 空中線。

エアインスチテューション (Air-institution) 飛行協會。我が帝國飛行協會は航空技術の進歩普及民間航空従業者の保護獎勵等を目的としてゐる。

エアパイプ (Air-pipe) 通風管。通氣管。

エアバイセクターズ (Air-bisectors) 足を空中にふり上げる人、舞踊家、ダンサー等。

エアパトロール (Air-patrol) ① 空中偵察。航空機にて敵状を探ること。② 偵察飛行隊

エアパワー (Air-power) ① 制空權。② 航空軍力。③ 強力な航空軍を有する國。

エアバス (Air-bath) ① 空氣浴。エアージングとも云ふ。② 用氣乾燥器。

エアボード (Air Board) 航空局。

エアポート (Air-port) 空中港。航空機發着場。但しエアポートは大阪木津川飛行場、

東京羽田飛行場等の如く主として定期飛行に従事する航空機の發着場を意味す。

エアポリス (Air-police) 空の警察。何でも世界一を誇りたがる米國のニューヨークで創始されたもので航空訓練を受けた警官が飛行機に乗込んで上空を巡察するのである
エアポケット (Air-pocket) 空中には空氣が流動しないか又は氣流の突然減退した所や真空の部分がある、これをエアポケットと云ひ飛行機等が之に入ると落ちざるを得なくなる、それから轉じて異性に魅了されてふらくになる場合、そのやうな凄い魅力の持主をエアポケットと云ふ。【例】思ひ切れたつて、どうして彼女は僕にとつてエアポケットだよ。

エアポンプ (Air-pump) ① 排氣器。空氣を排出して真空とする器具。② 空氣唧筒。

エアベース (Air-base) 空軍根據地。【例】敵のエアベースを占領した。

エアベッド (Air-bed) 空氣寢床。空氣でふくらした寢床。

エアドローン (Air-drone) 飛行場。エアードロームとも云ふ。

エデ — エア

エア

エアトリップ (Air-trip) 空中旅行。飛行。

エア・トレイン・システム (Air train system) 飛行機と鐵道の聯絡輸送法。歐米では盛んにやつてゐる方法である。我國では例へば東京大連間に於て飛行機、列車、自動車、

くなる、それから轉じて異性に魅了されてふらくになる場合、そのやうな凄い魅力の持主をエアポケットと云ふ。【例】思ひ切れつたつて、どうして彼女は僕にとつてエアポケットだよ。

エアポンプ (Air-pump) ① 排気器。空氣を排出して真空とする器具。② 空氣唧筒。
エアベース (Air-base) 空軍根據地。【例】敵のエアベースを占領した。
エアベッド (Air-bed) 空氣寢床。空氣でふくらした寢床。
エアドローーム (Air-drome) 飛行場。エアアロドローームとも云ふ。

エデ——エア

エア

エアトリップ (Air-trip) 空中旅行。飛行。

エア・トレイン・システム (Air train system) 飛行機と鐵道の聯絡輸送法。歐米では盛んにやつてゐる方法である。我國では例へば東京大連間に於て飛行機、列車、自動車、汽船等を連絡利用し一枚の聯絡切符に依つて東京、大阪、木津川間は飛行機、木津川から大阪驛まで自動車、大阪から福岡までは列車、それから太刀洗へ自動車、同所から大連まで飛行機で一飛と云つた工合である。

エアトランスポート (Air-transport) 空中輸送。航空輸送。エアサービス又はエアライドとも云ふ。

エアトランスポート・カンパニー (Air-transport company) 航空輸送會社。定期飛行を行つて旅客及び貨物の空中輸送に従事する會社。

エアチップ (Air-tip) 空のチップの意で、ノーチップのこゝである。カフェーやバーで大いにウーピーを味つた後心附を置かずに歸る客を云ふのである。

エアリズム (Airism) 航空萬能主義。航空禮讚。

エアリング (Airring) ① 散歩。遊歩。「一寸散歩に」と云ふ所を「エアリングに出かける」と使ふのである。② 空氣乾燥。

エアルーパー (Air-looper) 宙返飛行家。曲乗飛行家。

エアガール (Air-girl) 旅客飛行機專屬女案内人。過般多數の志願者中からメンタルテストの上採用された彼女達は新職業にふさはしい洋装も輕やかに、機上から見た風景の説明を乗客に聞かせたり、コーヒー、紅茶等のサービスまでするモダン天女である。又旅客機の絶対安全?と云はれる今日ステッキガールが客の希望次第で空の散歩のお相手までするとなる。これ又エアガールなんである。

エアガード (Air-guard) 空中防禦。防空。戦時敵機の襲來を防ぐこと。例へば敵機の近づいたこと等を電話で軍事當局に知らして防禦に便じたり燈火管制を行つて一瞬にして全市を暗黒化し敵機の目標を取り除いたりする事である。

エアガード・ネットワーク (Air-guards network) 防空網。敵機の襲來を豫知すべき装置。聽音機、電話警報装置等を多數に設備してそれによつて形成した防禦網。獨逸はベル

サイエ条約で軍用飛行機の使用を禁ぜられ、普通商用飛行機のみを有してゐるが、一方西隣の佛國は世界有数の軍用飛行隊を有し東隣のポーランドも恐るべき飛行隊を有せる等の事實に鑑み萬一の場合に備ふるため各國は大防空網を建設して居る。

エアカレント (Air-current) 氣流。大氣の流動。

エアカッスル (Air-castle) 空中樓閣。空中に築ける城の如く實現性のない空想的事物。

エアカウンスル (Air-council) ① 英國に於る航空會議。② 航空司令部。

エアガン (Air-gun) 空氣銃。エアライフルとも云ふ。

エアタクシー (Air-taxi) 空のタクシー。最近東京航空輸送會社が試みたもので當初は五人乗旅客機(料金一時間二百二十圓)、二人乗水上機 同百十圓)が就航してゐた。

エアレード (Air-raid) 空中襲撃。航空機で空より敵地を攻撃すること。大戰當時獨逸のツェッペリン飛行船が英國の首都ロンドンをエアレードし猛烈な偉力を示した。

エアツェールング (獨語 Erzählung) 小説。物語。

エアライド (Air-ride) 空中飛行(航空機による)。航空輸送。

エアライン (Air-line) ① 架空線。最短路。直線。② 航空路 エアリアル・ルート参照)

エアウェー (Air-way) ① 航空路。航空機の飛行する空路で歐米諸國では航空術が發達し航空路は網の目のやうになつてゐる。② 通風口。

エアクール (Air-cool) 空氣冷却式發動機。

エアクラフト (Aircraft) ① 航空術。② 飛行機。航空機。

エアクラフト・キャリヤー (Aircraft carrier) 航空母艦。

エアマネキン (Air-mannequin) 飛行マネキン。例の百貨店に出演したり又は街頭宣傳に従事してゐたマネキン嬢が勇敢にも空に迄進出して本家本元の天女を驚かしたのである、その仕事は飛行機上から商品のビラ撒きを行ふこと云ふスピード時代の婦人新職業の一である。

エアマン (Airman) 飛行家。飛行士(エーヴィエーター参照)。

エアゲージ (Air-gauge) 氣壓計。氣壓檢出器。

エアフリート (Air-fleet) 航空機隊。空中戦隊。

エア

エア

エアフォース (Air-force) 空軍。航空軍。尙ローヤル・エア・フォースは英國空軍。

エアブレーク (Air-brake) 空氣制動機。壓縮空氣で制輪するもので空氣齒止等とも云はれてゐる。尙エアブレーキとも云ふ。

エアマンネキン (Air-mannequin) 飛行マンネキン。例の百貨店に出演した文に街頭宣傳に從事してゐたマンネキン嬢が勇敢にも空に迄進出して本家本元の天女を驚かしたのである、その仕事は飛行機上から商品のピラ撒きを行ふと云ふスピード時代の婦人新職業の一である。

エアマン (Airman) 飛行家。飛行士 (エーヴィエーター参照)。
エアゲージ (Air-gauge) 氣壓計。氣壓檢出器。
エアフリート (Air-fleet) 航空機隊。空中戦隊。

エア

エア

エアフォース (Air-force) 空軍。航空軍。尙ローヤル・エア・フォースは英國空軍。
エアブレーク (Air-brake) 空氣制動機。壓縮空氣で制輪するもので空氣齒止等とも云はれてゐる。尙エアブレーキとも云ふ。

エアプレーン (Air-plane) 飛行機。エアプロプレーンとも云ふ。

エアブラシ (Air-brush) 空氣刷毛。液体塗料噴霧器。一八九二年市俄古の Charles L. Burdick 氏により發明されたる壓搾空氣の手段により作用する機械的噴霧器にして印畫原板を仕上げ或は修理するに使用せらる。エアプログラフとも云ふ。

エアファイト (Air-fight) 空中戦。大戦當時空中戦はまことに壯烈を極めた、それで敵機五臺を射落した飛行將校をエースと呼んでその勳功を讃へたものである。

エアコープス (Air-corps) 飛行隊。フライイング・コープスとも云ふ。
エアコンヂションング (Air-conditioning) 人工的に淨化した空氣で煖冷房、換氣、濕度調節等をなすこと。

エアコンデンサー (Air-condenser) 空氣冷却器。用氣凝汽器。

エアエース (Air-ace) 飛行勇士 (エース・オブ・ザ・エア参照)。

エアディスプレイ (Air-display) 展示飛行。

エアデパートメント (Air Department) 英國の航空省。

エアアイス (Air-ice) 冷凍固形瓦斯。液化炭酸瓦斯を壓出して生じた瓦斯を特種の方法で一定の固形としたもの。溶ける時は瓦斯体となるから空氣水の名がある。温度は攝氏零下八十二度半と云ふ低温である。

エアアドバタイズメント (Air-advertisement) 空中廣告。輕氣球、飛行機等で廣告をなすこと。煙文字で夜間空中に文字を書く方法等を云ふ。

エアサービス (Air-service) ① 空中勤務。航空軍兵役。② 航空輸送 (旅客及び郵便物等の)。③ 航空隊。空軍。④ 空中に於けるエアガールのサービス。

エアメール (Air-mail) ① 飛行郵便。航空郵便。我國では一九二五年から郵便物の空中輸送が行はれ現在では東京、大阪、福岡、蔚山、京城、平壤、大連間等に實施されて居る、飛行郵便専用のポストはエアメール・ポストと云ひ普通のポストが赤色なるに

對しそれを區別するため色もゆかりの空色である。② 郵便飛行機。

エアミニスター (Air Minister) 英國の航空大臣。航空相。

エアシック (Air-sick) 飛行機及び飛行船等に乗つて酔ふこと。氣流病。

エアシップ (Air-ship) 飛行船。ドイツブルとも云ふ。尙は世界最大の飛行船は英國航空省所有のR-100號で長さ七〇九呎、容積五一五萬立方呎、七百馬力の發動機を備へて百四十人(乗組員四十人を含む)を收容し得る、この巨体でありながら一九三〇年七月末の荒天に大西洋横斷三四〇〇哩を七九時間で飛翔した。この姉妹船R-101號が印度訪問の途中爆破したことは航空大慘事として有名である。尙飛行船と云へば思ひ出すものにツェッペリン號がある、一九二九年八月世界一周の壯途に成功してその驚嘆すべき威力を世人に知らした。

エアシェッド (Air-shed) 航空機倉庫。格納庫。

エアセーラー (Air-sailer) 一種の無發動機飛行機。

エアスカウト (Air-scout) ① 飛行偵察兵。② 偵察飛行機(スカウトプレーン)。

エアステーション (Air-station) 飛行機停留場の意で飛行機發着場をいふ。

エアスピード (Air-speed) 飛行速度。航空速度。飛行速度の世界記録は陸上機では時速四四八呎、水上機では五七四呎である。

エキ を冠せる語は全てエクの項を見よ、例へばエキゾチック、エキストラは夫々エクゾチック及びエクストラを見るが如し。

エメリー (Emery) 金剛砂。エメリー・パウダーは金剛砂粉。エメリー・ペーパーは鑪紙

エメラルド (Emerald) 綠玉石。玉詞は不死不滅をあらはし五月の誕生石とされてゐる。尙エメラルド・グリーンは綠青色。エムロードとも云ふ。

エミネント (Eminent) 名高い。知名の。一流の。【例】昨日のパーティーにはエミネントな人達が多數參會した。

エミグレート (Emigrate) 移住する。海外へ渡航する。轉じて轉居するの意。

エミグレーション (Emigration) ① 出稼。移住(國外への)。② 移民。【例】政府は南米へのエミグレーションを奨励して居る。

エア — エミ

エミ — エピ

エミグランド (Emigrant) ① 移民。海外出稼人。② 亡命者。

エミグランド・コンパニー (Emigrant company) 移民會社。

エミュー (Emu) 豪州産の巨鳥。駝鳥に似てゐる、脚は強大で森林に棲んでゐる。

エメラルド (Emerald) 綠玉石。玉詞は不死不滅をあらはし五月の誕生石とされてゐる。尙エメラルド・グリーンは綠青色。エムロードとも云ふ。

エミネント (Eminent) 名高い。知名の。一流の。【例】昨日のパーティーにはエミネントな人達が多數參會した。

エミグレート (Emigrate) 移住する。海外へ渡航する。轉じて轉居するの意。

エミグレーション (Emigration) ① 出稼。移住(國外への)。② 移民。【例】政府は南米へのエミグレーションを奨励して居る。

エア——エニ

エニ——エド

エミグラント (Emigrant) ① 移民。海外出稼人。② 亡命者。

エミグラント・コンパニー (Emigrant company) 移民會社。

エニユー (Ennu) 濠洲産の巨鳥。駝鳥に似てゐる。脚は強大で森林に棲んでゐる。

エシカル・ヘドニズム (Ethical hedonism) 倫理的快樂説。快樂説は快樂を以て人生終極の目的とし、自己及他人に取り望まじき最高美なりと考へる、これに倫理的意義を附し理性の示す處に従ひ小快樂をすて、生涯に亘る最大の快樂を齎すが如き行爲をなすべしと云ふのである。

エシヨップ (Fehoppe) 屋臺店。小屋掛けの店。

エシックス (Ethics) 倫理學。道德學。尙プラクチカル・エシックスは實踐倫理學。

エジプト (Egypt) 埃及。亞弗利加大陸の東北部を占めナイル河が貫流してゐる、歐洲大戰亂の結果英國の保護國となつたが獨立を承認された。又此地は西洋文明の源泉地で五千年前既に絢爛たる文明が開け歴史上埃及文明と稱されてゐる。埃及と云へばピラミッドやスフィンクスを思ひ出すが、兎に角グロ味たつぷりの國である。

エジプチアンタイプ (Egyptian-type) 埃及型。最近流行の春の婦人帽子型。

エジプチアンダンス (Egyptian-dance) 東洋的なメロデーの漂ふ華かな舞踏。

エピローグ (Epilogue) ① 結論。結文。一つの物語や文章の締括りをする詞又は章。

此語はもとと納めの言葉即ち演劇の終に俳優が觀客に向つて述べる口上を意味したが今日では映畫や劇に於て波瀾曲折を極めた物語の結末を示す小幕のことを云ふやうになつた、大抵主演者(男女)の對話に終り、舞臺面も幽幻的な光線を用ひて夢想的なシーンを見せることが多い。② 音樂の終曲。後奏曲。

エピヂェネシス (Epigenesis) 新生説。生物の發生に關する學說の一で前成説と對立する説。生物の子の身体は最初は何の構造もない極めて簡單なものであるが、成長するに従つて部分の間に漸次相違が現はれて複雑となり、終に完全な構造を有するに至ると云ふ説。十八世紀の中頃十八歳になるヴォフルと云ふ少年がこの説を發表した。

エピターフ (Epitaph) 碑文。碑銘。墓誌。

エPILEプチック (Epileptic) ① 癲癇の。② 癲癇患者。

エ

エピソード (Episode) ① 挿話。餘談。本筋の事件や物語に附帶して起る小事件や小話つまり枝葉の出来事又は話を云ふのである。新聞や雑誌には大抵エピソードを掲げる欄がある。それには「豆ゴルフ」や「點心」等と各社さまさまの名前をつけてゐる。② 挿句、挿曲(音楽で主旋律のない部分)。③ 劇や映畫の劇中劇。又連續映畫の「龍虎篇」とか「蘭子の巻」に於ける篇又は巻。

エピック (Epic) 叙事詩。史詩。歴史的出来事をそのまゝ叙述した詩。史的傳説。

エピグラム (Epigram) 諷刺詩又は寸鐵的な警句。寸鐵語。

エピグラフ (Epigraph) 題詞(書物等の)。題銘 墓碑等の)。

エピゴネン (獨語 Epigonen) ① 子孫。② 思想等の後繼者。亞流。模倣者。エピゴネン・ペリオデ (——periode) は先人のフットステップ(足跡)のみを拾つて模倣を事とするやうな文學衰微時代のことを云ふ。

エビデミック (Epidemic) ① 流行病。傳染病。② 流行物。

エビデンス (Evidence) ① 證言。證跡。證據。② 證據となる人又は物。

エビキュア (Epicure) ① 美食家。食道樂(人)。② 快樂派の人。

エビキュリアニズム (Epicureanism) 快樂主義。もとは精神的快樂主義を云つたのであるが今日では肉体的快樂主義の意味に用ふ(エビキュリアニス参照)。

エビキュリアン (Epicurean) 快樂主義者(次項参照)。エビキュリアンとも云ふ。

エビキュリアニス (Epicureans) エビキュラス學派。古代希臘の哲學者エビキュラスの創始せる學派。希臘哲學史上所謂倫理時代に出で精神的快樂説を唱へた。

エビキュリズム (佛語 Epicurisme) 快樂主義。肉感主義。官能主義。

エピシオン (Epicene) ① 兩性通用の。② 男女兩性具有者。

エピスチモロギー (Epistemology) 認識論。認識説(哲學用語)。

エピスリー (Epicerie) ① 香料。藥味類。② 食料品店。

エモーシヨナリスト (Emotionalist) ① 感情家。② 主情論者。感情論者。

エモーシヨナリズム (Emotionalism) ① 感情的性向。感情に脆いこと。② 主情主義。

エモーシヨナル (Emotional) 情緒の。感情的な。感動的な。

エビ——エモ

エモ——エス

エモーシヨナル・アクトレス (Emotional actress) 眞面目な役に適する女優。

エモーシヨン (Emotion) 感情。【例】乙女のエモーシヨンは羽毛のやうに震へ易い。

エモリメント (Emolument) ① 奉給。手當。② 利益。役徳。

エピキリスム (Epicurisme) 快樂主義。肉感主義。官能主義。
エピシオン (Epicene) ① 両性通用の。② 男女両性具有者。
エピスチモロヂー (Epistemology) 認識論。認識説 (哲學用語)。
エピスリー (Epicurie) ① 香料。薬味類。② 食料品店。
エモーシヨナリスト (Emotionalist) ① 感情家。② 主情論者。感情論者。
エモーシヨナリズム (Emotionalism) ① 感情的性向。感情に脆いこと。② 主情主義。
エモーシヨナル (Emotional) 情緒の。感情的な。感動的な。

エピ——エモ

エモ——エス

エモーシヨナル・アクトレス (Emotional actress) 眞面目な役に適する女優。
エモーシヨン (Emotion) 感情。【例】乙女のエモーシヨンは弱毛のやうに震へ易い。
エモリユメント (Emolument) ① 俸給。手當。② 利益。役徳。
エセックス (Essex) ① 英國のイングランド南東の一州。② 一種の自動車名。
エセモダン (Ese-modern) エセは日本語の似非で「形式ばかりに走つて精神的に空虚な現代風」、「いまがしもの、當世ざざり」。と云つた意味である。
エス (S) ① 美人 (獨語 Schon)。② 女學生間の同性愛の對象 (Sister)。③ 戀人 (Sweet-heart)。④ 煙草 (Smoke)。⑤ 間諜 (Spy)。⑥ エスケープの略。
エス (Jesus) イエスの訛 (イエスキリストの項参照)。
エスイット (獨語 Jesuit) ① 天主教の一派エスイタ派の信徒。② 耶穌會々員。
エスパウズ (Espouse) ① 婚約する。② 請負ふ。擔當する。③ 味方する。
エスペラント (Esperanto) ポーランド人マイストロ・ザメンホフが創製した世界共通語で、エス語とも略稱され一九〇五年佛國にて第一回萬國エスペラント大會が開かれ爾來益々普及されるに至つた。これは各國共通の語源から成り立ち簡単な文法によつて新語を造り得る (次項参照)。

エスペランチスト (Esperantist) エスペラント語學者。エス語使用者。これをエス語では Esperantisto と書るのである。エスペラント運動の一つは小ブル的中立エスペランチストの運動で、萬國エスペランチスト協會 (UEA) がこれだ、これに對して全世界無國性協會即ちサート (SAT) の行ふプロレタリア・エスペランチストの運動がある、この SAT は全世界の無産大衆にエスペラント的教育を施し、彼等をして完全なる國際人 (Internacisto) ならしめることを目的としてゐる。尙我國にも日本プロレタリア・エスペラント同盟 (JPEU) がある。

エストラード (佛語 Estrade) 演臺。舞臺。英語のステージに當る。

エスチーム (Esteem) ① 尊重。② 尊重する。【例】年長者の意見をエスチームせよ。

エスチメート (Estimate) 豫算。見積。見込。ラフ・エスチメートは概算。

エスチメーション (Estimation) ① 見積。見積高。豫算。② 尊重。③ 判断。

エ

エス・オー・エス (S.O.S.) 無線電信による船舶遭難信號。一九一二年國際無電協會制定の萬國共通遭難信號で Save our souls の略である。「助けて呉れ」の意味に用ひられる、又轉じて「金を送れ」の意味を表はす。旅行先で金が欠乏した時親元なり、友人宛に送金方を打電するのが乃ち S O S なるのである、「あの男のこゝだから必ず S O S を寄越すにきまつてゐる」等の如く用ふ。

エスカロール (佛語 Escarole) 菊萵苣 (きくちさ)。エンダイブに同じ。

エスカルパン (佛語 Escarpin) 半靴。上靴。舞踏靴。英語のバンプ (Pump) に當る。

エスカルブークル (佛語 Escarboucle) 紅玉。柘榴石。英語のカーバンクルに當る。

エスカレーター (Escalator) 自動階段。動梯。電氣モーターにて自動的に一聯の梯子を動かして段々を作りつゝ、二階又は三階などに人又は物を運ぶ装置。大阪三越は六階までこれで昇れる。ムービングステアウエー (Moving-stairway) 動 (階段の意) とも云ふ

エスカモタージュ (佛語 Escamotage) 手品。奇術。英語のジャックリングに當る。

エスタブリッシュ (Establish) ① 確立する。② 設立する。設置する。創設する。

エスタブリッシュメント (Establishment) ① 建立。設置。② 定俸。收入。③ 定員。

エスタミネー (佛語 Estaminet) コーヒ店。居酒屋。エスターミーネーとも云ふ。

エスノロヂー (Ethnology) 人類學。人種學。尙エスノロヂェットは同上の學者。

エスクードー (Escudo) ① ポルトガルの貨幣單位名。② (エスクアゾー) スペインの銀貨名。

エスクロージア (Eschscholtzia) 花菱草。草丈は八九寸から一尺位で切花及び花壇用によい。エシヨルツィア又はエスコルシアが正しい。

エスクワイア (Esquire) 様。殿。手紙で姓名の後に添へる語 (略語 Esq.)

エスクランドル (佛語 Escandale) 醜行。醜聞。醜事實。英語のスキヤンダルに當る。

エスケープ (Escape) 避ける。逃げる。抜ける。脱出する。學生が授業を抜けることを「エスケープする」又は「エスる」等と云つてゐる、エスつた學生は圖書館やキネマ館へ潜行するのが定石である、又ガス等が漏れることにもいふ。

エスプリ (佛語 Esprit) ① 精神。魂。② 頓智。頓才。③ 眞髓。精。エキス。

エス

エス

エスプリ・ヌーボー (佛語 Esprit nouveau) 新精神。文藝のあらゆる分野に於て新境地を開かんとする精神でジャン・コクトー等が盛んに提唱してゐる。

エスプリ・フォルト (佛語 Esprit fort) 唯我獨尊者。

エスブラ (Esbra) 大阪堺筋の夜店をブラつく、こゝを云ふ。この外大阪には道ブラ (道

よい。エシヨルツィア又はエスコルシアが正しい。

エスクワイア (Esquire) 様。殿。手紙で姓名の後に添へス語 (略語 Esq.)

エスクランドル (仏語 Esclandre) 醜行。醜聞。醜事實。英語のスキヤンダルに當る。

エスケープ (Escape) 避ける。逃げる。抜ける。脱出する。學生が授業を抜けることを

「エスケープする」又は「エスる」等と云つてゐる、エスつた學生は圖書館やキネマ館へ潜行するのが定石である、又ガス等が漏れる、ことにもいふ。

エスプリ (佛語 Esprit) ① 精神。魂。② 頓智。頓才。③ 眞髓。精。エキス。

エス

エス

エスプリ・ヌーボー (佛語 Esprit nouveau) 新精神。文藝のあらゆる分野に於て新境地

を開かんとする精神でジャン・コクトー等が盛んに提唱してゐる。

エスプリ・フォルト (佛語 Esprit fort) 唯我獨尊者。

エスブラ (S-bura) 大阪堺筋の夜店をブラつくこと云ふ。この外大阪には道ブラ (道

頓堀)、心アラ (心齋橋)、東京には銀ブラ (銀座)、神ブラ (神保町)、神戸には元

ブラ (元町通)、京都には京ブラ (京極) と云ふやうな名稱がへいてゐる。

エスフラネード (Esp'lanade) ① 遊歩道。逍遙路。散策地。② 芝生。芝生地。③ 廣場。

佛語ではエスプラナードと云ふ。

エスコート (Escort) ① 警備。護衛。監督 (者)。② 護衛兵。護衛艦。③ 護衛する。

【例】あの娘にはいつも屈強な青年がエスコートしてゐる。

エス・エル (露語 O.P.) ロシア社會革命黨の略稱。一九〇一年に組織されたロシア革命

運動者の政治結社で、ナロードニキの主張を繼承しその指導者はケレンスキーやチ

ヤイコフスキーであつたが一九二二年のエス・エル裁判を最後として環滅した。エ

ス・エル裁判とはエス・エル黨員四十七名の反革命陰謀に對するロシア革命裁判所の

公開裁判で世界の労働者の視聽を集めたが裁判の結果、死刑十五名、懲役十年六名、

五年六名其他は執行猶豫となつて解決した。

エス・ム・ユー (S.M.U.) 俸給生活者組合 (Salary Men's Union) の略。大正十四年

神戸サラリーメン・ユニオンが創立されて以來東京大阪其他でも組織され日本俸給生

活者組合評議會が出現するに至つたが三・一五、四・一六事件にて幹部の多くが檢舉

されてしまつた。その綱領は組織と闘争によつて労働條件を維持改善し生活權の確

立を期し、労働階級の一分野として階級の完全な解放を期すと云ふ。元來サラリーマ

ンは労働者と異り直接生産點より遊離してゐるため階級意識の鮮明を缺き、隨つて組

織と闘争性に乏しいから、労働組合の指導下に組合を結成するが多くは改良主義の域

を出ない。

エス・エス・エス・エル (露語 O.C.C.P.) ソウエート・ロシアを見よ。

エステート (Estate) ① 財産。地所。② 身分。身上。③ 狀況。状態。④ 階級。

エ

エステート・コンサーンズ (Estate concerns) 土地建物會社。

エスキモー (Eskimo) 北米大陸の極北地方に住する亞細亞人種の民。身長矮小で皮膚は黄色又は稍褐色を帯びてゐる、鳥獸魚肉等を生の儘食す。轉じて一寸法師の意に用ふ。

エスキス (佛語 Esquisse) 草稿。下圖。英語 スケッチ (Sketch) に當る。新聞記事に「師走エスキス」を題してスケッチ的な師走の街上觀察記等を書いたのがある。

エスシート (Esthete, Esthete) 審美家。美術狂。

エッセチックス (Aesthetics, Esthetics) 美學。尙エッセチックは美學の。

エッセチシズム (Aestheticism) 耽美派。耽美主義。唯美主義とも云ふ、近代の唯物思想が文學をも散文的にならしめたが、純粹な詩人的性向の人はこの傾向に反抗し俗衆の生活を避けて獨り詩美の境を求めんとした、しかし歴世的でなく積極的で飽迄も強く歡樂に耽らんとした。

エン (En) 牛角。活字の全角即ち ■ をエムと云ひ、牛角即ち ■ をエンと云ふ。

エンロールメント (Enrolment) ① 名簿記入。② 兵籍に加へること。入營。

エンバーク (Embark) ① 乗船する。【例】金曜日出帆の淺間丸にエンバークすることになつてゐる。② 搭載する。尙エンバークーション (Embarkation) は乗船、搭載のことである。

エンバーク (Embargo) ① 出港停止。輸出禁止。尙ゴールド・エンバーク (Gold embargo) は金輸出禁止。② 出港を停止する。禁止する。

エンバイロン (Environ) 取巻く。包む。【例】あのマダムはいつも數名の青年達にエンバイロンされてゐるんだ。尙エンバイロンズは郊外、近所の意である。

エンバイロメント (Environment) ① 包圍。取巻き。② 環境。
エンパイヤ (Empire) ① 帝國。日本や英國のやうな島嶼帝國はアイランズ・エンパイヤである。② 主權。統轄。

エンパイヤ・デー (Empire Day) 帝國節。全英祝日(五月二十四日)。この日は英國ビクトリア女皇の誕生記念日である。

エンパイヤ・シチー (Empire City) 米國ニューヨーク市の稱である。

エス——エン

エン

エンパイヤ・ステート・ビル (Empire State Building) 一九三一年六月ニューヨーク市五

番通三十四丁目角に竣工した世界最大の摩天樓の名前である。全高千四百呎即街路から屋根迄が千百呎、その上に三百呎の飛行船繫留塔がある。八十六階建て日本一の丸

エンバイロン (Environ) 取巻く。包む。【例】あのマダムはいつも数名の青年達にエンバイロンされてゐるんだ。尙エンバイロンズは郊外、近所の意である。

エンバイロメント (Environment) ① 包圍。取巻き。② 環境。

エンパイヤ (Empire) ① 帝國。日本や英國のやうな島嶼帝國はアイランツ・エンパイヤである。② 主權。統轄。

エンパイヤ・デー (Empire Day) 帝國節。全英祝日(五月二十四日)。この日は英國ビクトリア女皇の誕生記念日である。

エンパイヤ・シチー (Empire City) 米國ニューヨーク市の稱である。

エス——エン

エン

エンパイヤ・ステート・ビル (Empire State Building) 一九三一年六月ニューヨーク市五番通三十四丁目角に竣工した世界最大の摩天樓の名前である。全高千四百呎即街路から屋根迄が千百呎、その上に三百呎の飛行船繫留塔がある。八十六階建て日本一の丸ビルを十二も積み重ねたほどの高さ容積がある。二十階以上の建物が百八十餘もあるニューヨーク市に斯うした素晴らしい高層建築がまだく殖えて行く、一九三〇年五月に世界一の名乗りを上げたクライスラー・ビルも今日では早や世界一でなくなつた。因にエンパイヤ・ステートはニューヨーク州のこと(ビルヂング参照)。

エンバッシー (Embassy) ① 大使の職。② 大使館。

エンバラス (Embarrass) ① 困らす。まごつかす。【例】突然變な質問にぶつかつたものだからすつかりエンバラスされちやつた。② 財政困難に陥らす。

エンポーリアム (Emporium) ① 中央市場。商品集散地。② 勸工場。百貨店。

エンボイ (Envoy) 使節。公使。スペシャル・エンボイは特使のことを云ふ。

エンボッシング (Embossing) 浮出し。浮出し印刷。印刷された部分が紙面から凸出するやうに型で押出すのであつて型押とも云ふ。應用範圍はシヨーカード、紙器等である

エンボディ (Embodiment) 具体化する。体現する。【例】例の計畫が愈々エンボディした。

エンボディメント (Embodiment) ① 具体。体現。② 權化。

エンベロープ (Envelope) ① 封筒。狀袋。② (飛行船の) 氣囊。

エンベロープ・システム (Envelope system) 手紙整理法。包裝整理法。カード式事務整理法に紙袋を使用する方法で袋毎に同種に屬するカードを入れ、その袋を又分類保存するのであるがカードの出入に手間がかかるので餘り採用されて居ない。

エンペラー (Emperor) 天皇。皇帝。ヒズ・マヂェスター・ジ・エンペラー (His Majesty the Emperor) 天皇陛下。

エンパリアス・ハウス (Emperor's House) ① 皇室。インペリアル・ハウスホールド (Imperial Household) ちよびふ。② 皇宮。

エンベズル (Embezzle) 私消する。使ひ込む(委託金等を)。【例】彼は數千圓をエンベズルして裁きを受くる身となつた。尙エンベズルメントは委託物費消費のこと。

エ

エンド (End) 終り。終端。書籍の終りなどを云ふ。又外國製のフィルム最終には種々の意匠をこらしてこの字が現はれる。

エンドースメント (Endorsement) 裏書。同意。インドースメント (Indorsement) とも云ふ。エンドース又はインドースも動詞で、同上するの意。

エントリー (Entry) ① 入場。入來。② 入場權。③ 入口。玄關。④ 運動競技の番組表。競技に参加資格ある人の氏名を登記するもの。

エンドレス・ワイヤー・クロースズ (Endless wire clothes) 長網式抄紙機械の紙漉用金網

エントラスト (Entrust) 委任する。信託する。イントラストとも云ふ。

エントランス (Entrance) ① 入口。玄關。② 入社。入學。入場。③ 入場料。この意味の時にはエントランス・フィー (又はマナー) とも云ふ。

エントランス (Entrance) 恍惚ならしめる。うつとりさす。イントランスが正しい。

エントランスホール (Entrance-hall) 表玄關。入口大廣間。

エントランス・エグザミネーション (Entrance examination) 入學試験。

エントモロジー (Entomology) 昆虫學。尙昆虫學者はエントモロヂストといふ。

エンジニア (Engineer) ① 機械方。技師。② 機關手。運轉手。③ 工兵。

エンジニアリング・ワークス (Engineering works) 土木事業。

エンジニアリング・コントラクティング・カンパニー (Engineering contracting company) 土木請負會社。

エンジニアリング・コンGRESS (Engineering congress) 工業會議。

エンチャント (Enchant) 惱殺する。恍惚ならしむ。【例】あのチャールミングな眼にかゝると大抵の男は忽ちエンチャントされて了ふ。

エンチャントレス (Enchantress) 女魔法使。女魔術師。轉じて妖婦。

エンチャントメント (Enchantment) ① 惱殺。② 惚々させるもの。③ 魔法。

エンチャントング (Enchanting) 惱殺する。艶麗の。【例】エンチャントングな裸体美

エンチャント・ランド (Enchanted land) 仙境。フェアリーランドとも云ふ。

エンジン (Engine) ① 發動機。汽機。機械。機關。② 機關車。

エン

エン

エンジンドライバー (Engine-driver) 機關手。運轉手。

エンジンドア (Engine-door) 自動開閉扉 (電車や汽車の)。

エンジンルーム (Engine-room) 機關室。

エンチャント (Enchant) 惱殺する。恍惚たらしむ。【例】あのチャーミングな眼にかゝる大抵の男は忽ちエンチャントされて了ふよ。
エンチャントレス (Enchantress) 女魔法使。女魔術師。轉じて妖婦。
エンチャントメント (Enchantment) ① 惱殺。② 惚々させるもの。③ 魔法。
エンチャントング (Enchanting) 惱殺する。艶麗の。【例】エンチャントングな裸体美
エンチャント・ランド (Enchanted land) 仙境。フェアリーランドとも云ふ。
エンジン (Engine) ① 發動機。汽機。機械。機關。② 機關車。

エン

エン

エンジンドライバ (Engine-driver) 機關手。運轉手。
エンジンドア (Engine-door) 自動開閉扉 (電車や汽車の)。
エンジンルーム (Engine-room) 機關室。
エンジンゴンドラ (Engine-gondra) 飛行船の發動機を据付けるゴンドラ (吊船)。
エンリスト (Enlist) ① 兵を徵募する。② 應募する。加はる。【例】二百名の職工が新に爭議團にエンリストした。尙同上することをエンリストメントと云ふ。
エンカレーヂ (Encourage) インカレーヂとも云ふ。勵ます。獎勵する。鼓舞する。【例】味方の士氣をエンカレーヂする。尙エンカレーヂメントは獎勵、振興、鼓舞の意。
エンカウンター (Encounter) ① 會戰。衝突。② 遭遇。③ 同上する。
エンカスチック・ペースト (Encaustic paste) 蠟畫糊。此の糊は印畫に光輝を附與する爲に用ひらる。エンコースチック・ペーストが正しい。
エンカンブラン (Encombrance) ① 邪魔物。厄介物。妨害物。② 係累。
エンタープライザー (Enterpriser) 企業家。事業家。
エンタープライジング (Enterprising) 企業心ある。進取の氣象ある。尙エンタープライジング・スピリットは進取的精神を云ふ。
エンタープライズ (Enterprise) ① 企業。事業。② 企業心。
エンターテイング (Entertaining) 面白い。楽しい。
エンターテイン (Entertain) 饗應す。樂します。【例】ウント變つた趣向で參會者をエンターテインしよう。
エンターテインメント (Entertainment) ① 娛樂。接待。演藝。餘興。② 宴會。馳走。イブニング・エンターテインメントは夜會を云ふ。
エンタイトル (Entitle) ① 權利や資格を與へる。② 表題をつける。名付ける。
エンタイトル・ツー・ベース (Entitled two base) 野球で野手が暴投した球がフェンス (柵) 等に觸れた場合ランナー (走者) は安全に二つの壘に進み得るのである。
エンダイブ (Engrave) 菊ちぎ。花は菊に似た可愛らしい藍色で、葉は丁度パセリの葉の縮みを伸した形でサラダ用として重要蔬菜の一つである。

エ

エンタイシング (Enticing) 心をそよるやうな。【例】エンタイシングなジャズの音。

エンタイス (Entice) 誘ふ。唆かす。誘惑する。【例】社からの歸途Kの奴にエンタイスされて一杯飲みに行つたのさ。

エンタイスメント (Enticement) ① 誘惑性。誘惑手段。② 誘惑。誘引 【例】赤い灯青い灯にはどうもエンタイスメントを感じるネ。

エンダウ (Endow) 寄附する。【例】某富豪が國防費に百萬圓をエンダウした。

エンダウメント (Endowment) ① 基本金。補助金。寄附金。② 器量。才能。

エンタクガール (One yen-taxi-girl) 圓タクの女運轉手又は女助手のこと。又臨時女助手。つまりマネキン代りになる客引女を雇ふのである、タクシー戦線混乱時代には少々のサービス料を支拂つてもこの美くしい臨時マネキン助手の魅力で一回でも多く客を乗せた方がまじだ云ふ見地から生れた新戦術なんだそうだが、ステッキガール同様實在性は甚だ乏しい。又自動車中で同乗の男にキッスを賣つたり猥褻行爲をするいかゞはしい職業婦人に奉られた言葉であるとも云ふ。

エンラーヂ (Enlarge) ① 擴大する。擴張する。増補する。② 詳述する。誇張する。

エンラーヂド・フォトグラフ (Enlarged photograph) エンラーヂ・ピクチュアに同じ。

エンラーヂド・エディション (Enlarged edition) 増補版。

エンラーヂメント (Enlargement) ① 擴大。擴張。② 引伸(寫眞の)。③ 敷衍。詳説。

④ 釋放。放免。⑤ 展開。寛濶。⑥ 擴大寫眞(次項に同じ)。

エンラーヂ・ピクチュア (Enlarge picture) 引伸寫眞。擴大寫眞。

エンラーヂング (Enlarging) 擴大法。引伸し法。或る感光面に陰畫或は陽畫の大なる畫像を得る方法を云ふ。

エンラーヂング・イースル (Enlarging easel) 擴大映畫盤(寫眞用語)。

エンラーヂング・カメラ (Enlarging camera) 引伸し暗箱。

エンライトン (Enlighten) 啓蒙する。教化する。啓發する。【例】民衆をエンライトンするところが多かつた。

エンライトンメント (Enlightenment) 教化。開明。文化。啓蒙。

エン

エン

エンラプチュア (Enrapture) 狂喜せしめる。恍惚たらしめる。【例】宮川嬢の美聲は聽

衆をエンラプチュアするに十分だ。

エンヴェロープ (Envelope) エンヴェロープを見よ。

エンラージング (Enlarging) 擴大法。引伸し法。或る感光面に陰畫或は陽畫の大なる畫像を得る方法を云ふ。

エンラージング・イーズル (Enlarging easel) 擴大映畫盤 (寫真用語)。

エンラージング・カメラ (Enlarging camera) 引伸し暗箱。

エンライトン (Enlighten) 啓蒙する。教化する。啓發する。【例】民衆をエンライトンするところが多かつた。

エンライトンメント (Enlightenment) 教化。開明。文化。啓蒙。

エン

エン

エンラプチュア (Enrapture) 狂喜せしめる。恍惚たらしめる。【例】宮川嬢の美聲は聽衆をエンラプチュアするに十分だ。

エンヴェロープ (Envelope) エンベロープを見よ。

エンクローチ (Encroach) 侵入する。横領する。エンクローチメントは同上する。

エンクロージャ (Enclosure) ① 包括。封入。封入物。② 包圍。取込むこと。③ 構内。

④ 法律用語「圍繞」。農業の資本主義的經營初期に於ける共有地の私有地への變化。

エンクローズ (Enclose) ① 包む。封入する。エンクローズド・ブリーズ・アインド・ア・チエック・フォア・ファイフチー・エン (Enclosed please find a cheque for ¥ 50.) は

小切手にて五十圓也封入致置候間御受取被下度候。

エングレーバー (Engraver) 彫刻者。彫刻師。彫工。

エングレーブ (Engrave) ① 彫る。彫刻する。② (心に) 刻む。(膽に) 銘す。【例】永久に私のハートにエングレーブして忘れません。

エングレービング (Engraving) ① 彫刻。彫刻術。② 彫刻畫。印畫。

エンゲージ (Engage) ① (座席等を) 申込み。先約する。② 約束する。婚約する。女學生間では情交の意味に用ひられてゐる。③ 従事する。

エンゲージリング (Engage-ring) 婚約指輪。石無しの蒲鉾型金指輪で婚約中は左手の中指にはめ、結婚後は薬指にはめかへる。エンゲージメント・リングとも云ふ。

エンゲージメント (Engagement) ① 事務。業務。② 婚約。東。契約。

エンゲルス (Friedrich Engels) ドイツの科學的社會主義建設者フリードリッヒ・エンゲルス (西紀一八二〇年生。一八九五年歿)。金持の製造家の息として生れたが一八四四年パリにてマルクスと識り共に科學的社會主義建設に努力し、共產主義者同盟に加へてマルクスと共に「共產黨宣言」を起草した。マルクスの「資本論」第二卷及び第三卷はエンゲルスが編輯したもので死ぬ迄マルクスの最もよき協働者であつた、著書に「一八八四年に於る英國勞働階級の状態」、「空想から科學に至る社會主義の發展」、「家族私有財産及國家の起源」やマルクスとの共著「神聖家族」等が著名である(マルクス参照)。

エ

エンゲルス・ガール (Engels girl) 社會科學研究と云へば聞えがよいが、共產主義を生嚙りした女に對して嘲笑的に與へた名稱である。マルクス・ボーイに對する語。

エンプロイ (Employ) ① 雇ふ。使ふ。ザ・エンプロイドは被傭者。② 仕事。事務。

エンプロイー (Employee) 雇人。使用人。従業員。店員。勤人。

エンプロイダリー (Embroidery) ① 縫箔。刺繡。② 修飾。潤飾。

エンプロイヤー (Employer) 雇主。使用主。店主。

エンプロイメント (Employment) ① 雇用。使用。② 職。仕事。勤務。

エンプロイメント・オフィス (Employment office) 職業紹介所。

エンプチー (Empty) ① 空虚な。空の。空手の。② 空腹の。③ 空にする。

エンブレース (Embrace) ① 抱きつく。包む。② キッス (接吻)。抱擁。

エンブレム (Emblem) ① 象徴。【例】櫻花は我が國民性のエンブレムだ。② 典型。

エンプレス (Empress) 皇后。女帝。ハー・マヂェスチー・ジ・エンプレス (Her Majesty the Empress) は皇后陛下。尙船名に多く用ひられて、エンプレス・オブ・エシヤ號

やエンプレス・オブ・ジャパン號等の如く云はれてゐる。

エンファチック (Emphatic) ① 強調的。力の入つた。【例】演説中エンファチックな文句

を屢々用ひた。② 熱心なる。

エンファサイズ (Emphasise) 語勢を強める。強調する。力語る。

エンファシス (Emphasis) ① 目立たせること (寫眞、繪を)。② 強調。強勢。

エンコーミウム (Encomium) 讚美。讚辭。頌詞。尙エンコーミアストは讚美者。

エン・エクスチェンジ (Yen exchange) 圓爲替相場。外國が日本に對して支拂ひをなす

爲めに組む爲替。尙米國に對してはドル爲替、英國に對してはポンド爲替である。

エンディボア (Endeavour) ① 努力。奮勵。② 努める。奮勵する。

エンディボアリング・ソサイエティー (Endavouring society) 共勵會。米國に本部がある

恰も青年會の如き團體。

エンディアリング (Endearing) ① 可愛らしい。愛嬌ある。【例】彼の少女はさてもエン

ディアリングな顔をしてゐるネ。② 可愛がる。

エン

エン

エンディアメント (Endearment) 愛すること。寵愛。愛情。愛嬌。

エンテリック (Enteric) ① 腸の。② 腸チブス。エンテリック・フィーバーとも云ふ。

エンデュー (Endure) 耐ふる。辛抱する。持久する。繼續する。【例】如可なる困難にも

エン・エクスチェンジ (Ven exchange) 圓爲替相場。外國が日本に對して支拂ひをなす爲めに組む爲替。尙米國に對してはドル爲替、英國に對してはポンド爲替である。
エンデイボア (Endeavour) ① 努力。奮勵。② 努める。奮勵する。
エンデイボアリング・ソサイエティー (Endavouring society) 共勵會。米國に本部がある
恰も青年會の如き團體。

エンデイアリング (Endearing) ① 可愛らしい。愛嬌ある。【例】彼の少女はさてもエンデイアリングな顔をしてゐるネ。② 可愛がる。

エン

エン

エンディアメント (Endearment) 愛すること。寵愛。愛情。愛嬌。

エンテリック (Enteric) ① 腸の。② 腸チブス。エンテリック・フィーバーとも云ふ。

エンデュア (Endure) 耐へる。辛抱する。持久する。繼續する。【例】如何なる困難にも

エンデュアせれば成功は覺つかない。

エンデュランス (Endurance) ① 忍耐。持久力。耐久性。もち。【例】この品はエンデュ

ランスがさてもよい。② 繼續。持續時間。

エンデュランス・フライト (Endurance flight) 滯空飛行。世界的滯空時間記録(一

九三一年)八十四時間三十二分空中給油せる滯空記録は六百四十七時間餘である。

エンデミック (Endemic) ① 地方的の。② 風土病。エンデミック・ディーズとも云ふ。

エンアクトメント (Enactment) ① 制法。法令。② 施行。③ 演劇で役を演ずること。

エンサイクロペヂア (Encyclopedia) 百科全書。百科大辭典。百般の事象に就いて分類

収録した知識の寶庫とも云ふべき書。百科全書は頗る膨大なもので分冊になつてゐる

のを普通とするが、これを活用にするため單冊とした簡約萬有百科全書 (Concise

Universal Encyclopedia) 云つたものも出版されてゐる。

エンサイクロペヂスト (Encyclopedist) ① 百科全書派。十八世紀にフランスで出版さ

れた百科全書に執筆した學者のこと。その執筆者は貴族僧侶の專横を痛論し、自由思

想を鼓舞する傾向があつたので世間より注目された。② 百科全書編纂者。轉じて世

上百般の事に明るい人の意もある。

エンキャッシュ (Encash) 現金で受取り又支拂ふ。【例】當店では金銭の多少に拘らずエ

ンキャッシュすることにして居ります。

エンキャッシュメント (Encashment) 現金受取又は支拂。現金受取高。

エンジョイ (Enjoy) もちもち「享樂する」、「楽しむ」、「……で面白い目をする」等の意

であつて「青春をエンジョイする」とか「人生をエンジョイする」と云へば面白い目

をして樂しく暮らすことを云ふ。所が「彼女とエンジョイした」等さうつかり友人に

でも口をすべらさうものならキット何か奢らされる。

エンジョイメント (Enjoyment) 愉快。享樂。快樂。【例】人世最大のエンジョイメント

エ

は大政治家となつて世界の檜舞臺に立つことだ。

エンシネット (Easnette) 倫敦のホートン會社發賣の巻軸フィルム用小型寫眞器であるが之を改良せるスターレットが現はれて以來我邦では全くその販路を失ふに至つた。

エンシエント (Ancient) 昔の。古代の。古風の。エンシエント・タイムは古代。

エンシユージアスト (Enthusiast) 熱心家。熱狂者。狂的愛好家。【例】昨今はラグビーのエンシユージアストが多くなつた。

エンシユージアスチック (Enthusiastic) 熱心な。熱狂的。【例】ダンスと云へば時間を忘れて了ふ程エンシユージアスチックなんだ。

エンシユージアスチック・アプロバル (Enthusiastic approval) 熱狂的賛成。

エンシユージアズム (Enthusiasm) ①熱狂。熱心。②熱中するところのもの。【例】スポーツは彼のエンシユージアズムなんだ。

エンビー (Envy) ①羨み。嫉妬。②羨望的。③嫉む。羨む。【例】あんな仲のよい所を見せられては實際エンビーしないでは居られぬ。

エンピリオモニズム (Empirionism) 經驗一元論。唯物唯心論を折衷せる主義。

エンピリシズム (Empiricism) 經驗說。認識の起源に關する學說で主理說殊に先天論と對立してゐる、眞理は感官及び知覺より來る直接の經驗によりてのみ得らるべきものと説く。創唱者は英國のベーコンで心理學及一般哲學に應用せられてゐる。

エンゼリック (Engelie) 天使のやうな。美しい。【例】彼女はエンゼリックな少女だ。

エンゼル (Engel) ①天使。使者。②天使のやうに美しい人。③守護神。

エンゼル・オブ・デス (Engel of death) 死の使者。死神よりの使。

エン

テ——デー

テ

- テ (佛語 The) 茶。英語チー (Tea) 獨語ター (Tee) に當る。
テ (De) を冠せる語にして本項に無きものは「デイ」の項を見よ。
デー (Day) 日の意で社會的の催又は商店の宣傳等に用ひられる、例へば「事故なしデー」、「廉賣デー」、「鬭争デー」、「反戦デー」、「無産青年デー」等を用ひられてゐる。
デーロング (Day-long) 終日。一日中續く。尙オール・デーロングともいふ。
デート (Date) ① 日附。月日。② 時代。アップ・トゥ・デート (Up to date) は最新の。
デードリーム (Day-dream) 白中夢。夢想。空想。
デーリ (Delhi) 印度ガンヂス河上流に位し、現印度帝國の首都。
デーリー (Daily) ① 毎日の。日々の。毎日。② 日刊新聞。日報。
デーリー・インタレスト (Daily interest) 日歩。元金百圓に對する一日の利子。
デーリー・ニュースペーパー (Daily newspaper) 日刊新聞。單にデーリーともいふ。
デーリー・ブック (Daily book) 日記帳。ダイアリー (Diary) とも云ふ。
デーリー・メール (Daily Mail) 倫敦で發行せる有名な新聞名。
テール (Tale) ① 物語。話。② 噂。嘘。惡口。③ 總計。
テール (Tail) ① 尾。尻。② 結尾。③ 燕尾服 (テールコート)。
テール (Tael) 兩。支那の貨幣單位にして我が一圓餘に相當す。
テールライト (Tale-light) 自動車や電車の尾灯。尙前燈はヘッドライトである。
テールコート (Tail-coat) 燕尾服。單にテールともいふ。
データ (Data) 材料。論據。與へられた條件。データムの複數。
データー (Dater) 日附押捺器。
データー・テート (佛語 Tete a tate) ① 差向ひで。二人だけで。對談。密談。情話。② 轉じて密會、又は二人用の長椅子。
データム (Datum) ① 論據。資料。既知事項。② 既知數。尙データを見よ。
データムライン (Datum-line) ① 基準線。② 最底賃金標準線 (データ参照)。

テ

デーレーバラー (Day-labourer) 日傭取。日稼人。其日稼ぎの労働者。

デーナーサリー (Day-nursery) 託兒所。晝間働きに出る人々の爲にその子女を預る所。

テーラー (Tailor) 洋服屋。仕立屋。

テーラー・システム (Taylor system) 科學的工場管理法。米國人テーラー氏が唱道したる工場管理法で現在の能率増進法等は多く此れより出たものである。

デーライト (Daylight) ① 日光。② 晝間。白晝。③ 公然。

デーライト・ムービー (Daylight movie) 耐光映畫。普通の映畫は暗黒又は薄闇にして映寫するが、此の耐光映畫は明るい場所にも映寫し得る。

デーライト・セービング (Daylight saving) 日光節約。夏季に於て長い晝間を最大限度に利用して能率を増進する爲朝の始業時間を早くする事(サンマータイム参照)。

テムス (Thames R.) 倫敦市を貫流して北海に注ぐ有名な河。この河には有名な倫敦橋が架せられてゐる、流程三二二軒餘。

テークオフ (Take-off) ① 取り去る。脱ぐ(着物、帽子等を)。② 連れて行く。

テークケア (Take-care) 注意! 氣をつけるの意。

テークアップ (Take-up) 映寫したフィルムを直ちに捲き取る装置。

テーク・ユア・タイム (Take your time) 「あせらずに落ちついてやれ」の意。

テイクス (Takes) 原稿早組み。新聞で締切まぎわに大事件が出来た時などに大急ぎで組み上げるために一枚の原稿紙を幾つにも切り多數がかりで組むこと。

テーマ (獨語 Thema) 主題。音樂用語で主旋律の意、即ち樂曲に於て全曲を通じて流れる主要な旋律の事である、小説に於ても同じ事で全篇を一貫して流れる思想であつて、小説を作るには先づ此のテーマを決定せねばならない。又映畫にてはテーマソングといふものがある(次項参照)。

テーマソング (Thema-song) 主題歌。此れは映畫にて全篇を通じて流れるテーマを唄つたものでトッキー映畫中に唄はれる、「リオ・リタ」の「リオ・リタの唄」「いつも貴方は私の胸に」や「ラブ・バレード」に於ける「夢に見る愛人」等の如きものである又日本にては所謂小唄映畫と云ふものが流行して居るが、此れは流行唄の内容を其儘

デー——テ

デー

映畫に表はしたと云ふに過ぎず、此の唄は正しい意味のテーマソングとは云ひ難い。

テープ (Tape) 眞田紐。細巻糊付布又は紙。其他決勝線上に張る紐や船の出帆する時

埠頭と船との間に投げ交はして別れを惜しむ細長い紙片もテープである。

れる主要な旋律の事である、小説に於ても同じ事で全篇を一貫して流れる思想であつて、小説を作るには先づ此のテーマを決定せねばならない。又映畫にてはテーマソングといふものがある(次項参照)。

テーマソング (Thema-song) 主題歌。此れは映畫にて全篇を通じて流れるテーマを唄つたものでトッキー映畫中に唄はれる、「リオ・リタ」の「リオ・リタの唄」「いつも貴方は私の胸に」や「ラブ・パレード」に於ける「夢に見る愛人」等の如きものである。又日本にては所謂小唄映畫と云ふものが流行して居るが、此れは流行唄の内容を其儘

デー——テー

テー

映畫に表はしたと云ふに過ぎず、此の唄は正しい意味のテーマソングとは云ひ難い。

テープ (Tape) 眞田組。細巻糊付布又は紙。其他決勝線上に張る紐や船の出帆する時

埠頭と船との間に投げ交はして別れを惜しむ細長い紙片もテープである。

テーブル (Table) ① 卓。食卓。書字臺。遊戲臺。② 馳走。③ 目錄。一覽表。

テーブルボード (Table-board) ① 卓子。② 宿泊せずして食事だけを取る事。

テーブルトーク (Table-talk) 座談。茶話。書籍の表題等にも用ひらる。

テーブルカバー (Table-cover) テーブル掛け。テーブルを被ふ白い布。

テーブルウォーター (Table-water) 食卓に用ひるアルコール分のない飲料。

テーブルクロス (Table-cloth) テーブル掛け。テーブルにかける種々の布地の總稱。

テーブルクロック (Table-clock) 置時計。机の上等に置く時計。

テーブルフラップ (Table-flap) テーブルの端の部分で平常は垂らして置き使用する場合にはテーブルの面を水平に上げ得る板の事。

テーブルゴルフ (Table-golf) 卓上ゴルフ。流行のベビーゴルフを更らに小さくしたもので指にクラブ(打球棒)付きの指輪をはめて小さい球をハジきながら闘技する。

テーブルテニス (Table-tennis) 卓球。ピンポンの事を云ふ。

テーブルセンター (Table-centre) テーブルの眞中に裝飾として置くもの。

テーブルスピーチ (Table-speech) 卓上演説。會食後又はデザートの際にする座席での一寸した演説を云ふ。正しい英語にてはアフター・ディナー・スピーチと云ふ。

テーブルーク (Day-break) 曉。黎明。デースブリングとも云ふ。

デーサイト (Day-sight) 鳥目。日が暮れると目が見えなくなる病氣。

テーキング (Taking) ① 惚々せしむる。愛嬌ある。② 収入高。③ 捕獲。取押へ。

テーキング・ストック (Taking stock) 店卸(たなおろし)。

デージー (Daisy) 雛菊。菊科中で最も小さく、陽春の頃赤、白等の八重の花を開く。

テーゼ (獨語 Thèse) ① 論題。議論。② 行動綱領。共産黨、労働組合等の運動方針書の事である。即ち大會に於て決定した綱領を基礎として更に具体的に當面の行動方針を決定したものである。例へばコミンテルンの「殖民地問題に關するテーゼ」。

テ

ディーゼルエンジン (Diesel-engine) デイセルエンジンの項を見よ。

テースト (Taste) ① 趣味。嗜好。② 味覺。③ 味ふ。④ 鑑識。

デースター (Day-star) 曉の明星。

ティ (Te, Ti) を冠せる語にして本項に無きものは「チ」の項を見よ。例へば Tee (茶)、

Tee (ゴルフの球座) 等はティが正音なるも發音に便する爲「チー」をなした。

ディー・イー (D.E.) 映畫用語ダブル・エクスボージュアの略 (同項参照)。

デイーイズム (Deism) 自然神論。有神論の一種である、二者共に神は世界を離れて存在する萬有の大元なりとなすは一致するが、この自然神論は天地創造後は世界は神より與へられた世界自身の自然法によつて活動し一々神の干渉を受けないとし今日では神を世界以上に超然たるものと説く。

ディード (Deed) ① 行爲。事業。② 勳功。功績。③ 事實。實績。

ティートータル (Teetotal) 禁酒家。尙ティートタリズムは禁酒主義、禁酒。

ディーリング (Dealing) ① 商賣。取引。② 分配。③ 處置。取扱。④ 交際。

ディール (Deal) ① 商賣す。取引す。② 取扱ふ。處理す。③ 分配す。

ティードダンス (Tea-dance) チードダンス、其他ティードを冠せる語はチー……の項を見よ。

ディーラー (Dealer) ① 商人。② 分配者。尙カルタ等では親のこと。

ディーヴァ (伊語 Diva) ① 首席歌妓。② 歌劇の首席歌手 (女)。マリマドンナに同じ。

ディープ (Deep) 深い。深遠な。濃い (ディープレッド Deep-red 真紅)。其他ディープア
レス、ディープスリップ、ディープナイト等を用ひらる。

ディープリグレット (Deep-regret) ① 非常の後悔。② 深い悲しみ。

ディープナイト (Deep-night) 真夜中。ミドルナイト (Middle-night) に同じ。

ディーブブレス (Deep-breath) 深呼吸。

ディープスリップ (Deep-sleep) 深い眠りで熟睡の意。

ディー・アンド・ディー (D and D) 「ドランク・アンド・ディスオーダーリー (Drunk and disorderly)」の略で泥酔して前後不覺に陥つてゐる状態をいふ。

ティー・ユー・シー (T.U.C.) トレーズ・ユニオン・カウンシルの略稱で英國の「労働組合會

デー——テイ

テイ——デイ

議」。英國労働組合の全国的聯合体でアムステルダム・インターナショナルに屬し、
統制及び執行機關として總評議會がある。

ティー・ビー (T.B.) ラグビー用語でスリークォーター・バックの略稱 (同項参照)。

ディープナイト (Deep-night) 眞夜中。ミドルナイト (Middle-night) に同じ。
ディープブレス (Deep-breath) 深呼吸。
ディープスリープ (Deep-sleep) 深い眠りで熟睡の意。
ディープアンド・ディー (D and D) 「ドランク・アンド・デイスオーダーリー (Drunk and disorderly)」の略で泥酔して前後不覺に陥つてゐる状態をいふ。
ディー・ユー・シー (T.U.C.) トレーズ・ユニオン・カウンスルの略稱で英國の「労働組合會

デー——テイ

テイー——ディベ

議」。英國労働組合の全国的聯合体でアムステルダム・インターナショナルに屬し、統制及び執行機關として總評議會がある。

テイー・ビー (T.B.) ラグビー用語でスリークォーター・バックの略稱 (同項参照)。

ディーモス (Demos) 民衆。庶民。平民。

ディーセンシー (Decency) ① 禮節。端正。嗜みのある事。② 體裁。

ティース (Teeth) ツース (Tooth) の複數で齒の事。尙ティースエークは齒痛。

ティースプロテクター (Teeth-protector) 拳闘の練習の際齒で唇を噛み切らないやう上齒を被ふゴム製保護器。

ディバイン (Divine) ① 神の。神聖の。非凡の。② 豫言す。占ふ。

ディバイン・ライト・セオリー・オブ・キング (Divine right theory of king) 帝王神權説。

一國統治の主權は單に被治者の同意によつて成立するものでなく唯神意によるものとし、従つて王者は人民に對して絶對權を有し獨り神に對してのみ義務ありとする。ディバイン・コメデー (Divine Comedy) 「神曲」。伊太利詩人ダンテの傑作で「天國篇」、「地獄篇」、「煉獄篇」の三篇よりなり中世の基督教思想を表現したものである。

ディバン (Diyān) ① 會議室。議事堂。② 喫煙室。喫茶室。③ 詩集。歌集。

ディボース (Divorce) ① 離婚。離縁。去狀。② 絶交。

ディボース・インダストリー (Divorce industry) アメリカの新語で「離婚産業」と譯す。

一九二七年ネヴァダ州法が改正され、レノ市に三ヶ月居住すれば簡単に離婚し得る様になつて山中の一寒村が一躍離婚者の黄金境となり、ナイトクラブ、賭博場、バー、映畫館等々……そして酒と女、アメリカ有數の歡樂境となりすまして了つた。所が一九三一年五月更に州法を改正し六週間の居住にて離婚訴訟を起す事が出来る様になつたのでレノ市の繁榮振りは凄じく世界中赤字流行りの今日、此處許りは例外でレノ裁判所の取扱離婚數は一年平均二千二百件、新聞は又日々その離婚數を發表する云つた有様。レノ市繁榮の原因は離婚故に此れを稱して離婚産業と云ふのである。

ティペット (Tippet) 肩掛。頸卷。但し毛皮又は毛織の長いものをいふ。

ディベンチュア (Deventure) ① 社債券。ディベンチュア・ストックは社債。② 戻税證明。

テ

- デイリバー (Deliver) ① 引渡す。交附す。② 陳べる。演述す。
 デイリバリー (Delivery) ① 救助。② 發送。配達。③ 陳述。④ 分娩。
 デイリバラ (Deliverer) ① 救助者。② 交附者。發送係。配達人。③ 陳述者。
 デイリヂブル (Dirigible) ① 飛行船。② 游動氣球 (デイリヂブル・バルーン)。
 デイリゼント (Diligent) 勤勉なる。精勵なる。【例】彼は實にデイリゼントな男だ。
 デイリゼンス (Diligence) ① 勤勉。精勵。努力。② 入念。③ 差押 (法律用語)。
 テイルチング (Tilting) 俯瞰撮影。映畫撮影の際カメラを下向きにして撮影すること。
 デイカピテーション (Decapitation) ① 斬首。斷頭。② 解雇。首切り。
 デイカスロン (Decathlon) 十種競技。即ち槍投、圓盤投、棒高跳、走高跳、走巾跳、砲丸投、百米、四百米、千五百米、ハイハードルの十種を云ふ (但し種目は多少變る)。
 デイタッチド・パレス (Detached palace) 離宮。
 デイタッチド・ルーム (Detached room) ① 隔離室。② 離れ座敷。
 デイタッチド・フォース (Detached force) 別動隊。
 デイタッチド・ビュー (Detached view) 公平なる意見。偏見に捉はれない意見。
 デイレー (Delay) ① 延引。遅延。猶豫。② 遅延する。延引する。
 デイレードスチール (Delayed steel) 野球の遲滯盜壘、即ち捕手が躊躇して居る間を利用して盜壘する事を云ふ。
 デイレタタンテ (伊語 Dilettante) 美術、文藝、音樂の愛好家。アマチュアが素人ではあるが自分でも相當出来る者を云ふに反し、此れは自分は出来ないが兎に角好きと云つたものや「下手の横好き」の如きものを云ふ。
 デイレタタンテイズム (Dilettantism) ① 文藝 (又は其他の藝術) 道樂。道樂的な藝術愛好をいふ。② 享樂主義。(デレタタンチズム参照)。
 デイレクトリー (Directory) ① 商工名鑑。② 人名録。③ 一定地域居住者の明細書。
 デイレクトレス (Directress) ① 女監督。管理婦。② 女取締役。
 デイレクター (Director) ① 重役。支配人。取締役。② 指揮者。③ 映畫の撮影監督。
 デイレクター・システム (Director system) スター・システムに對する語で、映畫撮影の

デイリ —— デイレ

デイレ —— テイラ

際監督を中心として全てを統制せしめ監督の手腕を自由に發揮せしめる方法である
 デイレクション (Direction) ① 方面。② 指揮。指導。命令。③ 宛名。④ 監督。
 デイソリューション (Dissolution) ① 分解。分離。② 溶解。③ 解散。解消。崩壊。

たものや「下手の横好き」の如きものを云ふ。

ディレクタントイズム (Dilettantism) ① 文藝 (又は其他の藝術) 道楽。道樂的な藝術愛好をいふ。② 享樂主義。(ディレクタントイズム参照)。

ディレクトリー (Directory) ① 商工名鑑。② 人名録。③ 一定地域居住者の明細書。

ディレクトレス (Directress) ① 女監督。管理婦。② 女取締役。

ディレクター (Director) ① 重役。支配人。取締役。② 指揮者。③ 映畫の撮影監督。

ディレクター・システム (Director system) スター・システムに對する語で、映畫撮影の

デイリ——ディレ

ディレ——テイラ

際監督を中心として全てを統制せしめ監督の手腕を自由に發揮せしめる方法である
ディレクション (Direction) ① 方面。② 指揮。指導。命令。③ 宛名。④ 監督。

ディソリュション (Dissolution) ① 分解。分離。② 溶解。③ 解散。解消。崩壊。

ディゾルブ (Dissolve) ① 解散する (議會等を)。溶解する。② 映畫にては畫面が漸次
不明瞭になり次の畫面に移つて行くこと。

ディゾルビング・ビューズ (Dissolving views) 溶解的幻燈畫 (前項参照)。

ティッペラリー (Tipperary) 英國アイルランドの軍人。又其の愛唱する有名な軍歌。

ティック・タック (Tick tack) ① カチカチ (時計の音)。② ドキドキ (心臓の動悸)。

ディッケン (Joseph Diezgen) 獨逸の唯物論哲學者 (西紀一八二八年生。一八八八年歿)
もさは皮革工であつたが獨學で哲學を修め辯證法的唯物論に達した。マルクスは彼を
非常に激賞してヘーゲの労働會議では「我等の哲學者」として紹介した。著書には「
労働者の見たる人間頭腦の働き」其他。

ディッケンズ (Charles Dickens) 十九世紀に於ける英國文豪 (西紀一八一二年生。一八七
〇年歿)。其作品は輕快にして諧謔に富み、又好んで貧民窟の描寫をなした。「クリス
マス・カロール」、「二都物語」等の作品あり。

ディッシュ (Dish) ① 皿。皿形。② 皿に盛つた料理、尙ディッシュ・オブ・ゴシップは茶話。

ディッシュガーデン (Dish-garden) 箱庭。盆景。

ディネー・ダンサーン (佛語 Diner dansant) 晚餐の後に行ふ舞踏。尙ディネーは英語の
ディナーに當る。

ディナー (Dinner) 晝又は夕の正食。即ち一日の中最も主要な食事を云ふ。普通はブレ
ークファスト (朝食)、ランチ (晝食)、ディナー (晚餐) であるが、晝を正餐とすれ
ば晚餐はサバーと云ひ軽い食事をする。

ディナーパーティー (Dinner-party) 晚餐會。午餐會。

ディナージャケット (Dinner-jacket) 背廣禮服。食堂用禮服。タキシードと同じ。

デイライラ (Delilah) 妖婦。男を操る女。娼婦。

テイラニー (Tyranny) ① 壓政。壓制政治。② 暴虐。暴壓。

テ

テイノロジー (Teinology) 勿論和製英語でサイノロジーの反対、即ち亭主に鈍い女。

ディグニチー (Dignity) ① 威厳。品格。② 高位。顯職。高貴。③ 貴重。

ディグニタリー (Dignitary) 貴顯。高位高官の人。高僧。

ディクトグラフ (Dictograph) ① 室内電話の一種で交換手なしに直接各室と送話し得るもの。② 筆記用高聲電話機。

ディクタツール (獨語 Diktatur) 獨裁。ディクテーターシップに同じ (同項参照)。

ディクタフォン (Dictaphone) 速記用蓄音機。大會社の社長等が用件をレコードに吹込んで置き書記に速記させたりするに用ひられる。

ディクテート (Dictate) ① 口授す。書き取らす。② 指令す。命令す。③ 命令。教示。

ディクテーター (Dictator) ① 獨裁執政者。命令者。② 口授者。

ディクテーターシップ (Dictatorship) 獨裁政治。或る階級が國家權力を掌握し、高壓的に他の階級を壓迫支配する政治形態である。古代ローマの執政官の獨裁政治、現在には伊太利のファシストの獨裁(ブルジョアチー獨裁の一形態)、ソウエート・ロシアに於けるプロレタリアートの獨裁政治がある。

ディクテーターシップ・オブ・ザ・プロレタリアート (Dictatorship of the proletariat) プロレタリア獨裁。プロレタリア階級が革命に依つて支配權力を掌握し、ソウエート政府を樹立し社會主義的建設をなす事で、資本主義社會と共產社會の過渡的政治形態である。現在ではソウエート・ロシアが此過程にある(ソウエート参照)。

ディクテーション (Dictation) ① 口授。書取。② 命令。指令。

ディクシヨナリー (Dictionary) 字引。辭典。

ダイヤブロタン (佛語 Diablotin) ① 腕白子僧。餓鬼。② 小惡魔。干鬼。

ダイヤブレース (佛語 Diabresse) ① 妖婦。毒婦。② 疝高い女。③ 魔女。

ディマンシュ (佛語 Dimanche) 日曜日。英語ではサンデー、尙パンツル・ディマンシュ、(Peintre dimanche)は日曜畫家の意で色々の職業に従事するアマチュア畫家が日曜日に會合して繪筆を取るものである。

チケット (Ticket) ① 切符。入場券。乗車、乗船券からダンスの回数券迄皆チケット

テイ——テイケ

テイケ——タイプ

である。② 投票紙。候補者名簿。普通チケット、又はテケツと訛つて用ひらる。

チケットパンチ (Ticket-punch) 切符切り鋏(電車やバスの車掌の持つて居るもの)。

チケットオフィス (Ticket-office) ① 劇場、停車場等の切符賣場。② 入札所。

チケットクラーク (Ticket-clerk) 切符販賣係。

デイクシヨナリー (Dictionary) 字引。辭典。

ダイヤプロタン (佛語 Diablotin) ① 腕白子僧。餓鬼。② 小惡魔。干鬼。

ダイヤブレース (佛語 Diabresse) ① 妖婦。毒婦。② 疳高い女。③ 魔女。

デイマンシェ (佛語 Dimanche) 日曜日。英語ではサンデー、尙パンツル・デイマンシェ、(Peintre dimanche)は日曜畫家の意で色々の職業に従事するアマチュア畫家が日曜日に會合して繪筆を取るものである。

チケット (Ticket) ① 切符。入場券。乗車、乗船券からダンスの回数券迄皆チケット

テイ——チケット

テイケ——タイプ

である。② 投票紙。候補者名簿。普通チケット、又はテケツミ訛つて用ひらる。

チケットパンチ (Ticket-punch) 切符切り鋏(電車やバスの車掌の持つて居るもの)。

チケットオフィス (Ticket-office) ① 劇場、停車場等の切符賣場。② 入札所。

チケットクラーク (Ticket-clerk) 切符販賣係。

チケットテーカー (Ticket-taker) 收札係。電車、汽車、劇場等で切符を集める人。

ディフィカルト (Difficult) 困難なる。六ヶしい。【例】これはディフィカルトな問題だ。

ディフィカルチー (Difficulty) ① 難事。難件。② 困難。支障。③ 財政の窮迫。

ティフィン (Tiffin) 軽い食事の事(中食、辨當)。

ディプロマ (Diploma) ① 卒業證書。免狀。② 賞狀。③ 公文書。

ディプロマチスト (Diplomatist) ① 外交官。② 外交家。手腕家。

ディプロマシー (Diplomacy) ① 外交。② 外交手腕。外交術。懸引。

ディプロマチック (Diplomatic) ① 外交上の。② 外交的手腕ある。尙ディプロマチック、

サービスは大公使館附吏員。③ ディプロマチストに同じ。

ディプロマチック・コース (Diplomatic corps) 外交團。

ディプロマット (Diplomat) 外交官。ディプロマチストに同じ。

ディプリシエート (Depreciate) ① 下落す。減價す。② 輕蔑す。惡口す。けなす。

ディプリシエーション (Depreciation) ① 下落。價值低減。減價。② 輕蔑。惡口。

ディプソマニア (Dipsomania) 飲酒狂。アルコール狂。ディプソメニアともいふ。

ディフェクション (Defection) ① 脱黨。脱會。② 變節。背信。③ 失敗。失錯。

ディファード・フィックスing (Deferred fixing) 定着の延期(寫真用語)。

ディファレンシャル・カルキュラス (Differential calculus) 微分學(高等數學)。

ディファレンス (Difference) ① 差異。差額。② 特點。特異性。③ 不和。

ディフューザー (Diffuser) ① 弘布者。② 撒布器。③ 散光機。

ディフュージョン (Diffusion) 普及。蔓延。傳播。

ディフューズド・ライト (Diffused light) 放散光線。

ディブズ (Dibs) ① お手玉(子供の遊び道具)。② トーキョー語にては金又は給料。

ディテール (Detail) ① 明細。委細。詳報。② 詳述する。
 ディテールド・ルール (Detailed rule) 細則。【例】ディテールド・ルールは次の如し。
 ディテールド・レポート (Detailed report) 詳報。詳細な報道。
 ディテクチブ (Detective) 探偵。刑事巡查。尚プリベート・ディテクチブは秘密探偵。
 ディテクチブ・カメラ (Detective camera) 探偵寫真器の意、歐洲にて始めて製造せられたる手提寫真器。

ディテクチブ・ストーリー (Detective story) 探偵小説。探偵又は科學者が或犯罪事件を其の機智をもつて又は科學的に解剖綜合して解決することを主題とせる小説である、エドガー・アラン・ポー (米)、モーリス・ルブラン (佛)、コナン・ドイル (英) 等は最も有名な探偵小説家である。

ディテクター (Detector) 検波器。高周波電波を低周波電波に直す器具で、真空管検波器及び鑽石検波器の二種がある。

ディテクション (Detection) ① 露見。看破。發覺。② 發見。

ディテンション (Detention) ① 拘留。② 禁錮。監禁。尚ハウス・オブ・ディテンション (House of detention) は留置所、未決監の意。

ティア (Tear) ① 涙。② 悲哀。尚ティアレス (Tearless) は「無情の」の意。

ディア (Dear) ① 親愛なる。尚ディア・サー (Dear sir) は足下、手紙の最初に書く語、拜啓と云つた様なものである。② 愛人。③ 高價の。

ディアレクチック (獨語 Dialektik) 辯證法。此れは辯證法的哲學の事でヘーゲル (獨逸の哲學者) に至つて系統付けられたものである。彼は「實在は觀念の反映」であるから「實在世界の發展は觀念の發展に依る」ものとなした。即ち「一の思想は他の思想を否定して成立し、此の二の對立せる思想はより高級なる新たな思想に統一され (即ち矛盾の解決) より高き段階に進み、其れに隨つて實在世界は發展する」をなしたがマルクスは此の觀念的辯證法を顛倒して唯物辯證法の全体系を完成したのである。即ち「觀念世界なるものは實在世界の人間頭腦への單なる反映に過ぎず、世界の發展は物質の自己運動に依る」「或特定社會に於て生産力が或點以上に發展を遂ぐれば其社

ディテ — — — ティア

ティア — — — ティエ

會の生産諸關係は生産力の發展に對する桎梏と轉化する。此の二の對立物は其自身の中より成長して來た新たな生産諸關係に統一され、即ち矛盾は解決され社會はより

ディアレクチック (獨語 *Dialektik*) 辯證法。此れは辯證法的哲學の事である。ヘーゲル (獨逸の哲學者) に至つて系統付けられたものである。彼は「實在は觀念の反映」であるから「實在世界の發展は觀念の發展に依る」ものとなした。即ち「一の思想は他の思想を否定して成立し、此の二の對立せる思想はより高級なる新たな思想に統一され (即ち矛盾の解決) より高き段階に進み、其れに隨つて實在世界は發展する」ものとなしたがマルクスは此の觀念的辯證法を顛倒して唯物辯證法の全体系を完成したのである。即ち「觀念世界なるものは實在世界の人間頭腦への單なる反映に過ぎず、世界の發展は物質の自己運動に依る」或特定社會に於て生産力が或點以上に發展を遂ぐれば其社

ダイテ——ダイア

ティア——ティエ

會の生産諸關係は生産力の發展に對する桎梏と轉化する。此の二の對立物は其自身の中より成長して來た新たな生産諸關係に統一され、即ち矛盾は解決され社會はより高き段階に發展する」。斯かる哲學的思考の方法を唯物辯證法と云ふのである。

ティアフル (Tearful) ① 涙脆い。涙ぐめる。② 悲しき。ティアフル・ヴォイスは泣聲。

ディアグラム (Diaphragm) 振動膜。蓄音機のサウンドボックスについてある振動する膜でデュラルミンにて作られる。

ディアテルミー (獨語 *Diathermie*) ① 電氣透熱器。② 同上に依る治療法。高壓の電流でも其の振動數が一秒時間に百萬以上なる時は人体に害はない故、此の理を應用して局部を電流により温めて治療する方法。

ティアシェル (Tear-shell) 催涙彈。催涙性瓦斯 (臭化ベンゼン、塩化アセトフェノン等) を含む彈丸で敵の目や鼻を侵して涙を出さしめ其の戦闘力を減退せしむる武器である。ティアボムとも云ふ (ラクリマトリー・ピストル参照)。

ディサーム (Disarm) ① 武装を解除す。② 軍備を縮少す。

ディサーマメント (Disarmament) ① 武装解除。② 軍備縮少。尙ディサーマメント・コンファレンスは軍縮會議。ディサーマメントとも云ふ。

ディサーテーシオン (Dissertation) ① 學位論文。② 論說。論文。

ディサポイント (Disappoint) 失望させる。落膽せしむ。ディサポイントメントは失望。

ディサポイントッド・ラブ (Disappointed love) 失戀。

ディサドバンテヂ (Disadvantage) ① 不利の境遇。② 不利。不便。③ 損害。損失。

ディサプロバル (Disapproval) ① 不賛成。不承知。非難。② 不認可。非認。

ディサフエクシオン (Disaffection) ① 不平。不満。不服。② 不和。離反。③ 不氣嫌。

ディサファーム (Disaffirm) ① 否認す。廢棄す。② 反駁す。反對す。

ディサピアランス (Disappearance) 消失。失踪。行方不明。尙ディサピアアは失踪す。

ディサビリティ (Disability) ① 無力。無能。不能。② 無資格。

ディザスター (Disaster) 慘事。慘害。災厄。不幸。悲惨な出來事。

ティユール (佛語 *Tilleul*) 菩提樹。同上の花。

テ

デイミニッシュ (Diminish) ① 減少す。減す。小さくす。② 音楽にては半音減する事。
 デイミニユエンドー (伊語 Diminuendo) 音楽記號で「漸次弱く」(略號は dim 又は \vee)。
 デイジーズ (Disease) ① 病氣。② 不快。不安。③ 弊害。
 デイシプリナリ・パニッシュメント (Disciplinary punishment) 懲戒處分。
 デイジエスチオン (Digestion) ① 消化。消化力。② 熟考。
 デイシンフェクター (Disinfectant) ① 消毒者。② 消毒器具。殺菌劑。
 デイシンフェクション (Disinfection) 消毒。殺菌。尙デイシンフェクトは消毒するの意。
 テイピカル (Typical) 典型的。テイピカル・モダン・セントルマンは典型的モダン紳士。
 デイビデンド (Dividend) 配當金。分配金。割戻金。
 デイビジョン (Division) ① 區分。分割。分配。② 師團。分隊。③ 選舉區。
 ディセーブル (Disable) ① 無能力にす。役は立たぬ様にす。② 無資格にす。尙デイセ
 ーブル・ソルジャーは廢兵。デイセーブルドカーは故障車。
 デイゼルエンジン (Diesel engine) 内燃式機關。船舶等に裝置されてゐる優秀な發動機
 で獨人ルドルフ・デイセルが發明せしものである。此の機關は重油を燃料とする故燃
 料費低廉にして引火する危険もなく高速度を出す事が出来る。これを機關車に用ひた
 ものはデイセル機關車である。デイセル船としては北獨逸ロイド汽船會社のブレ
 ーメン號は一九二九年七月に四日十七時間十二分にて大西洋を横斷し世界記録を破つ
 た。我國にては日本郵船の淺間、秩父、龍田、靖國等の最新優秀船は皆このデイセル・エ
 ンヂンを使用して居る。
 デイセクター (Dissector) ① 解剖者。切開者。② 吟味者。
 デイセクション (Dissection) ① 解剖。分析。解体。② 細密の調査。
 デイセンバークーション (Disembarkation) ① 上陸。② 陸揚げ。
 デイセンタリー (Dysentery) 赤痢。
 デイセシダント (Descendant) ① 子孫。後裔。② 傳來物。
 デイスイリュージョン (Disillusion) 現實曝露。幻滅。覺醒。
 デイスロケーション (Dislocation) ① 轉置。② 斷層。地況。③ 脱臼。骨違。
 デイミ —— デイス

デイス デイス

デイスパーション (Dispersion) 分散。異なる屈折性を組成せる光線を映せしめて異種の
 光線の分析を表示するに用ふる光學用語。
 デイスハーモニー (Disharmony) ① 不調和。不一致。② 不調和音。不協和音。

ンチンを使用して居る。

- ダイセクター (Dissector) ① 解剖者。切開者。② 吟味者。
ダイセクション (Dissection) ① 解剖。分析。解体。② 細密の調査。
ダイセンバークーション (Disembarkation) ① 上陸。② 陸揚げ。
ダイセンタリー (Dysentery) 赤痢。
ダイセシダント (Descendant) ① 子孫。後裔。② 傳來物。
ダイスイリュージョン (Disillusion) 現實曝露。幻滅。覺醒。
ダイスロケーション (Dislocation) ① 轉置。② 斷層。地沁。③ 脱臼。骨違。

デイミ——デイス

デイス デイス

デイスパーション (Dispersion) 分散。異なる屈折性を組成せる光線を映ぜしめて異種の光線の分析を表示するに用ふる光學用語。

- デイスハーモニー (Disharmony) ① 不調和。不一致。② 不調和音。不協和音。
デイスパース (Disperse) ① 散會さす。② 分散す。消散す。③ 傳播す。
デイスバンド (Disband) 解散す。除隊す。尙デイスバンド・ソルチャーは除隊兵。
デイスボーザル (Disposal) ① 處分。整理。② 陳列。配置。尙デイスボーザル・バイ・セール (Disposal by sale) は賣却處分。

デイスポジション (Disposition) ① 性質。性癖。素質。傾向。② 陳列。配置。

デイスペラート (伊語 Disperato) 音樂用語で「絶望の感を以て」の意。

デイスペプシア (Dyspepsia) 胃弱。消化不良。

デイスペア (Despair) ① 絶望。自暴自棄。斷念。② 絶望す。失望す。

デイスペンサリー (Dispensary) 薬局。施療院。尙デイスペンサトリーは處方箋の意。

デイスペンス (Dispense) ① 配劑す。分配す。② 宥恕す。赦免す。

デイストリクト (District) ① 地方。區。② 選舉區。尙ルーラル・デイストリクトは農村。

デイストリクト・コート (District court) 地方裁判所、其判事はデイストリクト・ジャッジ。

デイストリビューティブ・コオペレーション (Distributive cooperation) 購買組合。

デイストリビューター (Distributor) ① 分配者。分配器。② 映畫配給者。③ 配電線。

デイストリビューション (Distribution) ① 分配。配當。配達。② 配置。分布。

デイストレイント (Distrain) 強制執行。動産の差押。

デイストレス (Distress) ① 窮迫。艱難。災害。② 苦痛。苦惱。③ 差押へ。

デイスチルド・ウォーター (Distilled water) 蒸溜水。H₂O 分子量一八、曲頸壺によりて

蒸發せしめて得たる純粹の水。寫眞術に於ては各種の液を作るに用ひ特に乳劑及び蓑酸鐵現象液を作るに必要である。

デイスチレーション (Distillation) 蒸溜。尙デイスチレートは蒸溜液のこと。

デイスチャージ (Discharge) ① 解放。放免。免除。解雇。② 荷揚。③ 發射。流出。

デイスチンクション (Distinction) ① 差別。特待。② 特性。特異。③ 榮譽。卓越。

テ

デイスチンギッシュ (Distinguish) ① 見分ける。分類する。② 名を揚げしむ。有名にす
尙デイスチンギッシュド・サービスは勳功の意。

デイスオーダー (Disorder) ① 不整頓。不規律。② 病氣。不快。③ 騷擾。亂脈。

デイスオナー (Dishonour) ① 耻辱。不名譽。不評判。② 辱しめる(女子を)。③ 不渡。

デイスオナード・ビル (Dishonoured bill) 不渡手形。支拂を拒絶された手形をいふ。

デイスカード (Discard) ① 骨牌にて札を投げる事。② 棄てられた人。失戀者。

デイスガイズ (Disguise) ① 假裝。變裝。② 變裝す。扮す(役者等が)。③ 銘酊。

デイスカバー (Discover) ① 發見す。暴露す。② 發表す。公にす。

デイスカバリー (Discovery) ① 發見。探出。② 發覺。暴露。露顯。③ 發表。

デイスカレジメント (Discouragement) ① 落膽。失意。挫折。② 妨害。阻止。

デイスカッション (Discussion) ① 評議。討論。辯論。② 賞味。試食。試飲。

デイスカウント (Discount) ① 割引する。② 割引。手形割引。

デイスカウント・イシュー (Discount-issue) 割引發行。公債等を割引して發行する事。

デイスカウント・レート (Discount-rate) 割引日歩。割引率。

デイスカス (Discus) 圓盤。圓盤投競技に用ふる用具で重量は普通四封度六・四オンス。

デイスカス (Discuss) ① 議論す。評議す。商議す。② 賞味す。試食す。試飲す。

デイスカススロー (Discus-throw) 圓盤投。前回の萬國オリンピック大會(一九二八年)の

レコードは米國のハウザーが投げた四十七米三十二である。

デイスターバンス (Disturbance) ① 騷亂。動亂。② 邪魔。妨害。③ 權利侵害。

デイスターブ (Disturb) ① 妨害する。② 攪亂する。騷がす。③ 侵害する(權利を)。

デイスタント (Distant) ① 遠方の。② 遠き將來又は過去の意。③ 遠縁の。

デイスタントレース (Distant-race) 長距離競走。五千米、一萬米競走等の總稱。

デイスタント・プレース (Distant-place) 遠方。遠方の土地。

デイスタンス (Distance) ① 距離。間隔。② 遠方。③ 美術にては遠景の意。

デイスライク (Dislike) ① 嫌ふ。憎む。② 憎惡。嫌惡。厭惡。

ディスク (Disk) 圓盤。本來は蓄音機のレコードを載せて廻轉する圓盤であるが、ト

デイス

デイス——テロ

キー映畫にては撮影と同時に聲音を吹き込むレコードの圓盤をいふ。

デイスクリミネーション (Discrimination) ① 差別待遇。② 鑑識。眼識。③ 區別。

デイスクォリファイ (Disqualify) 除名す。資格を奪ふ。不能にす。失格す。反則行爲

ディスターブ (Disturb) ① 妨害する。② 攪亂する。騒がす。③ 侵害する (権利を)。
ディスタント (Distant) ① 遠方の。② 遠き將來又は過去の意。③ 遠縁の。
ディスタントレース (Distant-race) 長距離競走。五千米、一萬米競走等の總稱。
ディスタントプレース (Distant-place) 遠方。遠方の土地。
ディスタンス (Distance) ① 距離。間隔。② 遠方。③ 美術にては遠景の意。
ディズライク (Dislike) ① 嫌ふ。憎む。② 憎惡。嫌惡。厭惡。
ディスク (Disk) 圓盤。本來は蓄音機のレコードを載せて廻轉する圓盤であるが、ト

デイス

デイス — テロ

キー映畫にては撮影と同時に聲音を吹き込むレコードの圓盤をいふ。

ディスクリミネーション (Discrimination) ① 差別待遇。② 鑑識。眼識。③ 區別。

ディスクォリファイ (Disqualify) 除名す。資格を奪ふ。不能にす。失格す。反則行爲に依つて競技資格を失ひ、又は豫戦に敗れること。

ディスクグレース (Disgrace) ① 名譽失墜。恥辱。汚名。② 寵を失はしむ。失脚させる。

ディスク・システム・トーキー (Disk system talkies) 圓盤式發聲映畫。撮影と同時にレコードの圓盤に聲音を吹き込む方法で、レコードの大きさは十七吋で映畫一卷とびつたり合ふ様になつてゐる、ヴァイタフォンはこの式による。ディスク・プロセス・トーキーともいふ(フィルム・システム・トーキー参照)。

ディスプレイ (Display) ① 顯はす。陳列す。② 展開。表彰。お祭騒ぎ。

ディスプレイース (Displace) ① 免職す。淘汰す。② 置き換へる。③ 排除す。

ディスプレイースタンド (Display-stand) 陳列窓。

ディスコórdانس (Discordance) ① 不調和。不釣合。② 矛盾。

ディスコンチニユアンス (Discontinuance) ① 中止。② 廢止。斷絶。③ 訴訟撤回。

ディスコンテント (Discontent) ① 不平。不滿。② 不安。

ディスマサル (Dismissal) ① 解任。解雇。放逐。② 却下。③ 離縁。

ディスマシス (Dismiss) ① 解雇す。放逐す。② 解散せしむ。③ 却下す。④ 離縁す。

ディスピュート (Dispute) 論争。爭議。紛議。尙レーバードイスピュートは労働爭議。

ティン (Tin) 及び本語を冠せる語にして本項になきものはチンの項を見よ。

ティンパニー (Timpani) 管絃樂に用ひられる太鼓の一種でケツトルドラムとも云ふ。鍋形の金屬製半球に革を張つたもので、周圍のネジに依つて音を調節し得る。

テイント (Taint) ① 染色。② 墮落。腐敗。③ 病毒。汚點。汚名。④ 感染。

テインチング (Tainting) 映畫用語でフィルムを着色する事を云ふ。

テロ (Error) テロル、テロリズムの略(各項参照)。

テロートグラム (Telautogram) 電送電信(テレフォトグラフ参照)。

テロートグラフ (Telautograph) 電送謄寫機。主として近距離に用ひられるもの。

テ

テ

九四四

テロリスト (Terrorist) 兇暴主義者。恐怖政治家 (テロリズム参照)。

テロリズム (Terrorism) 恐怖主義。恐怖政治。例へばフランス革命、ロシア革命中の恐怖時代の如く、革命期に於て反革命派を鎮壓し革命政府の権力確立の爲、反動派を投獄殺害する事である。マルクシストは支配階級の暴壓の烈しい時代に於ては大衆の組織的テロによつて組織の防衛、擴大強化を圖るが、アナキストの如き無秩序な個人的テロは反つて組織を破壊するものとして排撃して居る。この赤色テロに對して資本家地主階級が勞農階級の 大衆的闘争を抑壓し、大衆的逮捕等をする事を白色テロと云ふ。普通テロと略して用ひらる。

テロル (Terror) 恐怖。兇暴。テラーとも云ふ (テロリズム参照)。

テロガール (Tero-girl) 姫御前のあられもない氣に入らぬことがあると直ぐ暴力行爲に出る女。ブルジョアの我儘娘は召使にとつては恐るべきテロガールである。

デパート (Depart) ① デパートメント・ストアの略。② 出發す。死去す。

デパートレイン (Depart-train) 百貨店列車。大型小荷物車を改造したもので停車場附近の名産品を仕入れ他の地方で販賣するのであるが、運賃軽減の關係から安く賣られるため地方商店は脅威を感じてゐる。

デパートガール (Depart-girl) 百貨店の女店員。美しい肢体を事務服に包んで賣場に立つ彼女達である、ショップガールとも云ふ。

デパートサリー (Depart-sally) 百貨店の大賣出し。

デパートメント (Department) ① 部門。部。局。省。② デパートメント・ストアの略。

デパートメント・オブ (Department of) ……省。デパートメント・オブ・ホーム・アフェアーズ (内務省)、フォーレン・アフェアズ (外務省)、ウォー (陸軍省)、ネービー (海軍省)、フィナンス (大藏省)、ヂャスチース (司法省)、エヂュケーション (文部省) 等々。

デパートメント・ストア (Department store) 百貨店。一つの店で種々の部局を設け百貨の商品を販賣する大資本經營の販賣店である爲百貨店は仕入に、販賣に全ゆる點に於て小賣店に優越し七階、八階の宏壯な善美を盡したビルディングを擁し比較的優良品を安價に提供してゐる、隨つて小賣業者は此れに壓迫されて漸次没落し、こゝにも資本

テロ——デパ

デパ——デポ

の集積集中、大資本の市場獨占の傾向が明瞭に表はれてゐる。

デパーチュア (Departure) ① 出發。出帆。② 背離。③ 死去。

デパートメント・オブ (Department of) ……省。デパートメント・オブ・ホーム・アフェア
フィズ (内務省)、フォーレン・アフェアズ (外務省)、ウォー (陸軍省)、ネービー (海軍
省)、フィナンス (大蔵省)、ジャスチス (司法省)、エデュケーション (文部省) 等々。
デパートメント・ストア (Department store) 百貨店。一つの店で種々の部局を設け百貨
の商品を販賣する大資本經營の販賣店である爲百貨店は仕入に、販賣に全ゆる點に於
て小賣店に優越し七階、八階の宏壯な善美を盡したビルヂングを擁し比較的優良品を
安價に提供してゐる、随つて小賣業者は此れに壓迫されて漸次没落し、こゝにも資本

テロ——デパ

デパ——デポ

の集積集中、大資本の市場獨占の傾向が明瞭に表はれてゐる。

デパーチュア (Departure) ① 出發。出帆。② 背離。③ 死去。

デバイス (Device) ① 考案。案出。工夫。② 趣向。意匠。模様。③ 機械。裝置。

デバイス (Devise) ① 遺言。遺言書。② 遺産。遺讓。③ 案出す。工夫す。

デバリュエーション (Devaluation) 平價切下。平價と云ふのは各國の本位金貨に含まれ
て居る純金の比價の事である。故にデバリュエーションは貨幣の價値を下げる事で金
解禁の方法として論ぜられた。其の主張する所は我が平價は對米四十九弗八十四仙六
であるが、相場が下落し過去數年間平價に迄恢復した事がないので此れは我が經濟界
の實力が低下したものであるから平價を切下げ實力に應ぜしめると云ふのである。

デパンシエ (佛語 Depensier) ① 金遣ひの荒い。贅澤な。② 浪費者。③ 食料購買係。

テニメント (Tenement) ① 長屋。借部屋。② 保有物。

テニメントハウス (Tenement-house) 長屋。一つの棟を幾つにも區切つて作つた家並で
ある。俗に云はれて居る八軒長屋等の如きものである。

テニス (Tennis) 庭球。テニストーナメント (Tennis-tournament) は庭球大會。

テニスプレイヤー (Tennis-player) 庭球選手。ネットマンとも云ふ。

テニスコート (Tennis-court) 庭球場。單にコートとも云ひ、グラス (芝生)、クレイ
(粘土)、コンクリート、ウッド (木)、アスファルト等種々あるが、グラス (ローン)
コートが最良とされて居る。

テニスン (Alfred Tennyson) 英國の詩人 (西紀一八〇九年生。一八九二年歿)。「藝術殿
堂」、「王女」、「モード」等の作品あり有名なヴィクトリア朝の桂冠詩人である。

デニズン (Denizen) ① 公民。市民。② 歸化者。入籍者。

デニズンシップ (Denizenship) ① 公民權。市民權。② 永住權。

デポ (Depot) ① 貯藏所。置場。② 兵器廠。補充隊。③ 本營。④ 停車場 (米國)。

デボート (Devote) 捧げる。例へば社會運動に捧げるとか神に捧げるとか云つた事。

デポートメント・ブック (Department book) 品行手帳。一名女給手帳と云ふ。風紀取締
上女給に携帯させる手帳で、之れには本人の寫眞、姓名、年齢、原籍、履歴、呼名

テ

名、警察事故の有無等を記録することになつてゐる。

- デボーチー (Devotee) ① 歸依者。献身者。② 狂信者。熱心者。③ 誓願者。
- デポーターション (Deportation) ① 追放。遠流。尙デポーターション・オーダーは退去命令。
- デボータッド (Devoted) ① 献身的。デボータッド・エフォートは献身的努力。② 忠實な。
- デボーション (Devotion) ① 信仰。② 歸依。献身。③ 熱心。熱狂。④ 祈禱。
- デボーション (佛語 Debauche) ① 放蕩。不品行。② 暴飲暴食。
- デボルドマン (佛語 Debordement) ① 洪水。氾濫。② 侵入。
- デポジット (Deposit) ① 預金。積立金。② 保證金。手附。敷金。③ 貯蓄す。供託す
- デバート (Debate) ① 討論。討議。辯論。② 議事。③ 鬭争。
- デベロパー (Developer) ① 發展者。② 現像液 (寫真用語)。
- デベロプ (Develope) ① 發達する。進展する。② 擴張する。③ 現象する。
- デベロプメント (Development) ① 發達。進展。展開。② 現像 (寫真)。
- ③ 發生。④ (音樂の) 主題展開。ヴァリエーションは單に主題を變形するのみであるが、此れは自由
由に主題を伸縮し、作曲者の意圖の儘に主題を展開させるのであつて、シンフォニー
等もこの形式を基礎として作曲するのである。

デベロピング (Developing) 現像 (寫真用語)。

テヘラン (Teheran) 波斯の首府。同國北部のエルブルス山脈の南麓にある。

デペンデント (Dependent) ① 食客。寄食者。② 從者。

デペンデンシー (Dependency) ① デペンデンスに同じ。② 屬國。屬領。③ 從屬物。

デペンデンス (Dependence) ① 依頼。信賴。② 從屬。關聯。③ 懸垂。

デトリメント (Detriment) ① 損害。損傷。② 有害物。妨害物。

デドマジュマン (佛語 Dedommagement) 損害賠償。代償。

デヂェクション (Dejection) ① 落膽。失意。② 微弱。薄弱。③ 排泄。糞便。

テリトリアル・ウォーターズ (Territorial waters) 領海。國際法の規定によつて領土と
同じく主權を行使し得る海岸線より三哩以内の海をいふ。

テリトリー (Territory) ① 領土。版圖。② 地方。地域。③ 範圍。

デボ——テリ

デリ——デカ

デリカテセン (Delicatessen) うまそうな料理。珍味品。デリカテセンストアは一品料理屋。

デリカシー (Delicacy) ① 繊細。微妙。② 敏感。感情の細かなこと。③ 柔弱。遠慮。

デリクエッセンス (Deliquescence) 潮解。高溶解性の塩類が空氣中より水分を吸収して

デペンデンス (Dependence) ① 依頼。信賴。② 從屬。關聯。③ 懸垂。
デトリメント (Detriment) ① 損害。損傷。② 有害物。妨害物。
デドマジュマン (Detour) 損害賠償。代償。
デヂェクション (Dejection) ① 落膽。失意。② 微弱。薄弱。③ 排泄。糞便。
テリトリアル・ウォーターズ (Territorial Waters) 領海。國際法の規定によつて領土と
同じく主權を行使し得る海岸線より三哩以内の海をいふ。
テリトリリー (Territory) ① 領土。版圖。② 地方。地域。③ 範圍。

デボ——テリ

デリ——デカ

デリカテセン (Delicatesse) うまそうな料理。珍味品。デリカテセンストアは一品料理屋。
デリカシー (Delicacy) ① 繊細。微妙。② 敏感。感情の細かきこと。③ 柔弱。遠慮。
デリクエッセンス (Deliquescence) 潮解。高溶解性の塩類が空氣中より水分を吸収して
自ら液化する事を潮解と云ふ。

テリヤ (Terrier) 獵犬の一種。動作の輕快な小犬で狐獵に特殊の技能を有するが最近で
は主として愛玩種として廣く飼育されてゐる。

デリケート (Delicate) ① 微妙な。美しい。云ふに云へぬ。② 慎重を要する。扱ひにく
い。【例】「これは實にデリケートな問題だ」。「デリケートな立場」。

デリケートポジション (Delicate-position) デリケートな立場。苦しい立場。
デリュージュ (Deluge) ① 大洪水。洪水。豪雨。② 大變動。

デリシヤス (Delicious) ① 美妙な。快美な。結構な。② 楽しき。面白き。
テヌート (Tenuto) 音樂用語で「よく音を保持して」即ち「其音符の長さを十分
に保つて」の意。普通 Ten. と略記する。

デヌーマン (Denouement) ① 大團圓 (演劇等の)。② 終局。解決。段落。
テルール (Terreur) ① 恐慌。恐慌時代。② 恐怖。

デルニエ・クリ (Dernier cri) 「最近の叫び」と云つた意であるがパリ流行界の慣
用句となつて「尖端」の意に用ひられる。【例】あの衣裳はさてもデルニエ・クリだ。
デルニエ・メゾン (Dernier maison) 「最近の家」の意であるが終夜營業するダン
スホールの事を云ふ。

デルタ (Delta) 三角洲。河口に於ける三角状の砂洲。

テルツェット (Terzett) 三重唱。通常ソプラノ、テノール、バスの合唱をいふ。

テルメッセン (Telmessen) 男とも女ともつかぬ男女中性者。これは兩性の機能器管を有
する人を云ふが、男であつて女々しいものや女で無やみに荒つばいものを「あれはテ
ルメッセンだ」等と云ふ。

テルモス (Thermos) 魔法瓶。サーモスに同じ。

デカリットル (Decalitre) 卅。十リットル、即ち我が五升五合四勺。

テ

デカルト (Descartes) 一切の眞理は吾人の生得觀念に依りて承認し得るを唱へて推理派 (デカルト學派) を創めた佛國の哲學者 (西紀一五九六年生。一六五〇年歿)。

デカダン (Decadent) 廢頹派藝術家。十九世紀末フランスに於て所謂世紀末的現象の表れとして興つた藝術上の一派である。彼等は確たる定見もなく唯徒らに平凡を厭ひ常に強烈な刺戟を求めて刹那に生きんとする厭世的傾向を多分に有して居た、「惡の華」等の作で有名なボードレールは代表的なデカダン派詩人である。又此れより轉じて零落者や廢頹的氣分に捕へられ刹那に生き、享樂に酔ひ、自暴的に放縱なる者を「奴はデカダンだ」等と云ふ。

デカダンス (Decadence) 文學美術等について云ふ「廢頹」。又近頃此れを「デカる」と日本語的に動詞化して享樂したり怠けたりする意に用ひられて居る。

デカメートル (Decametre) 十メートル、即ち三丈三尺に當る。

デカメロン (伊語 Decameron) 「十日物語」。伊太利の文豪ジョバンニ・ボッカチオの名著にして、獵奇的性慾生活を描寫した好色文學で十篇より成る。

デターミニズム (Determinism) 決定論。非決定論と對立し意志の自由と不自由との論争で哲學、倫理學、神學上の大問題の一である。吾人の意志には常に選擇の自由がない或は心理的理由の爲或は其他種々なために規定されてゐるこの見解。

デターミネーション (Determination) ① 決心。決定。判決。終結。② 規定。限定。

デダクト (Deduct) 割引す。控除す。差引く。引離す。

デダクション (Deduction) 演繹法。これは既に經驗した事實や既知の法則より、未知の事實や法則を推理せんとするもので、抽象的な法則を前提とし獨斷的である。

テレパシー (Telepathy) 精神感應。以心傳心。靈媒術。

テレボックス (Tele-box) テレヴィジョンの受信器。

テレオロギー (獨語 Teleologie) 目的論。宇宙觀及び人生觀に於て、全ゆる現象を單なる因果關係に過ぎずとして、機械的盲目的に説明する機械論と對立し、宇宙の全ゆる現象は一定の目的に従つて起り、時間的に見て前の現象は手段であつて後の現象は即ち目的である。而して其等の現象は原因結果の關係ではなくして目的と手段の關係で

デカ——テレ

テレ

あるとする説である。

テレガール (Tele-girl) テレフォンガールの略で電話交換嬢の事。

テレライター (Tele-writer) 印字電言機。

知の事實や法則を推理せんとするもので、抽象的な法則を前提とし獨斷的である。

テレパシー (Telepathy) 精神感應。以心傳心。靈媒術。

テレボックス (Tele-box) テレヴィジョンの受信器。

テレオロギー (獨語 Teleologie) 目的論。宇宙觀及び人生觀に於て、全ゆる現象を單なる因果關係に過ぎずとして、機械的盲目的に説明する機械論と對立し、宇宙の全ゆる現象は一定の目的に従つて起り、時間的に見て前の現象は手段であつて後の現象は即ち目的である。而して其等の現象は原因結果の關係ではなくして目的と手段の關係で

テカ——テレ

テレ

あるとする説である。

テレガール (Tele-girl) テレフォンガールの略で電話交換嬢の事。

テレライター (Tele-writer) 印字電信機。受信した電報を直ちに記録し得る装置。

テレヴィジョン (Television) 無線電送活動寫眞。ラヂオは音聲を電波に變へて遠隔地に迄放送するものであるが、此れは活動寫眞又は物体の活動狀態を電氣によつて遠隔地に再現せしめる装置で、既に實用に供されて居るテレフォトグラフの一層進歩したものである。目下歐米各國にて研究中であるが我國では早稻田大學山本忠興、河原田兩教授のY O式テレヴィジョンがある。同教授は一九三一年六月東京戸塚球場より野球實況の放送に成功を遂げた。由來テレヴィジョンの屋外放送は世界各國に未だ例がないので、不完全乍らも非常な成功であつた。若しテレフォトグラフやテレヴィジョンが廣く實用に供される様になれば全ゆる生活様式に一大變化を起すだらう、例へば自宅で寢乍らにして早慶戦や活動寫眞を見る事も出来るだらうし、ラヂオを聞き乍ら放送者の姿を見る事も出来る。實に科學の進歩は何處迄行くのだ。

テレヴォックス (Televox) 電氣仕掛の人造人間。米國ウエスチング・ハウス電氣會社の技師ウエンスレー氏發明のロボットの名で非常に精巧な機械人間である。ロボット君も最近は非常に尖端的となつて、話したり歌つたりするのは勿論來客に應答したり電話もかければ煙草も喫ふと云つた有様、なまなかのノールスな人間より役に立つ。

テレグラム (Telegram) 電信。電報。テレグラムフォームは賴信紙。

テレグラフ (Telegraph) ① 電信機。新聞紙の名稱に用ひたる時は「電報」。【例】デーリー・テレグラフ「毎日電報」。② 信號機 (電氣裝置の)。

テレグラフィ (Telegraphy) ① 電信術。電信法。② 電信。

テレグラフィック・ボーイ (Telegraphic boy) 電報配達夫。

テレグラフィック・ドラフト (Telegraphic draft) 電報爲替。テレグラフィック・トランスファーに同じ。

テレグラフィック・トランスファー (Telegraphic transfer) 電信爲替。送金爲替の一種で銀行に依頼し支拂銀行に支拂を打電せしめ、自身も同時に受取人に其旨を打電するので

テ

ある、受取人はその通知電報を支拂銀行に持参してその支拂を受く(略號T・T)。

テレグラフィック・メッセージ (Telegraphic message) 電報。テレグラムと同じ。

テレグラフィスト (Telegraphist) ① 電信技手。② 通信係。

テレグラフィオン (Telegraphone) 蓄音電話機。電話で送られた言語を一方で電磁石を用ひて蓄音する装置。

テレグラフィオフィス (Telegraph-office) 電信局。

テレグラフィアー (Telegrapher) 電信技術者。電信技師。

テレマーク (Telemark) スキーにてテレマーク廻轉の事を單にテレマークと云ふ。其の方法はテレマーク滑降の姿勢(跪坐しながら片足を前に出しT字形に制動を行ふ体形)を利用して廻轉を行ふ。實地の山野跋涉には餘り役に立たぬが上手なスキーヤーが模範的なフォームでやるに非常に優美なものである。

テレマーク・ランニング (Telemark running) テレマーク滑降。スキーにてテレマーク姿勢(テレマーク参照)にて滑降する事で、この方法は全体重を殆んど前出スキーに懸ける爲疲労し易く長距離の滑走には適しないが短い斜面等に於ては便利である。

テレマーク・クラスト (Telemark crust) スキー用語で、太陽熱の爲クラスト(同項参照)の表面が溶け軟雪となつた事で滑走、廻轉に適しテレマークがし易い爲この名あり。

テレマーク・スウィング (Telemark swing) テレマーク廻轉。單にテレマークとも云ふ

デレゲート (Delegate) ① 代表。委員。② 代表選手。③ 代議士。

デレゲーション (Delegation) ① 委員。代表者。代議士。② 委任。委託。③ 委員派遣。機に装置すれば電話通信が自動的にタイプされる。

テレフォニスト (Telephonist) ① 電信技手。② 電話使用者。

テレフォト (Telephoto) テレフォトグラフの略。

テレフォトグラフ (Telephotograph) 電送寫眞。此れは送らんとする寫眞の像(光線)を電波に變へて遠隔地に送るもので、我國では丹羽保次郎博士發明の日本電氣會社NE式は外國品に劣らぬ優良品で大阪毎日新聞社は此れを使用して居る。又遞信省では東

テレ

テレ——テソ

京大阪間に此の機械を装置して一般の寫眞電送に應じて居る(テレヴィジョン参照)。

テレフォトグラフィアー (Telephotography) 電送寫眞術。

テレフォン (Telephone) 電話。電言。公衆電話のボックスには Public Telephone (パブ

テレプリンター (Teleprinter) 自記電話機。最近英國で發明された新機械で双方の電話機に装置すれば電話通信が自動的にタイプされる。

テレフォニスト (Telephonist) ① 電信技手。② 電話使用者。

テレフォト (Telephote) テレフォトグラフの略。

テレフォトグラフ (Telephotograph) 電送寫真。此れは送らんとする寫眞の像(光線)を電波に變へて遠隔地に送るもので、我國では丹羽保次郎博士發明の日本電氣會社NE式は外國品に劣らぬ優良品で大阪毎日新聞社は此れを使用して居る。又遞信省では東

テレ

テレ——テソ

京大阪間に此の機械を装置して一般の寫眞電送に應じて居る(テレヴィジョン参照)。
テレフォトグラフィ (Telephotography) 電送寫真術。

テレフォン (Telephone) 電話。電信。公衆電話のボックスには Public Telephone (パブリック・テレフォン) と書いてある。

テレフォンオペレーター (Telephone-operator) 電話交換手。

テレフォンガール (Telephon-girl) 電話交換嬢。ヘローガール、モシモシ嬢等ともいふ

テレフォンナンバー (Telephone-number) 電話番号。

テレフォンエクスチェンジ (Telephone-exchange) ① 電話交換。通話し得る様所要の線に繼ぐ事。② 電話交換局。

テレフォンディレクトリ (Telephone-directory) 電話帳。電話加入者の名簿。

テレフォンテレグラム (Telephone-telegram) 電話で送信する電報。

テレフォンサブスクライバー (Telephone-subscriber) 電話加入者。

テレゴニー (Telegony) 先夫遺傳。婦人が離婚し他の男子に嫁した際先夫の血をも受けてゐる子供が出来る、これはその婦人が先夫に依つて既に肉体的精神的に變化を來してゐるからで、これをテレゴニーといふのである。

テレゴグ (Telegog) 直接教授式實感通信教授。

テレサーモメーター (Telthermometer) 電氣寒暖計。

テレミン (Telemia) 露西亞のレオン・テレミン發明の新樂器。此れは「マルテノ」と同じ様な装置でエーテルを利用して音樂を奏する。其の音はセロに似て居るがもつと低く非常に優雅な音色を有する(マルテノ参照)。

テレヴィジョン (Television) テレヴィジョンの項を見よ。

テレピン (Turpentine-oil) テレピン油。松柏科植物の分泌する樹脂を水と共に蒸溜して製する液狀の油でテレメン油とも云ふ。ターペンチン・オイルが正しい。

テレスコープ (Telescope) 望遠鏡。略してテレスコと云ふ、大なるものは天体觀測に用ひられ、小なるものは双眼鏡、オペラグラスとして廣く用ひらる。

デソレート (Desolate) ① 荒涼たる。② 人跡まれなる。孤獨の。③ わびしき。

テ

- デソレーション (Desolation) ① 荒廢。荒涼。荒蕪地。② 衰亡。③ 悲愁。
- デッド (Dead) ① 死せる。② 無感覺の。麻痺せる。生氣のなき。
- デッドローン (Dead-loan) 貸倒金。回收不能の貸金。
- デッドロック (Dead-lock) ① ストライキ等の理由で工場を閉鎖すること。ロックアウトと同じ。② 立往生。汽車、電車等が事故に依り前進も後退もならぬ時にいふ。
- デッドボール (Dead-ball) ① 死球。投手の投げた球が打者の身体又は着衣に觸れた時に云ふ。打者がその球を避けんとして尙觸れた場合は一壘へ進む。② 球あて遊戯。攻撃側は守備軍の周圍に圓形陣を作り中の敵に球を當てる遊戯。
- デッドボール・ライン (Dead-ball line) 死球線。ラグビー競技場にてゴールラインより二十五碼の地點に平行に引いた線を云ふ。
- デッドヘッド (Dead-head) 無賃客。ロハで興行物を見物したり、無賃乗車券等で汽車、電車等に乗る者をいふ。
- デッドドランク (Dead-drunk) 酒に酔つてぐたぐたになつて居る様を云ふ。
- デッドダイブ (Dead-dive) 死降。飛行機が急角度にて下降すること。
- デッドラーク (Dead-lark) 明巢狙ひ。【例】春先の遊山にはデッドラークに御注意。
- デッドライン (Dead-line) ① デッドボール・ラインと同じ。② 死線。【例】今日百五十萬の勞農大衆がデッドラインを彷徨つて居る。
- デッドウエイト (Dead-weight) 從量荷。即ち其の重量に從つて運賃を計算する貨物。
- デッドクローズス (Dead-clothes) 經帷子の事を云ふ。
- デッドマーチ (Dead-march) 葬送行進曲。フューネラル・マーチとも云ふ。
- デッドマイン (Dead-mine) 死鑛。廢鑛。既に採掘して了つて役に立たなくなつた鑛山。
- デッドマスク (Dead-mask) デスマスクと同じ (同項参照)。
- デッドフェイント (Dead-faint) 人事不省。
- デッドアワーズ (Dead-hours) 萬物が死んだ様な状態になる時、即ち「行く水も止り家の棟も三寸下る丑滿時」なのである。
- デッドヒート (Dead-heat) 五角の競走。非常な白熱戦。【例】四百メートル競泳で牧野

デソ——デッド

デッド——テナ

横山兩選手はデッド・ヒートを演じた。

デッドストック (Dead-stock) 寢物。捌けずに倉庫等に寝かせてある商品の事。

デッター (Debter) 債務者。借主。

葬送行進曲。フューネラル・マーチとも云ふ。

デッドマーチ (Dead-march) 葬送行進曲。フューネラル・マーチとも云ふ。

デッドマイン (Dead-mine) 死鑛。廢鑛。既に採掘して了つて役に立たなくなつた鑛山。

デッドマスク (Dead-mask) デスマスクと同じ (同項参照)。

デッドフェイント (Dead-faint) 人事不省。

デッドアワーズ (Dead-hours) 萬物が死んだ様な状態になる時、即ち「行く水も止り家の棟も三寸下る丑満時」なのである。

デッドヒート (Dead-heat) 五角の競走。非常な白熱戦。【例】四百メートル競泳で牧野

デソ——デッド

デッド——テナ

横山兩選手はアッド・ヒートを演じた。

デッドストック (Dead-stock) 廢物。捌けずに倉庫等に寝かせてある商品の事。

デッター (Debter) 債務者。借主。

デックル・エッジ (Deckle-edge) 「原紙の儘なる」の意で紙の端が抄紙せるまゝで綺麗に斷裁して居ないもの、同上製の本。

デップスボム (Depth-bomb) 水中爆彈。飛行機の上より潜水艦に投ずる爆彈。

デッサン (Dessin) 素描。此れは繪畫や彫刻の基礎になる畫法であつて、鉛筆やペンのみで描いたもので美術の初學者は繪具を用ふる前に先づ此れを練習して距離の關係や輪廓、蔭影等の描き方を學ぶのである。

デッキ (Deck) ① 船の甲板。(鐵道) 客車の屋根。② 屋根。覆物。デッキが正しい。

デッキパセンジャー (Deck-passenger) 甲板積みの下等船客。

デッキハンド (Deck-hand) 甲板上で作業する水夫。

デッキチェア (Deck-chair) 甲板用椅子。船客が風景を眺めたり休息するために遊歩甲板に設置してある椅子をいふ。

デッキオフィサー (Deck-officer) 海軍將校。ネーバル・オフィサーとも云ふ。

デッキカーゴ (Deck-cargo) 甲板積の荷物。

デッキライト (Deck-light) 甲板に作つた圓形の船室明り取り。

デッキゴルフ (Deck-golf) 甲板ゴルフ。航海中無聊を慰める爲船中で行ふゴルフ戯。

デッキビリヤード (Deck-billiard) 船上遊戯の一で圓盤を棒にて押し廻して行ふ競技。

テネーブル (佛語 Tenebres) ① 地獄。② 闇。③ 無智。

テナー (Tenor) 次中音(又は中音部、男子の最高音)及同上演唱者。テノールとも云ひ、レコードやトーキーにて有名なジョン・マコーマックは此の歌手である。又此中にドラマチック・テナー(劇的中音) ミリリック・テナー(抒情的中音)がある、一九三一年春來朝せし伊太利の音楽家ムロ・ロマンはリリック・テナーとして知られて居る。我國の藤原義江氏は「我等のテナー」として世界的に有名である。

テナント (Tenant) ① 借家人。② 小作人。③ (法律で) 被告。

テ

テ

テナントトラブル (Tenant-trouble) 小作爭議。小作農民が、小作料の増額に對する反對、小作料軽減、耕地取上反對等の爲に起す爭議である。

テナントライト (Tenant-right) 小作權。

テナントファーマー (Tenant-farmer) 小作農。地主に一定の小作料を支拂つて土地を借り自己の勞働に依り耕作する農民で貧農の大半はこれに屬す。

テナンシー・システム (Tenancy system) 小作制度。これには永小作と賃貸小作とがある。封建社會にあつては永小作權が認められ、土地の所有權は地主にあるが小作農は一定の年貢を納め代々相續して居たが、資本制社會に至つては永小作權を奪はれ賃貸制度となつた。

テラー (Teller) ① 話す人。② 金錢出納係。計算者。

テラー (Terror) テロールと同じ (同項参照)。

デライト (Delight) ① 悦ばす。樂む。② 歡喜。好物。【例】トマトは僕のデライトだ。

デライド (Deride) 笑ふ。嘲る。ひやかす。【例】まあそうデライドするな。

テラインコグニタ (羅語 Terra-incognita) 人跡未到の地。尙テラは土地、地球の意。

デラウェア (Delaware) ① 北米の州。ワシントン東方大西洋岸に位す。② 同州産葡萄

デラマット (Deramat) 自動マーケット。最近ニューヨークに出來たもので、各種の食品其他を入れてあつて小口へ指定の代金を投入すると目的の品が出て來る。これは電氣エレベーターの理を應用して貨幣の投下によつて自動的に運轉を開始するもので從來米國の料理屋にあつたオートマット (オートマチック・サービス) を一般の日用品販賣に應用したもので、精巧なのは自動的に釣錢の計算もする。

テラコッタ (伊語 Terra-cotta) ① 陶瓦。陶瓦像。② 赤土焼。砂と粘土とにて作つたもので陶瓦、彫刻、建築材料等によく用ひらる。

テラコッタ・フィギュア (Terra-cotta figure) 小像 (一種の素焼人形)。

セラピー (獨語 Therapie) ① 療法。② 治療。英語ではセラピーといふ。

テラス (Terrass) ① 臺地。壇。② 平屋根。③ 露臺。屋外。④ 巴里等によく見られる屋外カフェー。人道に椅子や卓子を並べ飲料等を提供して休息せしめる所。

テナ——テラ

デヴィ——テク

デヴィ、デヴァ を冠せる語は夫々、デビ・デバの項を見よ。

デウィーツァ (露語 Deizna) 娘。處女。佛語ではマドモワゼルといふ。

デヴィス・カップ (Davis Cup) デビス・カップの項を見よ。

販賣に應用したもので、精巧なのは自動的に釣銭の計算もする。

テラコッタ (伊語 Terra-cotta) ① 陶瓦。陶瓦像。② 赤土焼。砂と粘土とにて作つたもので陶瓦、彫刻、建築材料等によく用ひらる。

テラコッタ・フィギュア (Terra-cotta figure) 小像 (一種の素焼人形)。

セラピー (獨語 Therapie) ① 療法。② 治療。英語ではセラピーといふ。

テラス (Terrass) ① 臺地。壇。② 平屋根。③ 露臺。屋外。④ 巴里等によく見られる屋外カフェー。人道に椅子や卓子を並べ飲料等を提供して休息せしめる所。

テナ——テラ

デヴィ——テク

デヴィ、デヴァ を冠せる語は夫々、デビ・デバの項を見よ。

デウイーツァ (露語 Deuiza) 娘。處女。佛語ではマドモワゼルといふ。

デヴィス・カップ (Davis Cup) デビス・カップの項を見よ。

テノール (伊語 Tenore) 次中音。男子の最高音聲である (テナー参照)。

デノンブルマン (佛語 Denombrement) ① 國勢調査。② 列擧。枚擧。

デグー (佛語 Degout) ① 食慾不振。② 不愉快。不興。嫌惡。

テクニーク (Technique) テクニックと同じ (同項参照)。

テクニカル・ターム (Technical term) 術語。専門語。テクニクスと同じ。

テクニカル・ノックアウト (Technical knock-out) 拳闘用語で術的撃退、即ち競技中兩者が段違ひである場合審判者はテクニカル・ノックアウトを宣し勝敗を決定する。

テクニカル・ファウル (Technical foul) 籠球の術的反則、即ち競技の進行を妨害する行爲があつた時や審判の許可なくして選手がコートをはなれたり、コート外より選手に對しコーチをした時等に審判はテクニカル・ファウルを宣し相手方に自由投を與へる。

テクニカル・ディレクター (Technical director) 技術監督。映畫の時代考證等の如き特殊な技術方面の監督。

テクニカル・アドバイザー (Technical adviser) 顧問技師。

テクニカル・スクール (Technical school) 工藝學校。

テクニカラー (Technicolour) 天然色、天然色映畫の意。天然色映畫と云つてもバッテリーだのキネマカラーだの種類は多いが、このテクニカラーは其の中最も進歩したもので現在の天然色映畫は殆んどこのテクニカラーである。然しこれまでも未だ不完全なものである。我國にても相當研究されては居るが、まあ當分は天然色映畫の製作等思ひもよらない。又これより轉じて厚化粧の意に用ひられ、「彼女はテクニカラーで觀劇に出掛けた」等と云はれる。

テクニク (Technic 又は Technique) 技巧。技術。即ち音樂に於ける演奏法、劇の演出法、文藝上の技巧等の意、「この曲は非常にテクニクに富んでゐる」、又近頃では「近代戀愛テクニク」等と廣く用ひられてゐる。

テ

テクニックス (Technics) ① 術語。専門語。② 藝術論。③ 専門的な事物。

テクニッシュ (獨語 Technisch) 共産黨技術部。活動資金、武器の調達、各地の聯絡等々の特殊技術的方面を調査、研究して黨の活動を援ける機關。

テクニシャン (Technician) 専門家。テクニシスト (Technicist) とも云ふ。

デクリー (Decree) ① 布告。告示。② 判決。宣告。③ 命令。

デグリー (Degree) ① 等級。位階。段階。② 學位。③ 度 (寒暖計、經緯度等の)。

デクリース (Decrease) ① 減少。縮少。減少額。② 減する。縮小する。減少する。

デクリネーション (Declination) ① 傾斜。下向。② 落下。墜落。③ 衰微。④ 拒絶。

テくる (和製語) テクニーを見よ。

デクレーム (Declaim) ① 高聲にて暗誦す。朗讀す。② 演説す。熱辯を揮ふ。

デクレーマー (Declaimer) ① 暗誦者。朗讀者。② 講演者。演説者。熱辯家。

デクレア (Declare) ① 宣言する。陳述する。② 申告する。明言する。

デクレセンドー (伊語 Decrescendo) 音樂記號で「漸次弱く」の意。Decrease 又は V 記さる、尙この反對はクレセンドー。

デクライン (Decline) ① 衰弱。衰退。墮落。② 謝絶す。忌避す。

デクラレーション (Declaration) ① 宣言書。陳述書。② 宣言。布告。檄文。尙デクラレーション・オブ・ウォーは宣戰。③ 申告。陳述。

デグラデーション (Degradation) ① 墮落。退化。② 免職。地位剝奪。③ 減少。

デクラメーション (Declamation) ① 暗誦。朗讀。② 講演。熱辯。絶叫。

テクノロジ (Technology) 工藝。工藝學。

テクノロジカル・アンエンプロイメント (Technological unemployment) 機械失業。資本主義社會にあつては労働時間の短縮が機械の進歩に伴はず、生産力の發展、換言せば機械の進歩は一方には生産過剩他方には失業者の増大として現はれる、而して此の失業群は更に新たな失業の原因となり斯くして産業豫備軍は失業常備軍と轉化する。

テクノロジスト (Technologist) 工藝家。工藝學者。

テクシー (Texi) タクシーにもじつた和製語で「歩くこと」をいふのである。テクシー

テク

テク——デフ

で行かうか」等と用ひらる、又これを動詞化してテクるともいふ。

テキスト (Text) 及びこれを冠せる語はテキストの項を見よ。

デマ (Demagogue) デマゴグの略 (次項参照)。

テクニメーション (Technician) ① 暗誦 助読 ② 講演 熱辯 絶叫

テクノロジー (Technology) 工藝。工藝學。

テクノロジカル・アンエンプロイメント (Technological unemployment) 機械失業。資本主義社會にあつては労働時間の短縮が機械の進歩に伴はず、生産力の發展、換言せば機械の進歩は一方には生産過剰他方には失業者の増大として現はれる、而して此の失業者は更に新たな失業の原因となり斯くして産業豫備軍は失業常備軍と轉化する。

テクノロジスト (Technologist) 工藝家。工藝學者。

テクシー (Texi) タクシーにもじつた和製語で「歩くこと」をいふのである。テクシー

テク

テク——デフ

で行かうか」等と用ひらる、又これを動詞化してテクるともいふ。

テキスト (Text) 及びこれを冠せる語はテキストの項を見よ。

デマ (Demagogue) デマゴグの略 (次項参照)。

デマゴグ (Demagogue) 本來は首領、悪煽動家の意であるが轉じて悪煽動、逆宣傳の意に用ひらる。即ちプロレタリア階級の團結、革命的闘争を妨害し勞農大衆を右翼の側に食ひ止めるべくブルジョアジー (及び其の代辯者) が事實を歪曲して大衆を逆煽動する事である。アヂテーションが左翼陣營に於ける正しい煽動であるに對してこれは全く反對である。普通デマと略し「デマを飛ばす」「彼等のデマを克服せよ」等と用ひらる。又三角關係等の場合、戀敵の事を有る事ない事を混ぜ合せて中傷する事も矢張り「デマを飛ばす」等と云はれる。

デマゴギー (Demagogy) 民衆煽動 (デマゴグ参照)。

デマンド (Demand) ① 要求。請求。② 需要。③ 要求す。催告す。

デマンドント (Demandant) ① 原告。要求者。請求者。② 質問者。尋問者。

チケット (Ticket) チケットの訛 (同項参照)。

デブル (佛語 Debours) 手附金。前金。

デフイート (Defeat) ① 敗北。失敗。② 勝つ。擊破す。③ 無効。

デフイニション (Definition) ① 鏡玉生像力。② 定義。解説。③ 限界。

デプロア (Deplore) ① 悼惜する。歎く。② 残念がる。③ 悲憤する。

デフレーション (Deflation) 通貨收縮。通貨が流通必要量以下に減少する事で物價低落

の結果として起る現象で經濟學に於てインフレーションと共によく用ひられる語である。即ち物價が低落すれば貨幣價値が騰貴し通貨は收縮する、斯かる状態をデフレーションといひ、その反對の場合をインフレーション (通貨膨脹) といつて共に物と通貨の關係がアブノーマルであることを示す。

デフェクト (Defect) 缺點。短所。缺陷。不足。汚點。

デフェンダント (Defendant) ① 民事の被告。② 辯護者。防禦者。保護者。維持者。

デフェンシブ (Defensive) ① 防禦用の。受身的。② 守勢。③ 防禦手段。

テ

デフェンス (Defence) ① 防禦。防備。② 擁護。辯護。③ 運動競技に於ける防禦側の者を云ふ。尚リーガル・デフェンス (Legal defence) は正當防衛、ナショナル・デフェンス (National defence) は國防をいふ。

デプス (Depth) ① 奥行。② 深淵。深所。③ 奥妙。深遠。④ 濃厚。強度 (色度の)。

デコード (Decode) 暗號電報を通常文に翻譯すること。

デコール (Decor) ① 裝飾。② 舞臺裝置。背景。③ 下等の淫賣婦。

デコイ (Decey) ① 囮。② 餌。③ オビキ寄せる。誘致する。

デコイガール (Decey-girl) 囮りの娘。美しい娘を囮りに使つて鼻下長を引き寄せてうまい汁を吸はふさいふ戦術は古くよりあるが、これは又超尖端的モダンに装つた客引女である。近頃流行のマネキン・ガールも矢張りデコイガールだらう。

デコイダック (Decoi-duck) 囮。ぼん引。誘惑者。尚デコイダック・システムは共同保険契約の場合悪周旋人が信用ある他人を囮に使つて保険の契約をさせること。

デコルテ (佛語 Decollete) 「頸筋を露はした」の意で婦人の襟なし夜會服のこと。

デコレート (Decorate) ① 勳章、賞牌等を授與する。叙勳する。② 裝飾する。

デコレーチブ (Decorative) ① 裝飾的。裝飾せる。② 飾りこすべき。

デコレーチブ・アート (Decorative art) 裝飾藝術。色彩や形状の調和及び其組立て等裝飾を藝術的に取扱ふ事である。

デコレクター (Decorator) 裝飾者。裝飾師。

デコレーション (Decoration) ① 勳章。② 裝飾。又「デコる」と日本語的に動詞化して飾る、化粧する、おしやれする等の意に用ひらる。

デコレーション・デー (Decoration Day) 裝飾日。米國の記念祭の一で五月三十日である一八六一年より一八六五年に亘る南北戦争が此日に終結したので、此れを記念して毎年此日に祝典を擧げ南北戦争戦死者の墓を美しく裝飾する。

デコンポジション (Decomposition) ① 分析。分解。溶解。② 腐敗。朽敗。

デコンポジション・オブ・ライト (Decomposition of light) 光の分解。

デディケート (Dedicate) 奉納す。題寄する。自著を恩人、友人等に贈るに當り書籍の扉

デフ——デデ

デデ——デザ

等にその人の名を題するを云ふ。

デディケーション (Dedication) 奉納。題寄 (前條参照)。尚デディケーター (Dedicator)

デコレーション (Decoration) ① 勳章。② 裝飾。又一「デコる」と日本語的に動詞化して飾る、化粧する、おしやれする等の意に用ひらる。

デコレーション・デー (Decoration Day) 裝飾日。米國の記念祭の一で五月三十日である。一八六一年より一八六五年に亘る南北戦争が此日に終結したので、此れを記念して毎年此日に祝典を擧げ南北戦争戦死者の墓を美しく裝飾する。

デコンポジション (Decomposition) ① 分析。分解。溶解。② 腐敗。朽敗。

デコンポジション・オブ・ライト (Decomposition of light) 光の分解。

デディケート (Dedicate) 奉納す。題寄する。自著を恩人、友人等に贈るに當り書籍の扉

デデ——デザ

等にその人の名を題するを云ふ。

デディケーション (Dedication) 奉納。題寄 (前條参照)。尙デディケーター (Dedicator) は奉納者、献身者、題寄者の意。

デアボロー (Diabolo) ① 獨樂遊戲の一種。つゞみ型の獨樂を二本の棒の先に糸をつけたもので廻す遊戲。② 舞踏曲にもこの名のものがある。

テアトル (佛語 Theatre) ① 劇場。② 舞臺。演劇。戯曲。尙英語ではシアター、獨語ではテアタールといふ。

デアマン (蘭語 Diamant) 金剛石。英語のダイヤモンドに當る。

デア・モンターージュ (佛語 Thea montage) 演劇モンターージュ。演劇にモンターージュの手法を用ひて新しい形式の劇を作ること (モンターージュ参照)。

デザート (Desert) ① 砂漠。荒蕪地。尙デザートキャラバン (Desert-caravan) は「砂漠の隊商」の意。② 逃亡する。脱走する。

デザート (Dessert) 洋食の最後に出る菓子或は果物。尙それに用ひる匙をデザートスプーン (Dessert-spoon) と云ふ (デザートコース参照)。

デザートコース (Dessert-course) 西洋料理にてデザートの出た時をデザートコースに入つたと稱しこの時主人側の挨拶や來賓の祝辭などがある。

デザートスプーン (Dessert-spoon) 食卓用大型匙。洋式食卓にて料理を盛つた大きな皿より各々自分の皿に料理を取るに用ふもの。

デザートター (Deserter) 逃亡者。脱船者。脱走兵。

デサイド (Decide) ① 決定す。決心す。② 判決す。解決す。

デザイア (Desire) ① 希望。要求。慾望。② 肉慾。食慾。

デサイシブ (Decisive) 決定的。斷乎たる。尙デサイシブ・アンサー (Decisive answer) は確答。デサイシブ・メジャー (Decisive measure) は斷乎たる方法。デサイシブ・バトル (Decisive battle) は決戦。

デザイン (Design) ① 意匠。即ち工業品に應用する色彩や模様の一に依る美術的圖案である。又意匠登録をすれば他人の模倣を禁じ其の專用權を得る事が出来る。② デ

テ

ッサンに同じ。③ 設計。【例】新驅逐艦のデザインが完成した。

デザビエ (佛語 Deshabille) 略服。日常着。便服。

テキ (Beef-steak) 焼肉。西洋料理ビーフステーキの略でビフテキともいふ。

テキサス (Texas) ① 米國南部のメキシコ灣に臨む州。② 次項の略。

テキサス・リーガー (Texas Leaguer) 野球にて外野と内野の中間に落ちた軟飛球。もこ米國のテキサス・リーグのチームがアメリカン・リーグやナショナル・リーグ等と試合をすれば實力の相違からテキサス・リーガー(テキサス・リーグ選手)が打つたボールは内野と外野の中間位迄しか飛ばないことより出た語。

テキスト (Text) 本文。論題。教科書。参考書。此語は元來註釋や翻譯のない原文、本文と云つた意であるが参考書とか教科書の意によく用ひらる。「獨逸語講座のテキスト御入用の方は御申込下さい」等と云ふ。

テキストハンド (Text-hand) 太字。見出し等に用ひる大型の字。

デキストリン (Dextrine) 糊精 $C_{12}H_{22}O_{10}$ 澱粉を冷水にてその不溶解性を失ふ迄熱し或は稀酸類にて熱して製せられる。普通は薄牛皮色粉末にして護謨の代用物とせらる多く「寫眞糊」に用ひ、「靱利太尼亞護謨」とも云ふ。

テキストブック (Text-book) ① 教科書。教本。② 参考書(テキストの項参照)。

テキスタイル・インダストリー (Textile industry) 織物工業。

テキスタイル・ファブリックス (Textile fabrics) 織物。テキスタイル・アートは織物工藝

デュ (Du) を冠せる語にして本項になきものはデュの項を見よ。

チューバ (Tuba) 喇叭の一種。サクソフォンの大型のもので莊重なる音を出す。

チューバーキュロシス (Tuberculosis) ① 結核。② 肺結核。

チューニック (Tunic) ① 一種の婦人服。袖が無く脇の開いたもの。② 陣羽織。

チューリップ (Tulip) チューリップの正音。葉は披針状にして、紅、黄、白、絞り等の鐘

状態を四五月頃開く。尙花には一重と八重とあり。

チューナー (Tuner) ① 整調器。樂器の調子を正しくする器具。② 整調師。

デューマ (Alexandre Dumas) ① 大デューマ。佛國の文豪(西紀一八〇二年生。一八七

デザ——デュ

デュ——デシ

○年歿)。佛國浪漫派の代表的作家で戯曲、傳奇小説等多し。「三銃士」「二十年後」戯曲「アントニー」等。② 小デューマ。大デューマの子にして詩人、戯曲作家(西紀一

チューバ (Tuba) 喇叭の一種。サクソフォンの大型のもので莊重なる音を出す。
チューバーキョロシス (Tuberculosis) ① 結核。② 肺結核。
チューニック (Tunic) ① 一種の婦人服。袖が無く脇の開いたもの。② 陣羽織。
チューリップ (Tulip) チューリップの正音。葉は披針状にして、紅、黄、白、絞り等の鐘
状花を四五月頃開く。尙花には一重と八重とあり。
チューナー (Tuner) ① 整調器。樂器の調子を正しくする器具。② 整調師。
デューマ (Alexandre Dumas) ① 大デューマ。佛國の文豪(西紀一八〇二年生。一八七

デザ——デュー

デュー——デシ

○年歿)。佛國浪漫派の代表的作家で戯曲、傳奇小説等多し。「三銃士」「二十年後」
戯曲「アントニー」等。② 小デューマ。大デューマの子にして詩人、戯曲作家(西紀一
八二七年生。一八九五年歿)、其の作品は「椿姫」「私生兒」其他。

デュエット (Duet) デュエットの項を見よ。

デュティ (Duty) 及び本語を冠せる語はデューチーの項を見よ。

デュアル (Dual) を冠せる語にして本項になきものはデュアルの項を見よ。

デュアル・ロール (Dual role) 一人二役。【例】阪妻がデュアル・ロールを演ずる。

デュアル・ユニオンズム (Dual unionism) ダブルユニオンズムに同じ。

チューン (Tune) ① 調子。節(音樂用語)。② 調和。氣分。氣嫌。③ 歌曲。

テュルフ (佛語 Turf) 競馬場。英語のコースに當る。

デメリット (Demerit) ① 缺點。過失。失態。② 罪業。罪惡。③ 罰點。

デメンシア (Dementia) ① 精神錯亂。② 痴呆。尙アメンシア・プレコックス (Dementia
praecox) は早發性痴呆。

デミレップ (Demirep) 曖昧女。魔性の女。娼婦。

デミヤーン (Demiyarn) ロシアの革命詩人(西紀一八八三年生)。デミヤーン・ペードマ

イはペンネームにて本名はエフィン・アレキセーヴィッチ・ブリドオーロフ、一九二二
年「プラウダ紙」の同人となり其の創刊の事業を援け、十月革命には常に戦線に活動
し、それは直ちに詩となつて労働者農民を激勵し革命的アヂ・プロの役割を演じた。
一九二二年にはモスコフ・ソウエート委員となつた。

デミセミ (Demi-semi) 「半分の半分」の意で四分の一をいふ、クォーターに同じ。

デシ (Deci) 「十分の一」の意。例へばデシメートルは一メートルの十分の一。

デシート (Deceit) ① 詐欺。べてん。② 詭計。策略。

デシールマン (佛語 Dechirement) ① 内亂。内訌。② 斷腸。悲痛。

デシープ (Deceive) 欺く。目をかすめる。尙デシーバー (Deceiver) は欺く人。

デシース (Deceise) ① 死。死亡。② 逝去する。

デシリットル (Decilitre) 坵。一リットルの十分の一の液量單位。

デ

デシグネーション (Designation) ① 任名。選定。指定。指名。② 名稱。
 デシグラム (Decigramme) 粉。一グラムの十分の一の量單位。
 デシマル (Decimal) 小數。尙デシマル・ポイント (Decimal point) は小數點。
 デジエナレーチブ (Degenerative) ① 退化する。悪化する。② 變質する。
 デジエナレーチブ・インサニチー (Degenerative insanity) 變質性精神病。
 デジエナレーション (Degeneration) ① 墮落。頹廢。惡化。② 退化。エボリューション
 (進化) に對する語。

デジューネ (佛語 Dejeuner) 朝食、又は晝食。尙ブチ・デジューネは朝食。
 デシメートル (Decimetre) 粉。十分の一メートル即ち我が三寸三分に當る。
 デシジョン (Decision) ① 決議。決論。判決。② 決心。決意。③ 果斷。
 デビリチー (Debility) ① 衰弱。疲勞。② 無氣力。軟弱。
 デビル (Devil) ① 惡魔。極惡人。② 奴。畜生。③ 印刷屋の小僧。
 デビルス・ラック (Devil's luck) 惡運。イル・ラックとも云ふ。
 デビット (Debit) ① 負債勘定。借方(帳簿の)。② 負債。借。
 デピクト (Depict) ① 描寫す。② 敘述す。デピクチュア (Depicture) とも云ふ。
 デピクシオン (Depiction) ① 描寫。描出。② 敘述。記述。名狀。
 デビユー (佛語 Debut) 「お目見得する」といつた意味で演劇、舞踊、音樂等の初舞臺、
 處女出演、又初めて社交界に出る事をいふ。

デピューチー (Deputy) 代理。尙デピューチー・メーヤーは部長代理即ち助役のこと。
 デビュータン (佛語 Debutant) デビユーする人。初心者。初學者(デビユー参照)。
 デビュッシー (Claude Debussy) 佛國の作曲家(西紀一八六二年生。一九一九年歿)。印
 象派に屬する近代の大音樂家である。作品は歌劇「ペレアスとメリザンド」、音詩
 「牧神の午後」、管絃樂「イベリア」其他多數のピアノ曲。
 デピュテーション (Deputation) ① 代理。總代。② 代理派遣。
 デビス・カップ (Davis cupper) デ杯戦出場の選手。チルデン(米)、ラコシエ、ポロト
 ラ、コーシエ(佛)等は世界一流のデビス・カップであり、我國にては清水、熊谷

デシ——デビ

デビ——デモ

儀、原田、福田、佐藤(次)特に原田氏は一九二六年度の試合にてコーシエ、ラコスト
 選手を敗つてゐる。

デビス・カップ (Davis cup) デ不。デビス氏賞杯(次頁参照)。

デビュタント (Deputy) 代理。尙デビュタント・メーヤーは部長代理即ち助役のこと。

デビュタン (佛語 Debutant) デビュする人。初心者。初學者 (デビュ参照)。

デビュッシー (Claude Debussy) 佛國の作曲家 (西紀一八六二年生。一九一九年歿)。印

象派に屬する近代の大音楽家である。作品は歌劇「ペレアスとメリザンド」、音詩

「牧神の午後」、管絃樂「イベリア」其他多數のピアノ曲。

デピュテーション (Deputation) ① 代理。總代。② 代理派遣。

デビス・カップ (Davis cupper) デ杯戦出場の選手。チルデン (米)、ラコシエ、ポロト

ラ、コーシエ (佛) 等は世界一流のデビス・カップであり、我國にては清水、熊谷

デシ——デビ

デビ——デモ

儀、原田、福田、佐藤 (次) 特に原田氏は一九二六年度の試合にてコーシエ、ラコスト
選手を敗つてゐる。

デビス・カップ (Davis cup) デ杯。デビス氏賞杯 (次項参照)。

デビス・カップ・コンペチション (Davis cup competition) デ杯戦。英國ウインブルドン
の全英庭球選手権大會と共に世界二大庭球試合である。一九〇〇年當時の陸軍卿ドロ
イト・デビス氏が寄贈した大銀杯の争奪戦で世界各國が参加してゐる。米國の七年間
連勝の後を受けて一九二八年より佛國が連勝してゐる。我國は一九一一年より参加し
てゐる。尙試合方法についてはゾーンの項を見よ。

デモ (Demo) ① 偽のこゝろ。デモ文士は自分勝手に威張るつまらない似非文士のこゝろ。

② デモンストレーションの略 (同項参照)。

テモワン (佛語 Temoin) ① 参列者。立會人。② 目撃者。③ 證人。

デモガール (Demo-girl) 如何はしい女の意に用ひられてゐるが、昨今では爭議等のデモ
(示威運動) に加はる戦闘的な女性を云ふ。

デモラライゼーション (Demoralization) ① 風紀頹敗。風俗壞亂。墮落。② 士氣沮喪、

デモラライズ (Demoralise) 風紀を紊れしめる。墮落せしめる。

デモクラチック (Democratic) ① 平民主義の。民主主義的。② 民主政体の。

デモクラチック・パーティー (Democratic Party) 民主黨 (米國の二大政黨の一)。

デモクラチック・オファー (Democratic offer) 民衆的提供。商店等の宣傳に用ふる語で
一般民衆本位の奉仕的提供と云ふ意味である。

デモクラット (Democrat) ① 民主々義者。② 民主黨員。

デモクラシー (Democracy) 民主々義。民主政治。自由、平等の思想に基き專制政治を
排し社會の全員が支配權を有することなす政治の思想及び其の政治形態。憲法の制定、
議會政治の確立等は此れの表はれである。デモクラシーは資本家階級が封建制度に對
する闘争の思想的武器となつたが、ブルジョア階級の支配權力が確立し、又帝國主義
段階に迄發展を遂ぐるやデモクラシーは金融資本の獨裁的支配と轉化した。

デモビリゼーション (Demobilization) 解散。除隊。復員 (軍隊用語)。

テ

デモステネス (Demosthenes) 古代アテネの古今獨歩の大雄辯家 (西紀前三八四年生。同三二〇年歿)。

デモスセニック (Demosthenic) ① デモステネスの。② 雄辯なる。慷慨的 (演説)。

デモン (Demon) 惡魔。極惡人。又「王」と譯さる。尙スピードデモンは速力王の意。

デモンバウラー (Demon-bowler) 怪投手。非常に勝れた投手の事で「早大のデモンバウラー」君の健闘に依つて……」等と用ひられる。

デモンストレート (Demonstrate) 示威運動をする (次項参照)。

デモンストレーション (Demonstration) 示威運動。牽制運動。労働者、農民大衆が列をなして街頭を練り歩いたり、演説會等に依つて集團的威力を示して支配階級を威赫する戰術である。メーデーは全世界の資本家階級に對する國際勞農大衆のデモをなす日である。ストライキデモ、失業反對デモ等々普通デモと略して用ひられる。

デザート (Dessert) 高級美味のビスケット。小麦粉、バター、砂糖、卵、香料等にて製す。尙デザートは英語のデザートと同じ。

デザート・ビスキュイ (Dessert biscuit) 單にデザートとも云ふ (前項参照)。

デセプション (Deception) ① 瞞着。嘘偽。② 詐欺。詐欺手段。

デセンバー (December) 十二月。ローマの古い曆の十月に當るので Decem (十) をつけたものである。

デセリダント (Descendant) 子孫。後裔。

デス (獨語 Des) 音樂の調子「變ニ調」。此れは獨逸に於ける特種と呼方で英語のディーフラット (D flat) である。

デス (Death) ① 死。死亡。② 死滅。消滅。滅亡。③ 死刑。

デスペレーション (Desperation) ① 必死。死物狂。② 自暴自棄。絶望状態。

デスパッチ (Despatch) ① 派遣。急派。② 急書。速達便。デイスパッチとも云ふ。

デスパッチノート (Despatch-note) 外國へ貨物を送る時、それに添附して税關に提出する明細書の事である。

デスパッチマネー (Despatch-money) 一航海傭船契約に於ける傭船料の割増金の事を云

デモ——デス

デス——テス

ふ。即ち陸揚や船積に契約以上の時間を要した時それに對して支拂ふ割増金である。デスパッチブック (Despatch-book) 商品發送簿。

フラット (D Flat) である。

デス (Death) ① 死。死亡。② 死滅。消滅。滅亡。③ 死刑。

デスパレーション (Desperation) ① 必死。死物狂。② 自暴自棄。絶望状態。

デスパッチ (Despatch) ① 派遣。急派。② 急書。速達便。デイスパッチとも云ふ。

デスパッチノート (Despatch-note) 外國へ貨物を送る時、それに添附して税關に提出する明細書の事である。

デスパッチマネー (Despatch-money) 一航海備船契約に於ける備船料の割増金の事を云

デモ——デス

デス——テス

ふ。即ち陸揚や船積に契約以上の時間を要した時それに対して支拂ふ割増金である。

デスパッチブック (Despatch-book) 商品發送簿。

デスポット (Despot) 専制君主。專制的執政者。【例】彼は家庭のデスポットだ。

デスポティズム (Despotism) 専制政治。即ち専政君主に依る獨裁政治。

デスベッド (Death-bed) ① 死の床。死病。② 臨終。末期

デスペア (Despaire) ① 絶望。失意。② 断念。③ 自暴自棄。悲觀。④ 絶望す。

テスト (Test) ① 試験。吟味。② 試験する。③ 判断。證明。④ 映畫にては試寫。

【例】今日のテストは満点だったよ。尙メンタルテストは心性考査(同項参照)。

デストロイ (Destroy) 破壊する。倒す。(制度等を)打破する。

デストロイヤー (Destroyer) ① 駆逐艦。② 破壊者。驅逐者。

テストパイロット (Test-pilot) 飛行機性能試験、試験飛行等をなす航空士。

テストチューブ (Test-tube) 試験管。化學の實驗等に用ひられるもの。

テストルーム (Test-room) ① 試験室。② 實驗室。

テストワーキング (Test-working) 試運轉。

デストラクション (Destruction) ① 破壊。撲滅。驅逐。② 瓦解。滅亡。

テストグラウンド (Test-ground) 試乗地。試験場。

テストマッチ (Test-match) 優勝試合。決勝戦。【例】テストマッチに出場の権利を獲た

テストフライ (Test-fly) 試験飛行。【例】新造飛行機のテストフライは大成功だった。

デスチニー (Destiny) ① 運。運命。約束事。宿命。② 運命の神。

デスチネーション (Destination) ① 屈先。指定地。② 目的地。行先。③ 豫定。指定。

テスチファイ (Testify) ① 證明す。證言す。② 宣誓す。公言す。

テスチモニアル (Testimonial) ① 證明書。賞状。感謝状。② 廣告法の一で社會的に

有名な人が其の商品を愛用して居る事を其人の寫真なり言葉を掲げて廣告する事。化粧品や藥品等に女優等を利用して居るのはこれである、又其れに利用される人。

テスチモニー (Testimony) ① 證據。證明。② 口供書。③ 抗議。④ 聖書。十誡。

テスチス (Testis) 睪丸。精囊。テスチクルともいふ。

テ

テスタメント (Testament) ① 聖書。尙ニユーテスタメントは新約聖書、オールドテスタメントは舊約聖書。② 遺言。遺言書。

デスレー (Death-ray) 殺人光線。人を殺し遠距離の火薬を爆發せしめ得る一種の化学光線。若しこれを戦争に用ふれば實に恐るべき効力を有するため現在世界各国は秘密裡にこの研究をしてゐる。

デスレート (Death-rate) 死亡率。人口千に對する一ケ年の死亡者の比。

デスウインド (Death-wound) 致命傷。デスストロークともいふ。

デスウォッチ (Death-watch) ① 臨終の看護。② 通夜。

デスク (Desk) 机。尙ザ・デスク (The desk) は著述業、机仕事の意である。

デスクパッド (Desk-pad) 机上の敷物。吸取紙を挟んで作つたものでゴム製のもの、コルク製のもの等いろいろある。

デスクリプチブ・タイトル (Descriptive title) 叙述字幕(映畫用語)。

デスクリプチブ・ミュージック (Descriptive music) 描寫音楽。描寫曲。自然の音を樂器

で真似てリズムの中に織り込み自然の氣分を出さうとする音楽である。この音楽は標題音楽(プログラム・ミュージック参照)の一種で藝術音楽中最も低級である。

デスクリプション (Description) ① 記述。叙述。② 描寫。【例】ゴーリキーの小説は實にデスクリプションが深刻だ。

デスクライブ (Describe) ① 叙述す。② 描寫す。作圖す。③ 批評す。

デスクブック (Desk-book) 便覽。参考に見る爲机上に備へて置く書籍。

デスクテレフォン (Desk-telephone) 卓上電話。

デスクシステム (Desk-system) 卓上に有ゆる事務用具を用意し、卓上に一切の事務を執り得る近代的な執務方法。

デスマスク (Death-mask) 死面。死者の顔に蠟を當て、雌型を取り、これに石膏を流し込んで作つた面を云ふ。死人の面影を永久に残さんとする時に此れを作るもので、モスコのレーニン廟にはレーニンのデスマスクが安置されてゐる。

デスデー (Death-day) 命日。【例】今日は親父のデスデーだ。

デス——デス

デス——テン

デスアゴニー (Death-agony) 死苦。斷末魔。單にアゴニーとも云ふ。

デスストローク (Death-stroke) 致命的な打撃。デスウインドと同じ。

デスクテレフォン (Desk-telephone) 卓上電話。

デスクシステム (Desk-system) 卓上に有ゆる事務用具を用意し、卓上に一切の事務を執り得る近代的な執務方法。

デスマスク (Death-mask) 死面。死者の顔に蠟を當て、雌型を取りこれに石膏を流し込んで作つた面を云ふ。死人の面影を永久に残さんとする時に此れを作るもので、モスコのレーニン廟にはレーニンのデスマスクが安置されてゐる。

デスデー (Death-day) 命日。【例】今日は親父のデスデーだ。

デス——デス

デス——テン

デスアゴニー (Death-agonny) 死苦。斷末魔。單にアゴニーとも云ふ。

デスストローク (Death-stroke) 致命的な打撃。デスウインドに同じ。

テン (Ten) 十。十個。テンセンストア (Ten-sen-store) は十錢店、即ち十錢のものばかり賣る商店のことを云ふ。

テンパー (Temper) ① 性質。氣質。② 機嫌。心地。③ 鍛練。④ 調和す。調合す。

テンパイ (Ting-pai) 定牌。麻雀用語で上り待ちの状態にある時の事。

テンポ (伊語 Tempo) 拍子 (樂曲進行の速度)。進動の速度。舞踏に於ける調子。【例】ア・テンポ (a tempo) 此語は伊太利語にして「本來の速さに還る」の意でこの場合は其前に Rit (漸次遅くの意でリターダンドの略) や Accel (漸次早くの意でアクツェレランドの略) 等の記號がある。其他「物價下落のテンポが遅い」とか「時代のテンポは進む」等を廣く用ひらるに至つた。

テンポ・ルバルト (伊語 Tempo rubarto) 音楽家が其の演奏効果を上げるため一部では譜面上のテンポより緩やかに奏し、他の部分にて其の遅れたテンポを取返すことをいふ、尙ルバルトは本來「盗む」の意である。

テンポライジング・メジューアズ (Temporizing measures) 姑息手段。彌縫策。

テンポラリー (Temporary) 假の。一時の。當座の。

テンポ・プリモ (伊語 Tempo primo) 音楽の速度記號にて「本來の早さに還る」の意でア・テンポ (テンポの項参照) に同じ。

テンポ・コモド (伊語 Tempo Comodo) 音楽の速度記號にて「適當の早さで」の意。

テンペレート・ゾーン (Temperate zone) 温帯。地球を氣候上寒温熱帯の三に分ける。

温帯は南北の二帯あり、即ち南北各々二十三度半より六十六度半迄の間で、この地帯は大體氣候温和で最も人類の生活に適して居るから文明國は殆ど此の中にある。

テンペラ (伊語 Tempera) 一種の繪具(蛋白を練つて製す)。同上の畫法(書割描畫法)。

テンペラチュア (Temperatura) ① 温度。寒暖。② 体温。

テンペラメント (Temperament) ① 氣質。性格。② 調和。調整。

テンペランス (Temperance) ① 節制。自制。中庸。② 節酒。禁酒。

テ

テンペランス・ホテル (Temperance hotel) 酒類を一切出さぬ旅館の事。

テンペランス・ソサイエチー (Temperance society) 禁酒會。節酒會。

テンペランス・ムーブメント (Temperance movement) 禁酒運動。最近我國のテンペランス・ムーブメントは非常に盛んになつた。

テンペスト (Tempest) 大嵐。暴風雨。シエークスピアの著書にこの題のものがある。
テント (Tent) ① 天幕。野營用假屋。② 携帯用暗室。ダークテントとも云ふ。

デンチャー (Danger) 危険。尙デンチャーシグナル (Danger-signal) は危険信號の事。

デンチャーゾーン (Danger-zone) 危険地帯。コーナーフラッグ (同項参照) の附近は防備が不十分であるから斯く云ふ (ラグビー用語)。

デンチャラス・ソート (Dangerous thought) 危険思想。其時代の社會秩序に反對する思想をいふ、現在の資本家的社會にあつては特に共產主義思想をいふ。

デンチャラス・キャラクター (Dangerous character) 危険な性質。

デンチスト (Dentist) 齒科醫。尙デンチストリー (Dentistry) は齒科醫學。

テンドー (Tender) ① 柔なる。やさしい。② 世話人。看護人。番人。③ 提供。申込。

テンドーロイン (Tenderloin) ① 牛豚等の腰部の軟い肉をいふ。② 魔窟。

テンドーハーテッド (Tender-hearted) 心の優しい事。情深い。情に脆き。

テンドーパッション (Tender-passion) 戀愛。色情。パッションは熱情、戀情等の意。

デンタル (Dental) 齒の。齒科醫術の。尙デンタル・クリームは煉齒磨。

デンタルオフィス (Dental-office) 齒科治療院。齒科醫院。

テンドダンス (Tendance) ① 介抱。世話。② 附添。

テンツェル (獨語 Tanzler) 舞踏家。尙踊りはタンツ (Tanz) を云ふ。

テニヤード・ライン (Ten-yard line) ラグビー競技場にてハーフウエー・ライン (中央線) の兩側十碼の所に引いた線。

テニヤード・スクラム (Ten-yard scrum) ラグビーにてタッチライン (側線) より十碼のところで組むスクラム。

デンマルク (Denmark) 丁抹。面積約二千七千方里、人口約三百廿萬。歐洲の立憲王國

テン——デン

テン——アー

で首府はコペンハーゲン。

テンプトレス (Temptriss) ① 誘惑者。誘惑物。② 惡魔。尙テンプトは誘惑すの意。

テンダンス (Tendances) ① 介抱。世話。② 附添。

テンツェル (獨語 Tanzler) 舞踏家。尙踊りはタンツ (Tanz) を云ふ。

テンヤード・ライン (Ten-yard line) ラグビー競技場にてハーフウエー・ライン (中央線) の兩側十碼の所に引いた線。

テンヤード・スクラム (Ten-yard scrum) ラグビーにてタッチライン (側線) より十碼のところで組むスクラム。

デンマルク (Denmark) 丁抹。面積約二千七百万方里、人口約三百廿萬。歐洲の立憲王國

テン——デン

テン——アー

で首府はコペンハーゲン。

テンプトレス (Tempress) ① 誘惑者。誘惑物。② 惡魔。尙テンプトは誘惑すの意。

テンプル (Temple) 寺院。寺。殿堂。

テンプルガール (Temple-girl) 尼でありながら男を物色し禁制を犯すもの。

テンプテーション (Temptation) 誘惑。魔道。【例】都會のテンプテーション。

テン・コマンドメンツ (Ten commandments) 十誡。モーセがシナイ山に於て神より授つたと云ふ誠律。

テンデンツローマン (獨語 Tendenz-roman) 傾向小説。作者が自身の主義、思想を織込んだ小説を云ふ。

テンデンシー (Tendency) 傾向。趨勢。社會の風潮。

デンシトメーター (Densitometer) 濃度計。ドーンソンの考案にしてホートン社より發賣せる原板の印畫すべき濃度を計る器具。

テンシン (Tientsin) 天津。支那直隸省の省城、北支那第一の開港場。

ア

アー (Ah) 歡喜、苦痛、悲しみ、驚き、嫌惡等の感情を表す叫び聲。

アーバール (Arbour) ① 東屋。亭 (ちん)。② 棚 (藤棚の如きもの)。

アーバニチー (Urbanity) ① 優雅。都雅。上品。② 懇懃。

アーバナイズ (Urbanize) 都會化する。即ち町村が都會風に垢抜けした様になる事。

アーベント (獨語 Abend) 夕。晩。夕方より初まる催物、即ち「映畫アーベント」「映畫と舞踊の夕」等と云つた風に用ひてゐる。

アーベントリート (獨語 Abendlied) 夜の曲。セレナーデ (Serenade) に同じ。

アート (Art) 美術。技術。印刷所ではアートペーパーを略して單にアートと云ふ場合多し。尙マスター・オブ・アーツは英米の文學士である。

アートペーパー (Art-paper) 光澤紙。粗雑な生地の紙に白土を塗りつけこれをカレンダー (光澤機) に掛けて艶を出した西洋紙で寫真網目版の印刷に適し雑誌の口繪印刷等

ア

に多く用ひらる。尙これには色アート、艶消アート、片面、両面アート等がある。

アート・オブ・ライフ (Art of Life) 處世術。世渡りをする術。

アートターム (Art-term) 繪畫用語。美術用語。

アートタイトル (Art-title) これは映畫用語で美しく裝飾した字幕の事である。又近頃ウンシヤン (醜婦) が満艦飾に着飾る事にも用ひられる。

アートタイプ (Artotype) 阿膠版。寫真をコロタイプ風にした雅味ある印刷物。つや消して落ちついた感じがする。

アートグラフ (Artograph) 一八九一年オハイオ州クレバーランドのアムスタズ氏の發明にかゝり、電話線によつてスケッチ或は線畫を送る「電氣アートグラフ」及び「テレートグラフ」と呼ばるゝ自動的機械である。

アート・フォア・アート (Art for art) 「藝術の爲めの藝術」。藝術至上主義。藝術は人生の爲めの藝術でなくて、藝術そのもの、價值を保有すること云ふ、英國のオズカー・ワイルドや十九世紀中頃の佛國高踏派詩人等がこの代表である。

アートエグジビション (Art-exhibition) 美術展覽會。繪畫彫刻等の作品を陳列して一般人の鑑賞を求める會である。最近フランス語のサロンがよく用ひられてゐる、本場のフランスにはサロン・ドートンヌ、サロン・ド・アンデパンダン等、日本には帝展、院展、二科展等あり何れも美術シーズン秋に開かれる(サロン参照)。

アートディレクター (Art-director) 背景主任。美術監督。舞臺、小道具、背景、衣裳等演劇の美術的效果を指導する者をいふ。

アートギャラリー (Art-gallery) 美術館。美術品陳列所。

アーチ (Arch) 弓形門。綠門。祝賀會などの時建てる門で杉葉を主材とする。

アーチャー (Archie) 高射砲。航空機射撃砲。アーチボールド (Archibald) の略。

アーチリスト (Artiste) ① 藝術家。音楽家。舞踊家。俳優。② 技術家。理髮師。

アーチチョーク (Artichork) 朝鮮薊。野生薊より大きく、葉は野菜類中最大である。

アーチラリー (Artillery) ① 大砲。② 砲兵。砲兵隊。③ 砲術。

アーチウェイ (Arch-way) 弓形路。拱路。アーチ形の屋蓋を有する道路。

アー

アー

アーチクル (Article) ① 冠詞。A, an, the の三語。② 箇條。論說。記事。定款(會社の)。

アートギャラリー (Art-gallery) 美術館。美術品陳列所。
アーチ (Arch) 弓形門。綠門。祝賀會などの時建てる門で杉葉を主材とする。
アーチャー (Archie) 高射砲。航空機射撃砲。アーチボールド (Archibald) の略。
アーチスト (Artiste) ① 藝術家。音楽家。舞踊家。俳優。② 技術家。理髮師。
アーチチョーク (Artichork) 朝鮮蓴。野生蓴より大きく、葉は野菜類中最大である。
アーチラリー (Artillery) ① 大砲。② 砲兵。砲兵隊。③ 砲術。
アーチウェイ (Arch-way) 弓形路。拱路。アーチ形の屋蓋を有する道路。

アー

アー

アーチクル (Article) ① 冠詞。A, an, the の三語。② 箇條。論說。記事。
アーチクルズ・オブ・アソシエーション (Articles of association) 定款 (會社の)。
アーチャー (Archer) 弓術家。射手。
アーチャリー (Archery) ① 弓術。射法。我國でも一九三〇年の夏頃に突風の流行を見せ各所に矢場が出来たが、幾ばくもなくして人氣を失ひ急造的矢場の大部分は姿を消してしまつた。② 弓術家連。
アーチフィシャル (Artificial) 人造の。尙アーチフィシャル・フラワーは造花。
アーチフィシャル・バタ (Artificial butter) 人造バタ。牛脂、豚脂の軟かな部分を綿質油等で處理して製せるバタ。
アーチフィシャル・レッグ (Artificial leg) 義足。
アーチフィシャル・レスピレーション (Artificial respiration) 人工呼吸。假死者を蘇生せしむる方法。
アーチフィシャル・ネガティブ (Artificial negative) 人造原板。技巧的原板とも云ふ。
アーチフィシャル・ライト (Artificial light) 人造光線。
アーチフィシャル・ライト・フォトグラフ (Artificial light photograph) 人造光線寫眞。
アーチフィシャル・アイボリータイプ (Artificial ivorytype) 人造象牙印書。一八五七年メーヤルが作つた寫眞。鶏卵を硫化バリウムに混合し、紙上に糊を塗布して作りたる紙。之を乾燥せしめ焼付けて印書となす。
アーチフィシャル・アイス (Artificial ice) 人造氷。
アーチフィシャル・シルク (Artificial silk) 人造絹絲。人絹 (レーヨン参照)。
アーチフィシャル・セレクション (Artificial selection) 人為淘汰。ナチュラル・セレクションに對する語で人力により生物を淘汰する事である。近頃やかましく云はれて居る避妊等も人為淘汰と云ひ得る。
アーヂェント (Urgent) 緊急の。焦眉の。【例】失業問題は現在のアーヂェントな問題だ
アーヂェント・ネセシティー (Urgent necessity) 緊急の必要。【例】君百圓程貸して呉れないかれ、今アーヂェント・ネセシティーに迫られて居るんだが。

ア

アーヂェント・コンファレンス (Urgent conference) 緊急會議。【例】時局の急變に應ずる爲直ちにアーヂェント・コンファレンスを開催する事に決定した。

アーヂェント・モーション (Urgent motion) 緊急動議。【例】折角のアーヂェント・モーションも否決されて了つた。

アーヂェンタン (Argentan) 洋銀。銀によく似た一種の合金。

アーチギュー・プロセス (Artigue process) アーチギュー印書法。その發明者アーチギュー氏の名を冠したる炭素印書法の別法。

アーチスト (Artist) 藝術家。美術家。特に畫家に云ふ(アーチーリスト参照)。

アーチスチック (Artistic) 美術的。藝術的。【例】もつとアーチスチックに表現し給へ。

アーチスチック・フォトグラフ (Artistic photograph) 藝術寫眞。

アーチン (Urchin) ① 猬(はりねずみ)。② 海膽(うに)。③ 腕白子僧。惡戯ツ子。

アーチング (Arching) 競技用語で身体を弧狀にする事を云ふ。

アーリー・チャンテナー (Early chantenay) 佛國産人蔘。多く西洋料理に用ひらる。

アーリー・エヂュケーション (Early education) 早教育。普通は七八歳頃より正規の教育を初めるが、此の早教育は子供の智的傾向に隨つて二三歳頃より漸次教育を與へる、米國に於ては十五歳の少年がハーバート大學を卒業せし記録等もあるが、其の年齢、デリケートな頭腦等全ゆる方面に細心の注意を拂はれば非常なる惡結果を齎す。

アーリー・スノー・ボール (Early snow ball) 花椰菜(はなやさい)。米國種にして稍矮性、あたかも雪の球の如き形の花を有する故この名がある。

アール (Are) メートル法の面積單位、十米平方のことで我約一畝に當る。

アール (Art) 藝術。技術。英語のアートに當る。

アールベルグ・スキー・テクニク (Arlberg ski technik) ハンネス・シュナイダー氏一派の新興スキー術で踞身滑降等の特徴を有し「實際的スキー術」として知られて居る。

アール・ヌーボー (Art nouveau) 新藝術の意にして十九世紀末より二十世紀初頭にかけて主として佛國に流行した建築工藝の新様式である。これは當時の自然主義が建築工藝の上に反映したものであつて、其故に又セセッションの構造的な直線の多い

アー

アール (Are) メートル法の面積單位、十米平方のこゝで我約一畝に當る。
アール (佛語 Art) 藝術。技術。英語のアートに當る。
アールベルグ・スキー・テクニク (Arberg ski technik) ハンネス・シュナイダー氏一派
の新興スキー術で躡身滑降等の特徴を有し「實際的スキー術」として知られて居る。
アール・ヌーボー (佛語 Art nouveau) 新藝術の意にして十九世紀末より二十世紀初頭
にかけて主として佛國に流行した建築工藝の新様式である。これは當時の自然主義が
建築工藝の上に反映したものであつて、其故に又セセッションの構造的な直線の多い

アー

アー

のに比して、此様式は淡い色彩や自然的な曲線によつて構成されてゐる。

アール・シー・エー・フォトフォン (R. C. A. Phonophone) 米國のアール・シー・エー會社
(Radio Corporation of America) 製のトーカー撮影機のもので、フィルム・システム・ト
ーカー及びディスク・システム・トーカーがある (各項参照)。

アーガンドランプ (Argand-lamp) 瑞西人アーガンドの發明した光輝の特に強い中空圓
筒の石油ランプ。

アーダー (Ardour) ① 熱情。情熱。② 炎熱。高熱。

アーネスト (Earnest) ① 熱心なる。眞面目なる。誠實なる。② 保證手附。

アーネストマネー (Earnest-money) 手附金。保證金。

アーム (Arm) ① 腕。ひぢかけ。② 腕木。③ 手腕。權力。④ 兵器。兇器。

アーム (佛語 Ame) ① 靈魂。生命。② 中樞。中心。

アーム・イン・アーム (Arm in arm) 「お手々つないで」、「腕を組み合せて」の意で近頃
盛んに用ひられてゐる。「ヘーブメントを行くアーム・イン・アームの青春男女の如何
に朗らかな事よ」といつた調子である。

アームチェア (Arm-chair) 肘掛椅子。安樂椅子。

アームズ (Arms) ① 施し。救恤。② 喜捨金。賽錢。尙アームズ・ディードは慈善の意。

アームストロング (Armstrong) 英國の工學技師 (西紀一八一〇年生。一九〇〇年歿)。
水力機械及び大砲 (アームストロング・ガン)、蒸氣起電機等を發明す。一八六二年に
はケンブリッジ大學よりエル・エル・ディー (L. L. D.) の學位を贈られた。

アームズチェスト (Arms-chest) ① 慈善箱。救恤金を集める爲に置く箱。② 賽錢箱。

アームズマネー (Arms-money) 義捐金。救恤金。

アーヴィアチック (獨語 Aviatik) 獨逸軍用飛行機的一種。

アーク (Arc) 電弧。弓形。

アーク (Ark) 箱。箱舟。就中ノアス・アーク (ノアの箱舟) はよく知られてゐる。

アークトチス (Arctotis) 西洋草花の一種。高さ約二尺、葉は菊に似て、花は一重でマ
ーガレットに似た大輪花で六七月頃に開く。

ア

アークチック (Arctic) ① 北極。② 北極圏。アークチック・サークルともいふ。

アークチック・オーシャン (Arctic ocean) 北氷洋。北極圏内にある海を云ふ。

アークチック・エクスペディション (Arctic expedition) 北極探検。

アークライト (Arkwright) 英國の綿業家で紡績機械發明者 (西紀一七三二年生。一七九二年歿)。

アークランプ (Arc-lamp) アーク燈。寫眞焼付又は映畫などに用ひらる、これは二箇の

炭素棒に電流を通じ、引離して置き火花を發せしめ強力な光を生ぜしめるものである

アークウエルディング (Arc-welding) 電弧溶接法。電流を通じて金屬を溶接する方法。

アergus・カメラ (Argus camera) 豆寫眞器。軍港、要塞地等や、人を訪問した時秘密に

撮影する掌中用の小さい寫眞器で、歐米の新聞記者はよくこれを所持してゐる。尙ア

ergusはギリシヤ神話にてオリンパス山の番人たる百眼を有する神の名である。

アーマー (Armour) ① 装甲。甲鐵。② 甲冑。鎧。③ 紋章。

アーマード・クルーザー (Armoured cruiser) 装甲巡洋艦。

アーマード・モーター (Armoured motor) 装甲自動車。尙アーマード・トレイン (— train) は装甲列車。

アーマチュア (Armature) 電動子又は發電子。即ち電動機、發電機等の場磁石の間にあつて電氣を通じて廻轉する力を起したり、電氣を起したりする部分の事である。

アーマチュア・コア (Armature core) 發電子鐵心。發電子線輪の中心となる薄鐵板層。

アーマリー (Armoury) ① 武器庫。造兵廠。② 武器。③ 兵器工場。

アーマダ (西語 Armada) ① 艦隊。② 無敵艦隊 (スペインの)。一五八八年英國を襲撃したが反つて大敗した。

アーマメント (Armament) ① 軍備。武装。② 戦闘力。武力。③ 兵器。

アーケード (Arcade) ① 長いアーチ形になつた廊下や地下道の通路を云ふ。② 屋根覆

付商店街。仲道店。一定地域に軒を並べた小賣店が街路上空に兩側から布や硝子を張

つて日屋根をつくり顧客に好感を起さしめるやうにした設備をアーケードと云ふ。尙

アーケード・システム (Arcade system) はかかる設備をなした販賣組織を云ふ。

アー

アー

アーケード・ストア (Arcade store) アーケードを形成して居る商店を云ふ。

アーケード (Arcade) ① 古風の。② 古風な。原始的な雅趣ある事。

アーマリー (Armoury) ① 武器庫。造兵廠。② 武器。③ 兵器工場。

アーマダ (西語 Armada) ① 艦隊。② 無敵艦隊 (スペインの)。一五八八年英國を襲撃したが反つて大敗した。

アーマメント (Armament) ① 軍備。武装。② 戦闘力。武力。③ 兵器。

アーケード (Arcade) ① 長いアーチ形になつた廊下や地下道の通路を云ふ。② 屋根覆付商店街。仲道店。一定地域に軒を並べた小賣店が街路上空に兩側から布や硝子を張つて日屋根をつくり顧客に好感を起さしめるやうにした設備をアーケードと云ふ。尙アーケード・システム (Arcade system) はかゝる設備をなした販賣組織を云ふ。

アー

アー

アーケード・ストア (Arcade store) アーケードを形成して居る商店を云ふ。

アーケイック (Archaic) ① 古代の。② 古風な。原始的な雅趣ある事。

アーフル (佛語 Affres) 苦惱。【例】彼の一生は實にアーフルそのものであつた。

アー・デー・ゲー・ビー (Allgemeiner Deutscher Gewerkschaft Bund の略) 獨逸労働總同盟。一八九〇年社會民主黨の指導下にベルリン大會で組織されたものにして大戰の勃發と共に急激に右翼化し現在アムステルダム・インターナショナルに屬す。

アーデル (獨語 Adel) ① 高貴。② 貴族。門閥家。

アーキペラゴ (Archipelago) ① 群島。② 多島海 (小島の點在する海)。

アーキオロヂー (Archaeology) 考古學。古代の遺物、遺跡等を研究して原始時代の人類を明らかにせんとする學問。尙アーキオロヂストは考古學者。

アーキテクト (Architect) ① 建築家。建築技師。設計者。② 開拓者。成功者。

アーキテクチュラル・フォトグラフイー (Architectural photography) 建築物寫眞術。

アーキテクチュア (Architecture) ① 建築術。建築學。② 建築法。③ 構造。造營。

アーギュメント (Argument) 議論。論證。證明。フルートレス・アーギュメントは水掛論
アーメン (Amen) 基督教徒が祈禱の終りに唱へる語で「心願如是」の意。この原語は
ヘブライ語で「確かに」と云ふ意である。

アーミー (Army) 陸軍。軍隊。尙スタンディング・アーミーは常備軍、リザーブ・アーミーは豫備軍の意である。

アーミーブローカー (Army-broker) 陸軍御用商人。

アーミスチス・デー (Armistice day) 休戦記念日 (十一月十一日)。五年に亘つて歐洲の天地を黒煙化した歐洲大戰は一九一八年十一月十一日に休戦となつたので世界人類の平和と幸福のためにこの日を休戦記念日としてゐる。

アーシニック (Arsenic) 砒素。As 原子量七四・九六。灰白色、金屬光澤を有する脆き固体で、他の金屬に混することその硬度を増す故散彈の製造の際鉛中に約〇・五%を混す
アーシニアス・アシッド (Arsenious acid) 亞砒酸。白色透明の片で劇藥である。鼠等を殺すに用ひらる。

ア

- アーシナル (Arsenal) ① 兵器廠。② 造兵廠。尙ネーバル・アーシナルは海軍工廠。
 アービトレーター (Arbitrator) ① 仲裁人。② 裁決者。判決者。決定者。
 アービトレーション (Arbitration) ① 仲裁。仲裁裁判。② 裁定。③ 調停。
 アービトレーション・トリートリー (Arbitration treaty) 仲裁條約。
 アース (Earth) ① 地。地球。② ラヂオの地下線。③ 接地 (電氣用語)。
 アースインダクター (Earth-inductor) 地氣誘電子。電氣を地中へ誘導する装置。
 アースロード (Earth-road) 舗装せずに土を其儘固めた道路。
 アースボーアラー (Earth-borer) 檢土器。土地を深く掘り下げて土質を檢査する器械。
 アースナット (Earthnut) 落花生。所謂南京豆の事である、又これより絞つた油をアー
 スナット・オイルと云ふ。
 アースクエイク (Earth-quake) 地震。尙アースクエイク・センターは震源地の意。
 アースマグネチズム (Earth-magnetism) 地磁氣。
 アースメタル (Earth-metal) 土金屬。アルミニウム等の如き軟かい金屬を云ふ。
 アースン・ウェア (Earthen ware) ① 土器。土で製した器具。② 陶器。
 アーン (Earn) 儲ける。稼ぐ。取得する。
 アーンニューイ (佛語 Ennui) 無聊。アーンニューイとも云ふ (同項参照)。
 アーンド・ラン (Earned run) 野球で安打又は四死球を得て出塁したものが、盗塁、投手
 の暴投又はボークにより或は次打者の安打、犠打、四死球によつて得點した事を云ふ
 敵のエラーに乗じて得點せる時はアーンド・ランではない。
 アイ (Eye) ① 目。② 眼識。③ 眼附。
 アイロニー (Irony) 反語。皮肉。いやみ。賞讃や禮儀の陰に隠れて相手を嘲弄、諷刺す
 る事である。これは非常に辛辣な効果がある。
 アイロン (Iron) 尉斗 (ひのし)。アイアンの訛 (同項参照)。
 アイロン・レーションズ (Iron rations) 非常携帯行糧。牛肉罐詰、堅パン、チャム及び茶等。
 アイホール (Eye-hole) ① 眼孔。② のぞき穴。
 アイボリー (Ivory) ① 象牙。② アイボリー紙。上質の紙で日本では名刺用紙の最上と
 して愛用されてゐる。③ 蓄音機の「象牙の針」。これは動物の角質にて作つたもので

アイ——アイ

アイ (Eye) ① 目。② 眼識。③ 眼附。

アイロニー (Irony) 反語。皮肉。いやみ。賞讃や禮儀の陰に隠れて相手を嘲弄、諷刺する事である。これは非常に辛辣な効果がある。

アイロン (Iron) 尉斗 (ひのし)。アイアンの訛 (同項参照)。

アイロン・レーシヨンス (Iron rations) 非常携帯行糧。牛肉罐詰、堅パン、チャム及び茶等。

アイホール (Eye-hole) ① 眼孔。② のぞき穴。

アイボリー (Ivory) ① 象牙。② アイボリー紙。上質の紙で日本では名刺用紙の最上と

アー——アイ

アイ

して愛用されてゐる。③ 蓄音機の「象牙の針」。これは動物の角質にて作つたもので竹針と同様にレコードを痛める事なく然かも一本にて數回の使用に堪え、先が磨滅すれば紙やすりにて研ぎ結局一本で百回近く使用し得られる。又雑音は無く音は鋼針よりも小さいがソフト・トーンの特殊の効果がある。

アイボリー・タワー (Ivory tower) 象牙の塔。セントブウブがキニーを批評した時用ひた語で生來、詩的精神の豊かな人は近代の物質文明がなくなり出した索莫たる乾燥無味の實利的生活に對して不満である、そこで現代生活を離脱せんとする情が盛になり現實を超越して詩美の郷を求めんとする、こゝを指して「象牙の塔」又は「藝術の宮」と呼ぶのである。近頃「象牙の塔より出でよ」等と云ふ事を聞くが、これは現實をはなれたユートピア藝術より、もつと實社會に近づき寫實的な藝術を作れと云ふ意味である。

アイベツト・ユー (I bet you) 「僕は君に賭ける」の意で非常な自信を示す時用ふる語である。續けて發音すればアイベツチューである。

アイドル (Idol) ① 偶像。邪神像。② 崇拜せらるゝ人又は物。【例】貴女は僕のアイドルです。③ 謬見。

アイドル (Idle) ① 怠惰なる。無性なる。② 閑散の。

アイドルプリー (Idle-pulley) 滑車。ベルト (調革) で廻る機械を止める爲、ベルトを空廻りさせるプリーの事。

アイドルシステム (Idle-system) 資本家の不況時代に於ける工場管理法の一。即ち不況は生産過剰に基くが爲不況時には商品生産を制限しなければならぬ、斯かる時資本家はストライキを防止する爲、露骨な鹹首を避けて休日の増加、労働時間の減少及びこれに伴ふ勞賃の低下等の方法によつて不況を切り抜けやうとする。斯かる方法をアイドルシステムと云ふのである。

アイドラー (Idler) ① 怠惰者。なまけもの。② 直外員。軍艦にて水兵、機關兵以外の下士卒で當直せぬ者を云ふ。

アイドライズ (Idolize) ① 偶像に祀り上げる。② 非常に崇拜し又は愛する。

ア

アイリッシュ・ワーク (Irish work) 白地に白糸でなす刺繡。愛蘭で廣く行はれてゐる。

アイリッシュ・デージー (Irish daisy) たんぽぽ (蒲公英)。ダンテライオンとも云ふ。

アイリス (Iris) ① 虹色。虹彩。② 鳶尾科植物。多年生球根にしてあやめ、花菖蒲、か

きつばた等の類である。高さ約二尺、四五月頃開花す。

アイリスイン (Irish in) 映畫用語で「絞開」。最初畫面の中央より丸く場面が現れて段々
擴まつて行く事 (略語 I・I)、此の反對はアイリス・アウトである。

アイリスアウト (Irish out) 映畫用語で「絞閉」の意。アイリスインの反對で場面が段々
絞られて小さくなり遂には暗黒になる事を云ふ (略語 I・O)。

アイルランド (Ireland) 愛蘭。英國の一部で愛蘭自由國と北部愛蘭とに分れてゐる、愛
蘭自由國は島の大部分を占めてゐるが、文化が低く古來本國人と融和せぬ爲カナダと
同様な自治政府を組織し大統領を置いてある、首府はダブリン市。

アイ・オー・ユー (I owe you) 借用證。負債。「私は貴君に支拂ふ義務がある」、即ち「正
に借用した」の義で I. O. D. と略される (商業用語)。

アイ・ダブリュー・ダブリュー (Industrial Workers of the World の略稱) 世界産業労働
者同盟。即ち革命的サンヂカリズムを指導精神とする米國の労働團體で、主として不
熟練労働者を産業別、地方別に組織し、一九〇五年シカゴに創立されたものである。
I. W. W. は一切の政治闘争を否定しストライキ戦術のみを固執したので現在では衰
微してゐる。尙指導者ヘイ・ウッドは後に共産主義者となつた。

アイレット (Islet) ① 小島。離れ小島。② 離在地。

アイソレート (Isolate) ① 隔離す。絶縁す。② 孤立す。③ 遊離せしむ。

アイソレーター (Isolator) ① 隔離者。② 絶縁体。碍子。

アイソレーション (Isolation) ① 隔離。絶縁。② 孤立。單獨。③ 遊離 (化學用語)。

アイソレーション・ホスピタル (Isolation hospital) 避病院。傳染病患者を隔離する爲收
容する病院。

アイラブ・ユー (I love you) 「私はあなたを愛します」。即ち求愛の言葉で青年男女の
間によく口にされる。

アイ

アイ

アイルランド (Island) ① 島。② 安全地帯 (交通頻繁な道路上の)。

アイレット (Islet) ① 小島。離れ小島。② 離在地。
アイソレート (Isolate) ① 隔離す。絶縁す。② 孤立す。③ 遊離せしむ。
アイソレーター (Isolator) ① 隔離者。② 絶縁体。碍子。
アイソレーション (Isolation) ① 隔離。絶縁。② 孤立。單獨。③ 遊離 (化學用語)。
アイソレーション・ホスピタル (Isolation hospital) 避病院。傳染病患者を隔離する爲に
容する病院。
アイラブ・ユー (I love you) 「私はあなたを愛します」。即ち求愛の言葉で青年男女の
間によく口にされる。

アイ

アイ

アイランド (Island) ① 島。② 安全地帯 (交通頻繁な道路上の)。
アイランドケース (Island-case) 商品陳列箱の一種。直譯は「島の箱」でつまり壁の側
に置くのでなく店内の真中に置く陳列箱の事である。
アイウォッシュ (Eye-wash) ① 眼薬。洗眼薬。② べてん。
アイグラゼス (Eye-glasses) ① 望遠鏡。② 持眼鏡。鼻眼鏡型で手に持つて見るもの。
普通の眼鏡はスベククルズといふ。
アイグラス・マスク (Eye-glass mask) 眼鏡を保護する爲に用ひるマスクの事。
アイグン (Aigun) 愛輝。黒龍江の中流に沿ひ、西比利亚に對する國界の要地。
アイコルニア (Eichornia) 布袋草。ウォーター・ヒアシンスとも云ふ。
アイコノクラスト (Iconoclast) 偶像破壊者 (アイコノクラズム参照)。
アイコノクラズム (Iconoclasm) 偶像破壊。偶像破壊主義。偶像と云ふのは人や禽獸其
他グロテスクな物を形どつた像で、これを崇拜する事を偶像崇拜と云ふ。此の偶像崇拜
に反對するのがアイコノクラズムである。又一切の傳統や迷信的な思想や偉人の偶像
的崇拜を打破するのもアイコノクラズムである。
アイコン (Icon) 聖像。ギリシヤ教寺院或は其教徒の祀る像。
アイ・エー・ティー・ビー (I. A. T. B.) 國際労働者劇場同盟。プロレタリア演劇運動の國
際的結成體で、一九二九年十二月創立準備會が開催された、この時の參加國はソウエ
ート・ロシア、獨逸、チエッコスロバキアの三ヶ國に過ぎなかつたが一九三〇年六月モ
スコに開かれた第一回代表者會議には、十ヶ國の代表者が集り現在では二十ヶ國を
超え、活潑な運動をなしてゐる。
アイ・エフ・ティー・ユー (I. F. F. U.) アムステルダム・インターナショナルの略稱。
アイ・ティー・エフ (I. T. F.) 國際運輸労働組合聯盟。この聯盟の參加團體は世界三十五
ヶ國の運輸交通労働團體百十組合、組合員總數二百二十七萬に及ぶ最右翼の労働團體
アイディリスト (Idyllist) ① 田園詩人。② 田園畫家。
アイディル (Idyll) ① 田園詩。牧歌。② 叙事詩。
アイデア (Idea) ① 觀念。思想。② 考。想像。着想。③ 意思。目的。

ア

アイデアリスト (Idealist) ① 理想主義者。② 観念論者 (次項参照)。
 アイデアリズム (Idealism) 観念論。唯心論。即ち観念を宇宙の本源なりとする哲學で
 プラトンよりカント、フイフテ、ヘーゲル、リッケルト等はこれに屬す。此派は「思惟
 と實在」の問題に於て「思惟 (観念) が實在 (物質) を規定する」をなし宇宙の全ての
 現象を思惟によつて説明せんとするのである。これに對するものは唯物論である (マ
 テーリアリズム参照)。

アイデアル (Ideal) ① 理想。空想。② 理想の。申分のない。③ 観念の。想像の。
 アイデアライズ (Idealize) 理想化する。観念化する。

アイデア・エンド・コンセプション (Idea and conception) 理想と概念。

アイデンチック・ノート (Identie note) 同文通牒。一國が或一つの問題に付いて各國に
 發する同文の通牒を云ふ。

アイアン (Iron) ① 鐵。鐵器。② アイロン。③ ゴルフの棒。④ 堅忍不拔。

アイアンロー (Iron-law) ① 鐵則。② 賃銀鐵則。正統派經濟學者リカルドの賃銀説を
 基礎として獨逸のラッサールの唱導せし理論。賃銀は他の一般商品と同様に需要供給
 の法則に支配され労働人口を増減する事なき範圍では生活を維持し子孫を養ふに足
 るだけの價格である、故に労働人口が増大すれば賃銀は低下し結婚難と榮養不良によ
 り労働人口は減少し、賃銀は再び高くなり生活水準の向上と共に人口が増大し再び賃
 銀が低下する。賃銀は斯かる鐵則に支配され、たゞへ名目賃銀は増加しても物價騰貴
 のため相殺されて實質賃銀は常に下落すると説く。リカルドは其の賃銀説にて労働者
 は自ら労働人口の制限を行ふ外その福利を維持増進することは出来ぬといつてゐる、
 此れに對しマルクスは労働の商品性即ち賃銀制度其のものを揚棄するによつて初め
 て労働者はこの賃銀鐵鎖を斷ち切ることを得るといつてゐる。

アイアンハート (Iron-heart) 鐵石心。堅い決心。アイアンウイルとも云ふ。

アイアンオクサイド (Iron-oxide) 酸化鐵。酸素と鐵とが化合したものを云ふ。

アイアンワークス (Iron-works) ① 鐵工所。② 製鐵所。

アイアンクラッド (Ironclad) ① 装甲の。甲鐵の。② 装甲艦。

アイ

アイアンマン (Iron-man) ① 鐵工。② 鐵腕の人。鐵腕投手。

アイアンファウンドリー (Iron-foundry) ① 製鐵所。② 鑄鐵所。

アイアンエージ (Iron-age) ① 鐵器時代。人類の原始時代に於て鐵及び其の用法が発見

は自ら労働人口の制限を行ふ外その福利を維持増進することは出来ぬといつてゐる、此れに對しマルクスは労働の商品性即ち賃銀制度其のものを揚棄するによつて初めて労働者はこの賃銀鐵鎖を斷ち切ることを得るといつてゐる。

アイアンハート (Iron-heart) 鐵石心。堅い決心。アイアンウイルとも云ふ。
アイアンオクサイド (Iron-oxide) 酸化鐵。酸素と鐵とが化合したものを云ふ。
アイアンワークス (Iron-works) ① 鐵工所。② 製鐵所。
アイアンクラッド (Ironclad) ① 装甲の。甲鐵の。② 装甲艦。

アイ

アイアンマン (Iron-man) ① 鐵工。② 鐵腕の人。鐵腕投手。

アイアンファウンドリー (Iron-foundry) ① 製鐵所。② 鑄鐵所。

アイアンエーヂ (Iron-age) ① 鐵器時代。人類の原始時代に於て鐵及び其の用法が發見せられ、漸く鐵器が作られるに至つた時代で、石器青銅時代の進歩した時代である。

② 黒鐵時代、ゴールドン・エーヂの反對で世の中が頽廢して沈滞し切つた時代を云ふ。

アイアンピッチャー (Iron-pitcher) 鐵腕投手。アイアンマンとも云ふ。即ち野球にて鐵の如き頑丈な肩を持つ投手の事である。【例】アイアンピッチャー宮武プレートに立つ
アイサービス (Eye-service) 陰日向ある働き。人の見てゐる時だけは熱心に働く事。

アイサイト (Eye-sight) ① 視力。眼界。② 觀察。

アイ・キュー (I. Q.) 智能指數。素質の善惡を示す指數でメンタルテスト用語である、又此指數は智能年齢を普通の年齢で割り百分比で表はしたものである。

アイ・シー・フォ・ユー (I. C. 4A=Inter-Collegiate American Amateur Athletic Association) 米國學生陸上競技會の略稱。

アイショット (Eye-shot) ① 一瞥。【例】物凄くアイショットを與へた。② 眺望。

アイシェード (Eye-shade) 光線除けの眼庇。普通セルロイド製にて庭球をやつたり、事務を執る時等によく用ひられてゐる。

アイ・ピー・アール (Institute of Pacific Relations の略) 太平洋問題調査會の略稱。

アイス (Ice) ① 氷。② 氷は高利と同音であり、又アイスクリーム(氷菓子)は高利貸に通ずる、で高利貸の事にも云ふ。其冷い事も亦同じである。

アイスバーグ (Ice-berg) 冰山。極地や寒帯地方の海に流れてゐる大きな氷塊を云ふ。

この冰山は其全容積の僅か七分の一位しか海上に現はして居ないので、大汽船等でこれに衝突し悲惨な結果を見る事が多い。轉じて冷淡無情の人。

アイスハウス (Ice-house) ① 冷蔵庫。② 貯氷所。氷室。

アイスボート (Ice-boat) ① 氷上滑走船。② 碎氷船。

アイスボックス (Ice-box) 普通一般に云ふ冷蔵庫はこれであつて主として食料品を冷蔵する。尙アイスチェスト (Ice-chest) とも云ふ。

ア

アイスホッケー (Ice-hockey) 氷上ホッケー。爽快なウィンター・スポーツの一。六人宛二組に分れスケートを履き縦二百尺横七十尺位の氷上リンクの上で行ふ。其方法はホッケーステイック (先が曲つたもの) でゴム盤をゴールへ打ち込むのである。

アイスベースボール (Ice-baseball) 氷上を滑り乍ら行ふ野球を云ふ。

アイスドリフト (Ice-drift) 流氷。アイスバークとも云ふ (同項参照)。

アイスリンク (Ice-rink) スケート場。スケーティング・リンク又は單にリンクとも云ふ。

アイスヨット (Ice-yacht) 氷上ヨット。氷上を滑走する様帆を張つたボート。

アイスダンス (Ice-dance) 氷上の舞踏。冬季スケート場等でモボ、モガ諸君が氷上で享樂するダンスを稱して斯く云ふ。

アイスランド (Iceland) 北大西洋上の火山島。全島火山よりなり間歇泉が多い、氣候は寒冷で、丁抹王を君主として自治政府を立て、ある。

アイスクリーム (Ice-cream) クリームにミルク、鶏卵、砂糖、香料等を加へこれを凍らした夏の食品である。材料は其他種々ありてそれによつて種々のアイスクリームがある。即ちヴァニラ・アイスクリーム (ヴァニラのエキスを加ふ)、チョコレート・アイスクリーム (チョコレートを入れる)、フルーツ・アイスクリーム (果實を入れる)、ナット・アイスクリーム (色々な堅果を用ふ) 等の如きである。

アイスクリーム・パーラー (Ice-cream parlour) 軽い飲料、就中アイスクリームを主として賣る店の事で、現在では一般清涼飲料店の事にも云ふ。

アイスクリーム・フリーザー (Ice-cream-freezer) アイスクリーム冷却器。

アイスフィッシュ (Ice-fish) 白魚。【例】ピアノのキーを打つ彼女のあのアイスフィッシュの如き手には非常な魅惑を感じる。

アイスブレイカー (Ice-breaker) ① 砕氷船。② 砕氷装置。冬季凍結せる海を行く船の前部に取付けて氷を砕く装置。

アイスエーヂ (Ice-age) 氷河時代。太古ヨーロッパ及びアメリカ北部が氷河に閉されてゐたので、その時代をアイスエーヂと云ふ。

アイスアックス (Ice-axe) 一種の登山用の斧。登山者が氷に足掛りを作るに用ふる斧。

アイ

アイ——アハ

アイスクャンデー (Ice-candy) 氷菓子。圓形の棒状で、子供相手の菓子の一種。これは

アイスクリーム (Ice-cream) 白魚。【例】ヒアノのキヲを打つ彼女のアイスクリーム

の如き手には非常な魅惑を感じる。

アイスブレイカー (Ice-breaker) ① 砕氷船。② 砕氷装置。冬季凍結せる海を行く船の前部に取付けて氷を砕く装置。

アイスエーヂ (Ice-age) 氷河時代。太古ヨーロッパ及びアメリカ北部が氷河に閉されてゐたので、その時代をアイスエーヂと云ふ。

アイスアックス (Ice-axe) 一種の登山用の斧。登山者が氷に足掛りを作るに用ふる斧。

アイ

アイ——アハ

アイスクャンデー (Ice-candy) 氷菓子。圓形の棒状で、子供相手の菓子の一種。これは砂糖水を凍して固めたものである。

アインパール (獨語 Ein-par) 「一對、夫婦」の意。一組の男女或は夫婦の意である。

英語のA-cuppl (A couple) に同義。

✓ **アインシュタイン** (Albert Einstein) 獨逸の理學博士で相對性原理の發見者(西紀一八七九年生)。其理論の難解なる事は世界に七人しかこれを理解し得ないを云ふ位で非常に難解の事を云ふ様になつた。【例】どうも判らんない、此許りはアインシュタインだ。

アロー (Arrow) ① 矢。② 矢印 (→)。

アロールト (Arrowroot) 阿羅々根。各種の植物より得たる純澱粉。葛、片栗も同質にして、感光を興ふる前紙の下引或は糊料として使用する。

アローワンス (Allowance) ① 手當。尙退職手當はリタイアリング・アローワンスと云ふ。② 承認。③ 餘裕。

アロイ (Alloy) 合金。二種以上の金屬を化合せしめて新たに作つた金屬を云ふ。普通合金の硬度はその成分なる金屬の硬度より大である、例へば金貨(金と銅の合金)、銀貨(銀と銅)はいつれも金、銀よりも硬い。

アロトロフ (Allotrope) 同素体。金剛石と石墨が等しく炭素よりなる如く同一元素よりなりながら性質の異なる単体を斯く云ふ。

アロットメント (Allotment) ① 割り當て。分配。配當。② 運。天命。

アロマ (Aroma) 香氣。芳香。草花等の發する香を云ふ。

アロマチーチェスキー (露語 Aromaticeskii) 芳はしき。香氣ある。【例】此れは實にアロマチーチェスキーな香水だね。

アロンヂ (Allonge) 證書又は手形等の附箋。裏書。

アロンヂペーパー (Allonge-paper) フロンセ紙(荒目手瀝紙)。クレヨン畫を印刷にて再製するに用ふ。

アロングシヨアマン (Alongshore man) 仲仕。波戸場人足。海岸の住民。

アハ (Aha) 歡喜、驚愕、輕蔑等の感情を表す叫び聲。

ア

アパート (Apartment) ① 別々に。分れて。② アパートメントの略。近來「××アパート」等が現はれ盛んに獨身男女の利用をすゝめてゐる、その宣傳語に「獨身者の樂園××アパート」がある。

アパートガール (Apartment-girl) アパート住ひの女を指して斯く云ふ、職業婦人が多い。
 アパートメント (Apartment) 文化式共同住宅。一建物に數十乃至數百の家族が居住し簡易に生活し得るやうに出來た建築物で、悪く云へば西洋下宿、モダン長屋である。又割貸間の意もある。

アパートメント・ハウス (Apartment house) アパートメントに同じ。

アパートビルディング (Apartment-building) アパートの建物の事。アパートビルとも云ふ。

アパーチャ (露語 Apatia) 冷淡。無感覺。

アバニー (佛語 Avanie) 侮辱。無禮。

アバドン (Abaddon) ① 地獄。奈落。② 惡魔。惡鬼。

アパリション (Apparition) ① 突然出現するもの。② 映畫にては突然シーンに入る物を云ふ。③ 幽靈。化物。まぼろし。

アバカス (羅語 Abacus) 算盤。そろばん。

アバタ (梵語 Arbuda の轉訛) 痘瘡。天然痘の癒つた後顔に残る痕。

アパレータス (Apparatus) ① 器械。器具。② 装置。

アブレージ (Average) 及び此れを冠せる語はアブレージの項を見よ。

アバットマン (佛語 Abatement) ① 衰弱。衰退。② 落膽。失望。

アバッシ (露語 Abassi) 露西亞の貨幣(銀貨)で二十コベック。一ルーブルの五分の一。

アパッシュ (佛語 Apache) 花の都パリの無頼漢。所で無頼漢と云ふもの、まあ地廻りも云つた不良の一團である。映畫によく出て來る様にネッカチーフを首に巻き、ピストルや短刀等の怖し道具を持つてカフェーや酒場を荒し廻り、飲んで踊つたり、暴れたりする程度の惡漢で一面仲々愛嬌にも富んで居る。

アパッシュダンス (佛語 Apache-dance) 巴里の觀樂境モンマルトルの酒場でアパッシュが踊る荒つぽいダンスである。勿論低級なダンスではあるが、此の荒つぽい所が刺戟を

アパ

アバ——アニ

求める近代人士の意氣に投じたものか、最近では社交ダンスとして廣く流行して居る

アパッチ (佛語 Apache) 花の都パリの無頼漢。所で無頼漢と云ふもの、まあ地廻り云つた不良の一團である。映畫によく出て来る様にネッカチーフを首に巻き、ピストルや短刀等の怖し道具を持つてカフェーや酒場を荒し廻り、飲んででは踊つたり、暴れたりする程度の悪漢で一面仲々愛嬌にも富んで居る。

アパッチダンス (佛語 Apache-dance) 巴里の觀樂境モンマルトルの酒場でアパッチが踊る荒つばいダンスである。勿論低級なダンスではあるが、此の荒つばい所が刺戟を

アパ

アバ——アニ

求める近代人士の意氣に投じたものか、最近では社交ダンスとして廣く流行して居る

アバランシユ (佛語 Avalanche) ① 雪崩。② 突然襲來せる者。

アバブライス (Above-vice) 金で買ひ得ぬ。【例】健康はアバブライスな寶玉だ。

アバブ・メジヤ (Above-measure) 米國の俗語で「素的に」、「馬鹿に」の意。

アバンドンメント (Abandonment) ① 遺棄。放棄。② 廢止。③ 熱中。

アバンチュール (佛語 Aventure) 冒險、波瀾等の意で英語のアドベンチュアに當る。北極探險とかアフリカの虎狩りと云つたのは勿論アバンチュールであるが、近頃ではウソと軟い意味に用ひられ、エロハンチングや魔窟探検等もアバンチュールと云ふのである。

アバングルド (佛語 Avant-garde) ① 前衛。普通共產黨、及び其黨員をプロレタリア前衛と云ふ。一般には勞動運動に於て私利を省みず自己を犠牲にして階級闘争を指導して行く人の事を云ふ。② (Film d'avant-garde) 前衛映畫。但し此れはプロレタリア映畫の意味の前衛ではない、即ち藝術の尖端を行くと云ふ意味の前衛で、全然興行價値を問題にせぬ純粹の藝術至上主義映畫である、此の運動はフランスのマンシー等が中心となつて居る、トーキー出現以來此の運動は下火となった。

アバンドント (Abundant) 豊富なる。澤山の。尙アバンドント・イヤーは豊年の意。

アバンドانس (Abundance) 豊富。夥多。潤澤。

アニバーサリー (Anniversary) ① 記念日。記念祭。周年祭。② 回忌。周年。

アニリン (Aniline) コールターを乾溜して出る無色有臭の油狀液にして空氣に觸れると褐色に變じ酸と化合して塩を生ず。これより製する色素をアニリン色素と云ふ。

アニリンカラーズ (Aniline-colours) アニリン色素。アニリンよりは數百種の色素を製し得る、例へばフクシン (紅粉)、メチル・バイオレット (紫粉) 等であつてコールター色素とも云はれてゐる。

アニリンプロセス (Aniline-process) アニリン印畫法。膽寫紙或は他の透明なる紙上に描きたる繪を原板として再製する方法。一八六四年ウイリス專賣權を得た。

アニル (Anil) ① 藍。② 藍色染料。青黛。

ア

アニヤン (Onion) 玉葱。葱。

アニマト (伊語 Animato) 音楽記號で「活氣を以て」の意。コン・アニマとも云ふ

アニマトグラフ (Animatograph) 活動寫眞撮影機。キネグラフとも云ふ。

アニマリスト (Animalist) 獸慾主義者(次項参照)。

アニマリズム (Animalism) ① 獸慾主義。禽獸の如く放埒な肉慾生活をして道德等を省みぬ事。② 人間動物説。人間も單なる動物に過ぎずとして人間の靈的意味、人間の神聖視を認めぬ説。

アニマル (Animal) 動物。獸。轉じて人面獸心の人。

アニマルチャーコール (Animal-charcoal) 骨炭。動物の骨を蒸焼にして製した炭で獸炭とも云ふ、これは溶液中より色素を吸収する故砂糖溶液の脱色に用ふ。

アニマルオイル (Animal-oil) 獸油。動物より取つた油で豚の油等の如きである。

アニマルファイバー (Animal-fibre) 動物性纖維。蛋白質様の化合物で窒素を含んでゐる尙植物性纖維は窒素を含まない。絹、羊毛等の動物性纖維が主なるものである。

アニマルキュラー・タンク (Animalculer tank) 極微動物槽。狭き兩面を硝子させしタンクで幻灯映畫として極微動物及び水中の小虫を映寫するに用ふ。

アニマルスピリット (Animal-spirit) 血氣。【例】彼はアニマルスピリットに富んでゐる

アニマライズ (Animalize) ① 獸慾に耽らしむ。② 獸性を賦す。

アニユイティー (Annuity) ① 年金。② 定期收入。アンニユイティーともいふ。

アニユアル (Annual) ① 毎年の。アニユアル・ミーチングは年次大會。② 年報。年金。

アニマー (Anime) 西印度産葷科 brymenea 屬の一種の樹脂でワニスを作るに用ふ。

アニメーション (Animation) ① 快活。生氣。② 興奮。鼓舞。

アニミズム (Animism) 萬有靈魂論。宇宙の全ゆる物体には靈魂が存在するといふ説。

アニスオイル (Anise-oil) ウイキョウの實より採る芳香油(醫藥用又は飲料の製造用)。

アボード (Abode) ① 住所。住宅。② 滞在。

ア・ポートル・サンテ (佛語 a Votre Sante) 「御健康を祈る」。ラテン語のプローシットと同じ意味で乾盃する時、各々リキュール・グラスを高く擧げ「ア・ポートル・サンテ!」

アニ——アボ

アボ——アベ

と叫んで一氣にグラスを飲み乾すのである。

アニマル (Animal) ① 毎年の。アニマル・ミート・ショー。② 全。③ 全。④ 全。
アニメー (Anime) 西印度産葦科 *Bymenaea* 屬の一種の樹脂でワニスを作るに用ふ。
アニメーション (Animation) ① 快活。生氣。② 興奮。鼓舞。
アニミズム (Animism) 萬有靈魂論。宇宙の全ゆる物体には靈魂が存在するといふ説。
アニスオイル (Anise-oil) ウイキョウウの實より採る芳香油(醫藥用又は飲料の製造用)。
アボード (Abode) ① 住所。住宅。② 滞在。

ア・ポートル・サンテ (佛語 a Votre Sante) 「御健康を祈る」。ラテン語のプロシットと
同じ意味で乾盃する時、各々リキュール・グラスを高く擧げ「ア・ポートル・サンテ！」

アニ——アボ

アボ——アベ

と叫んで一氣にグラスを飲み乾すのである。

アボーチブ (Abortive) ① 墮胎兒。② 墮胎藥。尙アボーチサイドは墮胎の意。

アボーション (Abortion) ① 流産。墮胎。② 出來損ひ。畸形物。③ 失敗。

アポーション (Apportion) 割當てる。分配する。配當する。

アボイド (Avoid) 避ける。避難す。【例】僕をアボイドするのは卑怯だ。

アポイント (Appoint) ① 任命す。指定す。選定。② 設備す。準備す。

アポイントメント (Appointment) ① 任命。指定。命令。② 設備。裝備。準備。

アポインチー (Appointee) 被任命者。被指定者。

アポロ (Apollo) 希臘神話中の神の名。ジュピター神の子で日の神として知られ、又美術、藝術を司る神として崇拜されてゐる。故に「アポロ型の女」と云へばアポロ神の如く清楚な彫刻的美を持った顔の女性である。

アポロヂー (Apology) ① 辯解。辯護。② 詫。謝罪。陳謝。

アポヂアトゥラ (伊語 Appoggiatura) 音樂用語で「倚音」の事。これは樂譜にて或音の

前に書かれた小さな音符で、その音の長さは原音符の二分の一である。

アポリッシュ (Abolish) 廢す。止める。【例】そんな惡例なんかアポリッシュしてしまへ。

アポリシオン (Abolition) ① 廢止。② 奴隸制度廢止。

アポッスル (Apostle) 使徒。キリストの十二使徒の各々を指す。轉じて傳道者の意。

アボネ (佛語 Abonne) ① 豫約者。豫約申込者。② 加入者。

アボケーション (Avocation) ① 内職。副業。② 慰みごと。道樂仕事。③ 職業。

アポプレクシー (Apoplexy) 卒中。尙ヒート・アポプレクシーは日射病である。

アポセカリー (Apothecary) ① 藥屋。藥種商。② 藥劑師。③ 藥局。

アポステリオリ (羅語 Aposteriori) 後天的。歸納的。アプリオリの反對。

アポステリオリズム (Aposteriorism) 後天説。先天説(アプリオリズム)に對し、全ゆる事物の現象や觀念は經驗を経て成立するを説く。

アビー (Abbey) ① 僧院。尼院。禮拜堂。② 大寺院。

アビー・コンデンサー (Abbe condenser) アビー聚光鏡玉。顯微鏡臺下聚光鏡玉の最も普

ア

通の型にして顕微鏡寫眞術に使用せらる。

- アベニュー (Avenue) 大通。並木路。近代的に舗装された大道路に言ふ。
- アベルス (Averse) 夕立。驟雨。英語のシャワーに當る。
- アペタイト (Appetite) ① 食欲。② 肉慾。尙セクジュアル・アペタイトは性慾の意。
- アペタイチブ (Appetitive) 食欲を唆る。【例】新鮮な果物はとてもアペタイチブだ。
- アペタイザー (Appetizer) 食欲促進物。
- アブレーチ (Average) ① 平均。② 海損。尙アブレーチャーは海損清算人。
- アブレーチ・スピード (Average speed) 平均速度。【例】アブレーチ・スピードが百哩だ。
- アブレーシヨン (Aberration) 収差。鏡玉の缺點を表示すべき寫眞光學に使用する術語。
- アベット (Abet) ① 教唆する (悪事を)。けしかける。② 幫助する。共謀する。
- アベットメント (Abetment) ① 教唆。煽動。② 幫助。共謀。
- アベック (Avec) 英語のウイズ (With) に當る語で「携帯せる」の意、近頃では主として婦人同伴の意に用ひらる。【例】昨夜君はアベックで何處へ出掛けたのだ。
- アベックガール (Avec-girl) 同伴嬢。つまり金を貰つて男子の散歩に戀人然として同伴する女のことでさしすめステッキガールが此れである (同項参照)。
- アベナリウス (Richard Avenarius) 獨逸の哲學者リヒアルト・アベナリウス (西紀一八四三年生)。一八七三年チューリッヒ大學哲學教授となり經驗批判論の創始者として有名であるがレーニンの「唯物論と經驗批判論」により峻烈な批判を受けた。著書には「純粹經驗の批判」、「人間の世界概念」等あり。
- アベ・マリア (Ave Maria) 聖母讚歌。即ち聖母マリアを讚美する歌である。尙シューベルトやグノー作のアベ・マリアの曲は一般に有名である。
- アベンヂ (Avenge) 復讐する。報復する。【例】必ずアベンヂしてやるぞ。
- アベンチュリン・グラス (Aventurine glass) 金梨地硝子。金銅粉を混じて製す金茶色硝子。
- アペンディックス (Appendix) ① 附録。附加物。増補。② 突起物。
- アド (Ad) 廣告。アドバタイズメントの略。
- アトーン (Atone) ① 贖ふ。償ふ。② 和合す。一致す。和解す。③ 調停す。

アベ——アト

アト——アド

アトーンメント (Atonement) ① 賠償。② 贖罪 (キリスト教の)。③ 和解。④ 調停。

ルトやグノー作のアマ・マリアの曲は一般に有名である。

アベンヂ (Avenge) 復讐する。報復する。【例】必ずアベンヂしてやるぞ。

アベンチュリン・グラス (Aventurine glass) 金梨地硝子。金銅粉を混じて製す金茶色硝子。

アペンディックス (Appendix) ① 附録。附加物。増補。② 突起物。

アド (Ad) 廣告。アドバータイズメントの略。

アトーン (Atone) ① 贖ふ。償ふ。② 和合す。一致す。一致す。和解す。③ 調停す。

アベ——アート

アート——アド

アトーンメント (Atonement) ① 賠償。② 贖罪 (キリスト教の)。③ 和解。④ 調停。

アトロピン (Atropine) 劇毒を有する白色の結晶物で鎮痙又は瞳孔を散大せしむるに効ある物質である。

アドバータイザー (Advertiser) 廣告者。廣告紙。尙ほこれを標題とする新聞はザ・ジャマン・アドバータイザー (The Japan Advertiser)、ザ・ロンドン・アドバータイザー (The London Advertiser) 等で、この場合アドバータイザーは單に新聞の意。

アドバータイジング・バリュー (Advertising value) 宣傳價值。廣告價值。略してアドバリューとも云ふ。

アドバータイジング・マネージャー (Advertising manager) 新聞、雜誌等の廣告部長。

アドバータイジング・フォトグラフィー (Advertising photography) 廣告寫眞術。廣告に使用する寫眞は多く半調色製版術にて作り、單に直接印畫のまゝ使用せらるゝ事もあ
るが殆んど實際單色にて描きたる如く熟練せる畫家に修整せらるゝを常とする。

アドバータイズ (Advertise) 廣告する。披露する。

アドバータイズメント (Advertisement) ① 廣告。揭示。② 報告。よくアドと略される。

アドバーサリー (Adversary) ① 相手。敵手。② 反抗者。

アドバイザー (Adviser) 相談役。顧問。勸告者。

アドバイス (Advice) ① 忠告。助言。② 通知。案内状。③ 教唆。

アドバロレム・ヂューティー (Advalorem duty) 從價稅。物品の價格を標準として課す税金。寶石、貴金屬等の高價品に對するものが之である。

アドバリュー (Ad-value) アドバータイジング・バリューの略 (同項参照)。

アドバルーン (Ad-balloon) 廣告氣球。ビルヂングの屋上から都會の空高くグロテスクな輕氣球がフワリと浮んで居る、中にはネオン・サインを用ひて廣告文を描いて居るのもあり効果百パーセントの尖端廣告法である。

アドバンテージ (Advantage) ① 利益。② 優勝。卓絶。優絶。③ 好機會。ヴァンテージとも云ふ (ヴァンテージイン、ヴァンテージアウト参照)。

アドバンテージ・ルール (Advantage rule) ラグビーにてスローフォワード等の反則をし

ア

ても、それが敵側の利益になる時にはスタラムをさせずに其儘競技を続けさせる事がある、これをアドバンテージ・ルールと云ふのである。

アドバンス (Advance) ① 前進す。昇進す。② 前拂ひ。

アドバンスガード (Advance-guard) ① 前衛。② 先鋒。前驅 (アバングルド参照)。

アドバンスコピーズ (Advance-copies) 書籍発行以前に印刷されたものを先づ知人、批評家、先輩等に贈呈する事を云ふ。

アドバンス・エクスチェンヂ (Advance exchange) 逆爲替。受取人が支拂人宛の爲替手形を振出し銀行の割引をして貰ひ、銀行は之を支拂地の取引銀行に送り、支拂人より金を受取る。これを逆爲替と云ふのである。

アドバンスメント (Advancement) ① 進歩。前進。② 前貸。前拂。

アトニー (Atony) 弛緩。尙胃アトニーは胃弛緩症即ち胃が弛緩して働きの鈍つた症状。

アトニック (Atonic) ① 陰性の。② 鎮和劑。

アドニス (Adonis) ① 愛の女神ウイナスに愛せられた美少年の名。轉じて美少年の意に用ひらる。② 福壽草。(花詞) 悲しい憶ひ出を意味す。

アトホーム (At-home) 接見日に來客に接すること。

アドボケート (Advocate) ① 辯護士。② 主張者。③ 擁護者。後援者。

アドベント (Advent) キリストの降臨。降臨節(クリスマス前四日曜日を含む期間)。

アドベンチュア (Adventure) ① 冒険。危険。② 投機。

アドベンチュアラー (Adventurer) ① 冒険家。冒險者。② 投機者。山師。

アドリナリン (Adrenaline) 強心止血劑。又これを原料として種々の藥劑を製す。

アトリエ (佛語 Atelier) 畫室。彫塑室。即ち畫家、彫刻家等の製作室、アトリエは光線の關係上原則として北向に建てらる。スタヂオと同じ。

アトリエリスム (Atelierisme) 畫室主義。畫家等でアトリエに許り閉ち籠つて製作することをいふ。

アドリビタム (羅語 Ad-libitum) 任意に。隨意に。音樂上では「任意に奏すべし」の意で、又 Adlib と略記す。

アド

アド

アドガール (Ad-girl) 新聞雑誌の廣告外交を専門とする職業婦人、エロ戰術をも用ふれ

アドリナリン (Adrenaline) ① 冒險家。冒險者。② 投機者。山師。

アトリエ (佛語 Atelier) 畫室。彫塑室。即ち畫家、彫刻家等の製作室、アトリエは光線

の關係上原則として北向に建てらる。スタヂオと同じ。

アトリエリズム (Atelierisme) 畫室主義。畫家等でアトリエに許り閉ぢ籠つて製作する
ことをいふ。

アドリビタム (羅語 Ad-libitum) 任意に。隨意に。音樂上では「任意に奏すべし」の意
で、又 Adlib を略記す。

アド

アド

アドガール (Ad-girl) 新聞雑誌の廣告外交を専門とする職業婦人、エロ戰術をも用ふれ
ばある方面では男子より好成績だらう、又廣告ビラを配る女にもいふ。

アドレーション (Adoration) ① 崇拜。崇敬。敬意。② 憧憬。愛慕。戀慕。

アドレソグラフ (Addressograph) 宛名印刷機。新聞雑誌社、會社、商店等が得意先に
各種の印刷物を發送する時敏速に夫々異つた宛名を印刷する機械。

アドレッサー (Addressor) ① 發信人。話し掛ける人。② 請願者。

アドレッシー (Addressee) 名宛人。受信者。話しかけられる人。

アドレッシング・マシン (Addressing machine) 宛名印刷機。アドレソグラフと同じ。

アドレッセント (Adolescent) 年頃の。妙齡の。【例】アドレッセントな娘さん、② 青春
時代の人。妙齡の婦人。

アドレッセンス (Adolescence) 青春期。思春期。男子は變聲、女子は月經來潮の頃より
心身共に變調を來し、急速に大人びて來る。云はゞ人生の蕾の時代であつて異性を戀
ひ慕ひロマンチックな戀愛の芽生える時代である。

アドレス (Address) ① 住所。宛名。② 演説。尙オープンング・アドレスは開會の辭。

アドレスライター (Address-writer) 宛名謄寫器。宛名印字器。

アドレスブック (Address-book) 住所名簿。知人等の宿所を控へて置く帳簿。

アドラー (Friedrich Adler) オーストリアの社會民主主義者フリードリッヒ・アドラー
(西紀一八七九年生)。最初共產主義者にして後社會民主主義者に轉落し、共產黨に對
抗して第二牛インターナショナルを組織し、自ら其の委員長となつた。

アド・ライター (Ad-writer) 廣告の文案を起草する人。アド・マンと同じ意である。

アトラクト (Attract) 惹きつける (心や魂を)。魅惑する。誘惑する。【例】美女のほ
えみは男性の心をアトラクトする。

アトラクティブ (Attractive) 魅惑的。精神的に何となく人を引き付ける力のある事で、
「彼女はこゝてもアトラクティブな存在だ」等を用ひらる。

アトラクション (Attraction) ① 魅力。魅惑。人の魂を奪ふこと。② 呼び物。

アトラクション・オブ・グラビテーション (Attraction of gravitation) 重力。地球の引力に

ア

よつて物体が地球に引きつけられる力をいふ。

アトラス (Atlas) ① 地図。一枚ものでなく大きな地図書をいふ。尙一枚に印刷した地図はマップ (Map) である。② ギリシヤの神。神話によるアトラス神はセウス神の怒を買ひ世界の両端に立ち天を双肩に荷ふの難行を命ぜられた、アフリカ北部のアトラス山にてこの難行をなしたと傳へられてゐる。

アトランチーズ (Atlantes) 人形柱。神話にある人物。

アトランチック・オーシヤン (Atlantic Ocean) 大西洋。ザ・アトランチックとも云ふ。

アトム (Atom) ① 原子 (アトミズム参照)。② 微少。些少。

アドクラフト (Ad-craft) 廣告取扱業。

アドマイア (Admire) ① 感嘆す。讚美す。稱讚す。② 敬慕す。【例】君は馬鹿に彼女をアドマイアしてゐるぢやないか。尙アドマイアラーは感嘆者。讚美者。崇拜者。明眸のマダム、マドモアセルには常にアドマイアラーの群が取り巻いてゐる。

アトマイザー (Atomizer) ① 霧吹器。② 香水吹器。

アドマネキン (Ad-manekin) アドはアドバタイズメントの略だから廣告マネキンの事である。廣告マネキンは元來衣裳屋等がショー・ウィンドーに飾つてゐる人形の事であるが、これでは愛嬌に乏しく、又流行のエロもないと云ふので生きた人形を使用する様になつたのである、單にマネキンとも云ふ (同項参照)。

アドマン (Ad-man) 廣告係。新聞雑誌の廣告外交家。廣告文案家。

アドプト (Adopt) ① 養子とする。② 採用する。採擇する。

アドプトブ・ファーザー (Adoptive father) 養父。尙アドプトブ・マザーは養母。

アドプトッド・サン (Adopted son) 養子。尙養女はアドプトッド・ドーターと云ふ。

アドプション (Adoption) ① 養子。縁組。② 採用。選擇。

アドコラム (Ad-column) 廣告欄 (新聞雑誌の)。

アドサム (羅語 Adsum) 「私はここに居ります」の意で、人に呼ばれた時の返事である。

アトミー (Atomy) ① 骸骨。轉じて瘠せた人。② 原子。轉じて小男、一寸法師の意。

アドミニストレーティブ・リアジャストメント (Administrative readjustment) 行政整理。

アド アド

アド — アド

アドミニストレーティブ・コート (Administrative court) 行政裁判所。

アドミニストレーター (Administrator) ① 支配者。統治者。② 管理人。③ 施行者。